

FUJITSU Server PRIMERGY オプション製品

システム構成図(留意事項編)

※RX2530 M4/RX2540 M4/RX4770 M4 の樹系図については、
 当社ホームページ (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

本文中のOS名称は、次のように略して表記します。

OS名	略称	
Windows Server® 2019 Standard	WS19S	Windows
Windows Server® 2019 Datacenter	WS19D	
Windows Server® 2019 Essentials	WS19E	
Windows Server® 2016 Standard	WS16S	
Windows Server® 2016 Datacenter	WS16D	
Windows Server® 2016 Essentials	WS16E	
Windows® Storage Server 2016 Standard	WSS16S	
Windows Server® 2012 R2 Standard	WS12RS	
Windows Server® 2012 R2 Datacenter	WS12RD	
Windows Server® 2012 R2 Foundation	WS12RF	
Windows Server® 2012 R2 Essentials	WS12RE	
Windows® Storage Server 2012 R2 Standard	WSS12RS	
Windows Server® 2012 Standard	WS12S	
Windows Server® 2012 Datacenter	WS12D	
Windows Server® 2012 Foundation	WS12F	
Windows Server® 2012 Essentials	WS12E	
Windows® Small Business Server 2011 Essentials	SBS11E	
Windows Server® 2008 R2 Standard	WS08RS	
Windows Server® 2008 R2 Enterprise	WS08RE	
Windows Server® 2008 R2 Datacenter	WS08RD	
Windows Server® 2008 R2 Foundation	WS08RF	
Windows Server® 2008 Standard (64-bit)	WS08S-64	
Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)	WS08E-64	
Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	WS08D-64	
Windows Server® 2008 Foundation (64-bit)	WS08F-64	
Windows Server® 2008 Standard (32-bit)	WS08S-32	
Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)	WS08E-32	
Windows® Web Server 2008 R2	WS08RW	
Windows® Web Server 2008 (64-bit)	WS08W-64	
Windows® Web Server 2008 (32-bit)	WS08W-32	
Windows® HPC Server 2008 R2	WS08RH	
Windows Server® 2008 HPC Edition (32-bit)	WS08H-32	
Windows® Small Business Server 2008 Standard	SBS08S	
Windows® Small Business Server 2008 Premium	SBS08P	
Windows Server® 2003 R2 Standard Edition/ Standard x64 Edition	WS03RS/Sx64	Linux
Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	WS03RE/Sx64	
Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	WS03RD/Dx64	
Windows Server® 2003 Standard Edition/ Standard x64 Edition	WS03S/Sx64	
Windows Server® 2003 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	WS03E/Ex64	
Windows Server® 2003 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	WS03D/Dx64	
Windows Server® 2003 Web Edition (32-bit)	WS03W-32	
Windows Server® 2000 Server/ Advanced Server	WS00S/AS	
Windows Server® NT 4.0 Server	WSNT4S	
Windows® 10 Home (32-bit/64-bit)	W10H	
Windows® 10 Pro (32-bit/64-bit)	W10P	
Windows® 10 Enterprise (32-bit/64-bit)	W10EN	
Windows® 10 Education (32-bit/64-bit)	W10ED	
Windows® 8.1 (32-bit/64-bit)	W8.1	VMware
Windows® 8.1 Pro (32-bit/64-bit)	W8.1P	
Windows® 8.1 Enterprise (32-bit/64-bit)	W8.1E	
Windows® 8 (32-bit/64-bit)	W8	
Windows® 8 Pro (32-bit/64-bit)	W8P	
Windows® 8 Enterprise (32-bit/64-bit)	W8E	
Windows® 7 Home Premium	W7HP	
Windows® 7 Professional/ Enterprise/ Ultimate	W7P/E/U	
Windows Vista® Home Basic/ Home Premium	WVHB/HP	
Windows Vista® Business	WVB	
Windows Vista® Enterprise	WVE	
Windows Vista® Ultimate	WVU	
Windows® XP Professional x64 Edition	WXPPx64	Linux
Windows® XP Professional	WXPP	
Red Hat® Enterprise Linux® 7 (for Intel64)	RHEL7(Intel64)	
Red Hat® Enterprise Linux® 6 (for Intel64)	RHEL6(Intel64)	
Red Hat® Enterprise Linux® 6 (for x86)	RHEL6(x86)	
Red Hat® Enterprise Linux® 5 (for Intel64)	RHEL5(Intel64)	
Red Hat® Enterprise Linux® 5 (for x86)	RHEL5(x86)	
Red Hat® Enterprise Linux® ES/ AS (v.4 for x86/v.4 for EM64T)	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)	
Red Hat® Enterprise Linux® ES/ AS (v.3 for x86)	RHEL ES/AS3(x86)	
SUSE® Linux Enterprise Server 15 for AMD64 & Intel64	SLES 15 (x86 64)	
SUSE® Linux Enterprise Server 12 for AMD64 & Intel64	SLES 12 (x86 64)	
SUSE® Linux Enterprise Server 11 for AMD64 & Intel64	SLES 11 (x86 64)	
VMware vSphere® 6 (VMware vSphere ESXi 6.7)	vS6.7	VMware
VMware vSphere® 6 (VMware vSphere ESXi 6.5)	vS6.5	
VMware vSphere® 6 (VMware vSphere ESXi 6.0)	vS6.0	

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

サーバ監視・管理ソフトウェアについて

PRIMERGYのサーバ監視・管理には、標準添付のServerView Suite DVDに収められているServerView Operations ManagerやServerView System Monitorをご使用になれます。また、リモートマネジメントコントローラ(iRMC S5)やInfrastructure Manager(ISM)を使用して行うこともできます。以下の各サーバ監視ソフトウェアの特徴をご確認していただき、適切なサーバ監視を選択してください。

監視ソフトウェア		ServerView Operations Manager [SVOM]	リモートマネジメントコントローラ Web-インターフェース [iRMC WebUI] (*1)	ServerView System Monitor [SVSM] (*2)	Infrastructure Manager [ISM] (*3)
特徴		・物理マシンも仮想マシンも一緒に管理 ・サーバのリソースも監視可能	・OS上に監視ツールをインストールせず監視可能 ・使用するOSに依存しない ・管理サーバを用意する必要なし ・装置が電源OFFのときも管理可能	・装置にリモートマネジメントコントローラが搭載されていない、または、ネットワークに接続していなくても監視可能 ・管理サーバを用意する必要なし	・運用監視を自動化 ・他社装置、ネットワークも管理 ・大規模管理ソフトウェアと連携可能 ・仮想アプライアンスとして提供
構成	管理可能装置数	1~1000台 (*4)	1台	1台	2~1000台
	監視対象 (情報取得先) (*5)	ServerView Agents / ServerView ESXi CIM Provider / iRMC S5	iRMC S5	ServerView Agents	iRMC S5
	ストレージ監視	ServerView RAID Manager ServerView Storage Manager	監視対応アレイコントローラ (*6)	ServerView RAID Manager	監視対応アレイコントローラ (*6)
環境	監視ソフトのインストール先	Windows Server / RedHat Enterprise Linux (ゲストOS上でも可)	必要なし	必要なし	仮想ホスト (仮想アプライアンスとして提供)
	使用するネットワーク (*7)	Agents / CIM Provider : 業務ネットワーク iRMC S5 : 管理ネットワーク	管理ネットワーク	業務ネットワーク	業務ネットワーク 管理ネットワーク
	監視対象に必要なソフトウェア (*8)	ServerView Agents ServerView ESXi CIM Provider	必要なし	ServerView Agents	必要なし
	推奨環境	・監視対象が1台~数十台 ・管理用の装置を用意できる ・仮想マシンも一括して管理したい	・複数台を管理する必要がない ・OS上に余分なソフトウェアを入れたくない ・ネットワークを監視と業務で分離したい ・ハードの状態監視ができればよい	・複数台の監視をする必要がない ・リモート通報サービスが必要としない ・リモート管理を行わない ・ハードの状態監視ができればよい	・監視対象が数台~数百台規模 ・サーバ以外のリソースも管理したい ・運用管理コストを削減したい ・大規模管理ソフトウェアを導入している ・仮想化ソフトウェアを使用している

- (*1) PRIMERGY TX1310 Mx 等のiRMC S5を搭載していない装置ではお使いいただけません。
- (*2) System MonitorはServerView Agentsの機能の一部です。ServerView Agents をインストールするとSystem Monitorもインストールされます。
- (*3) Infrastructure Manager については、以下をご確認ください。
<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/>
- (*4) Windows OS上でデータベースとしてMicrosoft SQL Serverを使用します。SVOMに同梱されるExpress バージョンを使用した場合は、200台程度までとなります。
- (*5) それぞれの監視対象の詳細については、後述の「監視対象サーバ用エージェントソフトウェアの種類」をご確認ください。
- (*6) 使用可能な構成および留意事項は、「iRMC(リモートマネジメントコントローラ)関連」をご覧ください。
- (*7) ネットワークの種類は以下の2種類です。どちらも同じネットワークとして使用することもできます。
業務ネットワーク: 通常の業務で使用され、動作しているOSにアクセスできるネットワークです。
管理ネットワーク: 管理専用で使用されるネットワークです。PRIMERGYの場合、リモートマネジメントコントローラと接続されるネットワークです。
- (*8) このほか、監視ソフトウェア自身または一部機能を使用するために、OSの機能や追加パッケージを必要とする場合があります。詳細は各ソフトウェアのマニュアルをご確認ください。

・各監視ソフトウェアで監視可能な項目につきましては、下記に掲載の「ServerView Operations Manager サーバ監視ご紹介」をご確認ください。

■ 当社ホームページ:
<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/pdf/svs/svom-server.pdf>

・リモートマネジメントコントローラ[iRMC S5]によるサーバ監視・管理の設定方法につきましては、下記に掲載の「マニュアル」をご確認ください。

■ 当社ホームページ:
<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/> →
「ServerView Suite のマニュアル」→「MANUALS」→「x86 Servers」→「Software」→「ServerView Suite」→「Out-Of-Band Management」

監視対象サーバ用エージェントソフトウェアの種類

- ServerView Agents
対応OS:
Windows/Linux/XenServer
概要:
ハードウェアと通信を行い、本体装置の状態監視や各種データの取得やログギ、異常通知を行います。
また、ServerView Operations Managerより指示される、シャットダウンやイベント等に関するさまざまな設定も、このサーバ監視プログラムで行います。
ServerView Agentsに含まれるSystem Monitorを使用して、ServerView Agentsがインストールされている装置の状態表示を行うことができます。
- ServerView ESXi CIM Provider
対応OS:
VMware ESXi 6.x
概要:
VMware ESXi ホスト上で動作し、ハードウェアと通信を行い、本体装置の状態監視や各種データの取得やログギ、異常通知を行います。
また、ServerView Operations Managerより指示される、シャットダウンやイベント等に関するさまざまな設定も、このサーバ監視プログラムで行います。
・留意事項やインストール手順につきましては、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/manual/>) 内、VMware留意事項をご確認ください。
・ServerView Resource Orchestrator(以下、ROR)にてVMware ESXiを管理対象とする方法については、RORのマニュアル「設計ガイド」→「ServerView Operations Managerの設定(VMware ESXi)」をご確認ください。
・VMwareのサーバ監視・管理においては、リモートマネジメントコントローラを使用した、サーバ監視・管理を推奨いたします。
システムボード上に実装されているコントローラを使用するため、OSが停止している場合にも継続して、サーバ監視・管理をすることが可能です。
・vCenter Serverが提供するProactive HA機能を使用する場合、ServerView ESXi CIM Providerを使用した監視が必要となります。
Proactive HA機能を使用するVMware環境のサーバ監視・管理においてはvCenter Serverによる監視と、リモートマネジメントコントローラを使用した、サーバ監視・管理の併用を推奨いたします。
・ServerView ESXi CIM Providerを使った監視の場合、ESXi上で利用可能なリソースに制約があるため、問題が発生した時に十分な情報が得られず原因究明にいたらない場合があります。
回避策として CIM Provider の再インストール、もしくは定期的な手動での再起動をお願いする場合がございますので、ご了承願います。
- リモートマネージコントローラ[iRMC S5]
対応OS:
OS依存なし
概要:
リモートマネージコントローラは標準搭載のハードウェアです。
システムボード上に実装されているコントローラを使用するため、OSが停止している場合にも継続して、サーバ監視・管理をすることが可能です。
リモートマネジメントコントローラ[iRMC S5]によるサーバ監視・管理の設定方法につきましては、下記に掲載の「マニュアル」をご確認ください。
<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/> →
「ServerView Suite のマニュアル」→「MANUALS」→「x86 Servers」→「Software」→「ServerView Suite」→「Out-Of-Band Management」
・OSのシャットダウン処理やOSの情報取得を行うためには、監視対象サーバ上のOSにServerView Agentless Service または ServerView Agentsをインストールする必要があります。
ServerView Agentless ServiceのサポートOSはWindows(64bit)/Linux(64bit)のみとなります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

ウイルス対策について

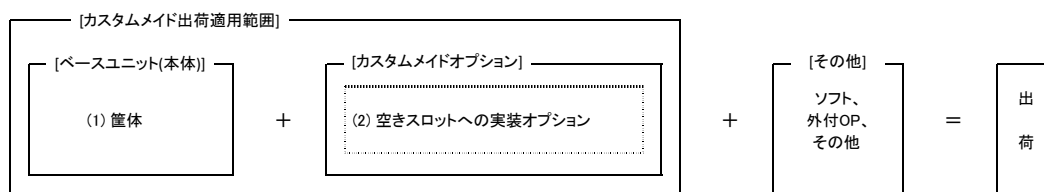
- PRIMERGYを安定してご使用いただくため、ウイルス対策の導入を強くおすすめします。
- ウイルス対策はお客様ご自身の責任において行ってください。

カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、CPU／メモリ／ディスク等のオプション をお客様の仕様に合わせて追加し、本体に実装して出荷することのできる形態です。カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模／予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

1. カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について

カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「ベースユニット(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。
それ以外の製品に関しては、製品単位で梱包されて出荷されます。



[カスタムメイド適用製品一覧]

(1) ベースユニット(本体)

PRIMERGY本体機種/外付オプション(JX40 S2/JX60 S2/PRIMERGY PRIMERGY SX05 S2)が対象となります。

(2) カスタムメイドオプション: 空きスロットへの実装オプション

PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注: FMVとの共通製品等を除く)。

2. カスタムメイド出荷における注意事項について

出荷後の機器に対しOSをインストールする際には、予定外の装置に間違ってOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先の内蔵ストレージ以外のオプション装置(内蔵HDD/SSD、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。
カスタムメイド手配時にはご注意ください。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

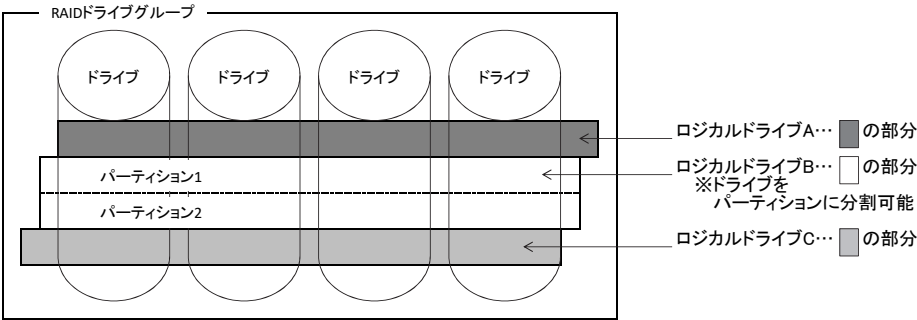
内蔵ストレージ関連事項

セクターサイズが512eのHDDについて

- (1) HDDは製品により、セクターサイズ「512n」「512e」のものが存在します。
詳細につきましては、当社ホームページ(http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/hdd_construct/)をご参照ください。
- (2) セクターサイズ「512e」のHDDは、以下仮想環境OSは、非サポートです。
 - Windows Server 2008/2008 R2のHyper-V環境
 - VMware ESXi 6.0 以前のVMware環境Windows留意の詳細につきましては、当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>)をご参照ください。
VMware留意の詳細につきましては、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/manual/>)に記載されているVMware vSphere の各バージョンに対応した「ソフトウェア説明書」をご参照ください。

ディスクレイ構成の考え方

- ・RAIDドライブグループ……1つのRAIDを構成する物理的なストレージの集まり。
- ・ロジカルドライブ………OSがドライブとして認識できるドライブ。
- ・パーティション………OSで設定するロジカルドライブを分割したアクセス論理単位。



＜構成規則について＞

- (1) RAIDドライブグループは、同種類(SAS/ニアラインSAS/BC-SATA/SATA/SAS SSD/SATA SSD)、同容量/同回転数/同書き込み保証値の内蔵ストレージで構成してください。
※自己暗号化機能対応の内蔵ストレージを使用する場合、RAIDドライブグループは、同型名の内蔵ストレージで構成してください。
- (2) 同一RAIDグループ内のロジカルドライブは、同一のRAIDレベルとなります。
- (3) ブートロジカルドライブのサイズは、2TB未満に設定してください。ロジカルドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。
ただし、UEFI環境でご使用になる場合は2TB以上に設定することも可能です。
各機種のUEFI環境対応状況は、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>)をご参照ください。
- (4) 1つのRAIDドライブグループを構成する内蔵ストレージの台数は、以下のとおりです。

・RAID0	(性能向上のために、データを複数ドライブへ分割して書き込む方式)	1～32台 (*1)	ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の総和
・RAID1	(信頼性向上のために、ドライブを二重化し同一データを書き込む方式)	2台	ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2
・RAID1E	(信頼性向上のために、データを分割・二重化し、複数ドライブに書き込む方式)	4～32台 (偶数台のみ構成可能)	ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2
・RAID1+0	(信頼性向上のために、RAID1のデータを分割(RAID0)し、複数ドライブに書き込む方式)	4～16台 (偶数台のみ構成可能)	ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2
・RAID5	(信頼性向上のために、データを分割し、パリティを加えて書き込む方式)	3～32台	ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-1)台分
・RAID5+0	(RAID5の性能向上のために、RAID5のデータを分割し、複数ストライピングに書き込む方式)	6～256台	ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID5構成のドライブ台数-1)×ストライピング数
・RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し、2つのパリティを加えて書き込む方式)	3～32台	ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-2)台分
・RAID6+0	(RAID6の性能向上のために、RAID6のデータを分割し、複数ストライピングに書き込む方式)	6～256台	ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID6構成のドライブ台数-2)×ストライピング数

(*1) PY-SC3FA/PYBSC3FAの場合は2～10台となります。

- (5) 1つのストレージコントローラに複数のRAIDドライブグループを作成することが可能です(異なるRAIDレベルも可能)。
使用するストレージコントローラごとに作成可能なRAIDドライブグループ数、ロジカルドライブ数が異なります。詳細については、下表をご確認ください。
※各ストレージコントローラはPCIバススルー非サポートです。

ストレージコントローラ	型名	RAIDドライブグループ数	ロジカルドライブ数		
			1RAIDドライブグループ当たり	1カード当たり	
			RAID1+0 RAID5+0 (*1) RAID6+0 (*1)	左記以外のRAIDレベル	
オンボードSATAコントローラ	標準搭載	4	1	8	8
SASコントローラカード	PY-SC3FA/PYBSC3FA/PYBSC3FAM (*2)	2	—	1	2
SASアレイコントローラカード	PY-SR3FA/PYBSR3FA	32	16	16	32
SASアレイコントローラカード	PY-SR3C41H/PYBSR3C41H PY-SR3C42H/PYBSR3C42H PY-SR3C43H/PYBSR3C43H PY-SR3C52/PYBSR3C52/PYBSR3C52L PY-SR3C54/PYBSR3C54/PYBSR3C54L PY-SR3C55/PYBSR3C55L PY-SR3C58/PYBSR3C58/PYBSR3C58L PY-SR3PE/PYBSR3PE/PYBSR3PEL PY-SR3PE2/PYBSR3PE2/PYBSR3PE2L PY-SR3C5E/PYBSR3C5E/PYBSR3C5EL	128	16	16	64

(*1) 構成可能なRAIDレベルは使用するストレージコントローラの仕様に基づきます。
(*2) デュアルM.2 アダプタカード[PY-DMA01/PYBDMA01/PYBDMA01L]を接続した場合はRAID1のみサポート、RAIDドライブグループ数は1になります。

- (6) ホットスベアディスクはディスクグループ中に接続されている同型名の内蔵ストレージで設定してください。
異なる内蔵ストレージを使用した複数のディスクグループが存在する場合は、各々のディスクグループに対して、同型名のホットスベアを最低1台設定する必要があります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

SASコントローラカードの接続方法について

・SASコントローラカードは、使用OS(OS機能)により、接続可能なストレージ構成、接続方式が異なります。詳細につきましては、下表および各種機「内蔵ストレージ構成時の注意事項」の「■B: 使用OSに応じたストレージコントローラと内蔵ストレージの接続方法を確認」をご参照ください。

■接続可能方式

	使用OS	— (OS非依存)	Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019	VMware
	OS機能	Windows記憶域スペース、vSAN以外	Windows記憶域スペース (*1)(*2)	vSAN (*3)(*4)
	使用可能なストレージベイ	ストレージベイ非依存	搭載可能数9以上のストレージベイ	ストレージベイ非依存
接続方式	非アレイ(バススルー)	×	○	○
	非アレイ(バススルー) +アレイ接続 (*5)	×	○	×
	アレイ接続 (*6)	○	×	×

○: サポート、×: 非サポート

(*1) 物理ストレージのリソースプール管理を実現し、柔軟な仮想ストレージ構成を可能とするOS機能です。詳細につきましては、下記マイクロソフト社ホームページ「記憶域スペースの概要」等のOS側ドキュメントをご確認ください。

■マイクロソフト社公開ホームページ「記憶域スペースの概要」: <http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/hh831739.aspx>

(*2) RX2540 M4/RX2540 M5はエキスパンダーがある構成のみのサポートとなります。

(*3) 複数の物理サーバに内蔵されたストレージを1つの仮想的な共有ストレージ(vSAN データストア)として利用する機能です。別途有償のVMwareソフトウェアライセンスの購入が必要となります。VMware/vSANの対応状況および機能詳細につきましては、下記をご参照ください。

■当社ホームページ「VMwareのサポート情報」: <http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/>

■ヴァイエムウェア社公開ホームページ「vSAN」: <https://www.vmware.com/jp/products/virtual-san>

(*4) PY-SC3FAV/PYBSC3FAV/PY-SC3FA3V/PYBSC3FA3Vを使用する必要があります。

(*5) システム(OS)領域のみ、RAID0、RAID1のアレイ接続が可能です。

(*6) アレイ接続は最大14台です。

記憶域スペースダイレクト機能に関する留意事項

Windows Server 2016 Datacenterで提供されている「記憶域スペースダイレクト(Storage Space Direct)機能」を、PRIMERGYで利用するために必要なハードウェアおよび留意事項については、以下の情報を参照ください。

■Windows サポート&サービス

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

・Windowsに関する留意情報

「Windows Serverの記憶域スペース機能、および、記憶域スペースダイレクト機能に関する留意事項」

RAIDロジカルドライブのライトポリシー(Write Policy)設定とその動作

キャッシュメモリが搭載されているSASアレイコントローラカードは、RAIDロジカルドライブごとにライトポリシー(Write Policy)を「Write Back」設定にすることで、同キャッシュメモリをストレージへの書き込みキャッシュとして使用し、多くのアプリケーションで性能を向上させることが可能です。

「Write Back」動作させる場合は、サーバの電源障害などからキャッシュメモリ上のデータを保護するため、SASアレイコントローラカードのオプションであるフラッシュバックアップユニット(FBU)やバッテリーバックアップユニット(BBU)を搭載するか、無停電電源装置UPS等でサーバを使用してください。

■ライトポリシー(Write Policy)の解説

動作 (Current Write Mode)	キャッシュメモリの動作	FBU/BBUの搭載
Write Through	読み込みのみ	任意
Write Back	読み込み・書き込み	推奨

SASアレイコントローラカードのライトポリシー(Write Policy)設定、FBU/BBUの有無・状態ごとの動作、および出荷時の設定は下表の通りです。

■ライトポリシー(Write Policy)設定とその動作

設定 (Default Write Mode)	FBU / BBU		動作 (Current Write Mode)	出荷時の設定
	有無	充電状態		
Write Through	あり / なし	—	Write Through	デフォルト出荷設定
Write Back	あり	十分	Write Back	SASアレイコントローラカード、FBU / BBUをカスタムメイド手配し、RAID設定サービスを手配された場合、「Write Back」設定で出荷
		不十分	Write Through	
	なし	—	Write Through	
Always-Write Back	あり / なし	—	Write Back	—

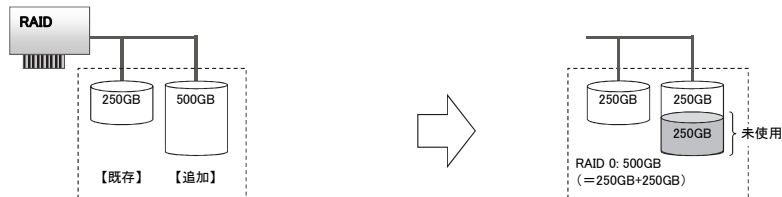
※ FBU/BBU使用時の注意事項

- ・BBUは、サーバ稼働中に充電されるため、稼働開始直後など充電量が不足している場合、および定期的なリチャージレーション(調整のための充電サイクル)実行中に充電量が不足している場合は、充電完了までの間、Write Back設定時においても、動作は「Write Through」となります。
- ・FBUは、稼働開始直後など充電量が不足している場合、充電完了までの間、Write Back設定時においても、動作は「Write Through」となります。リチャージレーション中においてもWrite Back設定は維持されます。
- ・充電完了までの目安は、FBU: 最大10分程度、BBU: 最大12時間程度となります。

異なる容量のドライブ増設時のアレイド構成について

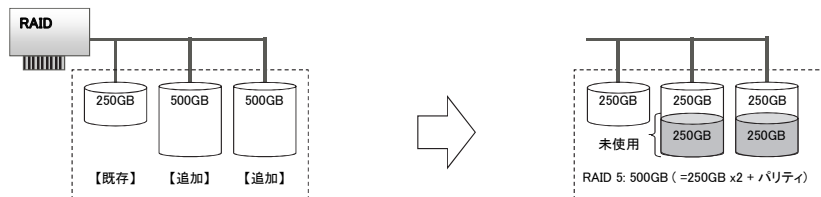
- アレイ構築の際、ディスクグループ内のドライブには同一型名品の使用を推奨していますが、以下の点を留意いただくことで異なる容量のドライブによるアレイ構築が可能です。

(1) RAID0 or RAID1 の場合



ストレージコントローラの仕様として、アレイを構成するために指定したドライブ中(RAIDドライブグループ)、最小容量となるドライブの容量をベースにロジカルドライブが構築されます。
 既存ドライブが250GB、追加するドライブの容量が500GBの場合、追加ドライブ中の250GBのみが、ロジカルドライブとして使用されます。
 このため、RAID0(ストライピング)を指定した場合には、最大500GBのロジカルドライブが、RAID1(ミラー)を指定した場合、最大250GBのロジカルドライブが構築できます。追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

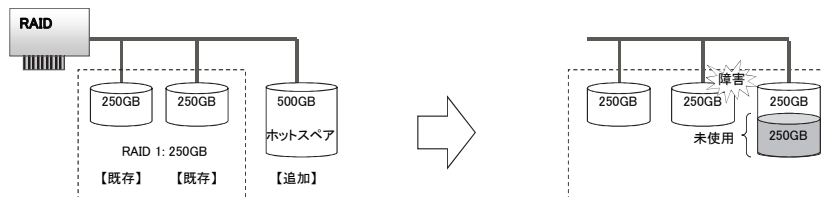
(2) RAID5 の場合



既存ドライブ250GBに、2台の500GBドライブを追加しRAID5を構築する場合も、上記のRAID0、1を構築する場合と同様に、最小容量のドライブ(250GB)をベースにロジカルドライブが構築されます。このため、RAID5を指定した場合、最大500GBのロジカルドライブを構築できます。
 追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

- アレイを構成しているドライブより大きな容量のドライブであれば、ホットスペアドライブとして使用することができます。

(3) ホットスペアドライブとして追加した場合



250GBのドライブ2台によるRAID1(ミラー)に、ホットスペアドライブとして500GBドライブを設定した場合、障害が発生した際は、スペアドライブ中の250GBを使用してリビルドが行われます。残り250GBは未使用となります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

消耗品の扱いについて

- 下表のバッテリー(ストレージコントローラに搭載されているバッテリーも含む)は、消耗品となります。
- 消耗品には寿命があります。寿命は、バッテリーを搭載し、初回通電日からの換算となります。
- 寿命に至った場合、保証期間、SupportDesk契約有無(※)に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、お客様に交換用バッテリー製品をご購入いただき、交換作業をしていただく必要があります。
なお、寿命期間は25℃を基準温度として定めており、お客様の使用温度によって寿命期間が前後することがありますので予めご留意ください。
- バッテリーは非稼働な状態でも、放電を続けるため、ご購入後は速やかな搭載作業をお願いいたします。
- RAS支援サービスやOS標準スケジュール機能により交換予告通知設定をする事が可能です。事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。
詳細につきましては、当社ホームページ「定期交換部品・消耗品・有寿命部品」(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/parts/>)をご参照ください。

※SupportDesk Standardをご契約いただいているお客様向けに、「SupportDesk 保守サービスプラス 予防保守 RAIDバッテリー定期交換(PRIMERGY)」をご用意しております。詳細については当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/menu/maintenance/raidbattery/>)をご参照ください。
※お客様に代わって、指定のサービスエンジニアによるバッテリー交換サービスとして、「SASアレイコントローラカードバッテリー交換作業代行サービス」をご用意しております。詳細については当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/service/parts-exchange.html>)をご参照ください。

■2014年1月以降提供製品

バッテリー【消耗品】		交換用バッテリー【消耗品】		
寿命期間:「2年」		寿命期間:「2年」		
品名		品名	型名	価格(税別)
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01A	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC1A	12,000円
	PYBBBR01A			
	PYBBBR02A			
	PYBBBR03A			
	PY-BBR06A			
	PYBBBR06A			
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR07A	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC2A	12,000円
	PY-BBR04A			
	PYBBBR04A			
	PYBBBR05A			

■2013年12月以前提供製品 ※旧製品(販売終息済み)

バッテリー【消耗品】		交換用バッテリー【消耗品】		2014年1月販売開始			
旧製品(販売終息済み)		旧製品(販売終息済み)		寿命期間:「2年」			
寿命期間:「約3年」		寿命期間:「約3年」		寿命期間:「2年」			
品名	型名	品名	型名	価格(税別)	品名	型名	価格(税別)
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01 PYBBBR01 PYBBBR02 PYBBBR03	バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC1A	12,000円
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PG-BBU7 PGBBBU7	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PG-BBU7				
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PY-BBD02 PYBBBD02	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PY-BBD02				
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-248KL PG-248GL PG-248G1 PG-248G2 PG-248G3 PG-248G3L PG-248C3 PG-248C4 PG-248C6 PG-248C2L PG-248J PG-248J1 PG-248JC PG-248J5 PG-248C7 PG-248C8 PG-248G5 PG-248J2 PG-248JL PG-248J3 PG-248J4 PG-248K PG-248KL PG-248K3	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU5	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC2A	12,000円

(*1) 資料内は一般型名(別梱包で出荷)[PG-型名]のみ記載しておりますが、カスタムメイド型名(本体内蔵出荷)[PGB型名]も対象となります。

有寿命部品関連事項

有寿命部品のSSD / DCPMMIについて

本製品は、書き込み寿命を有するメモリを含んだ「有寿命部品」となります。
 お客様のご使用方法により、保証期間内またはSupportDesk契約期間内にメモリの書き込み寿命を迎える場合があります。
 製品の保証は、当社の定める製品保証期間/SupportDesk契約終了日、または書き込み保証値に達した場合のいずれか早い時点で終了となります。
 ご使用中に書き込み保証値に達し、寿命に至った場合(*)、製品保証期間/SupportDesk契約有無に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、お客様に製品を再度ご購入いただく必要があります。
 (*) 当該製品が書き込み寿命を迎えた後もご使用を続けた結果、故障に至った場合も同様の対応となります。

定期的に状態をご確認いただき、製品の書き込みデータ量に達する前(寿命到達前)に当社担当営業、もしくは販売パートナーまで再購入のご相談をくださいますようお願いいたします。
 また、SupportDesk契約の内容によっては、製品の再購入により、SupportDesk契約の更新・変更手続きが必要な場合もありますので、こちらにつきましても、当社担当営業、もしくは販売パートナーまでご相談くださいますようお願いいたします。

富士通へ保守作業をご依頼いただく際には、あらかじめ寿命に至っているかどうかをご確認の上、お申込みください。

SSD製品の書き込み保証値について

本製品の状態は、管理ツールを使用して確認できます。

本製品の書き込み保証値と管理ツールの詳細な操作方法については、下記の当社公開ホームページをご参照ください。
 当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/parts/#parts2>)

管理ツールおよびドライバは、当社ホームページ:「ダウンロード」より入手できます。
 当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>)

DCPMM製品の書き込み保証値について

本製品の状態は、管理ツールを使用して確認できます。

本製品の書き込み保証値と管理ツールの詳細な操作方法については、下記の当社公開ホームページをご参照ください。
 当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/parts/#parts2>)

管理ツールおよびドライバは、当社ホームページ:「ダウンロード」より入手できます。
 当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>)

SATA SSD[有寿命部品]をアレイ構成で使用する場合について

SATA SSD[有寿命部品]をオンボードSATAコントローラに接続し、アレイ構成にてご使用になる場合は、必ずソフトウェアRAID用ドライバをご確認の上、ご使用ください。

OS	ドライバ(ドライバキット)名称とバージョン
Windows全般	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Windows Driver バージョン : V17.01.2016.0216以降
Red Hat Enterprise Linux 7.5 (for Intel64)	初版から対応済み
Red Hat Enterprise Linux 7.4 (for Intel64)	初版から対応済み
Red Hat Enterprise Linux 7.3 (for Intel64)	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン : V17.01.2016.0216以降
Red Hat Enterprise Linux 6.10 (for Intel64)	初版から対応済み
Red Hat Enterprise Linux 6.9 (for Intel64)	初版から対応済み
SUSE Linux Enterprise Server 15 for AMD64 & Intel64 SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 2 for AMD64 & Intel64 SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 3 for AMD64 & Intel64 SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4 for AMD64 & Intel64 SUSE Linux Enterprise Server 11 Service Pack 4 for AMD64 & Intel64	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン : V17.01.2016.0216以降

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

メモリ関連事項

OSにおける最大CPU数/使用可能なメモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意ください。使用可能メモリ容量は以下の通りです
(搭載可能なメモリ容量およびサポートOSは機種により異なります)。

OS略称	最大CPU数 (*1)	使用可能メモリ容量
WS19S	無制限(～64)	24TB
WS19D	無制限(～64)	24TB
WS19E	(～2)	64GB
WS16S	無制限(～64)	24TB
WS16D	無制限(～64)	24TB
WS16E	(～2)	64GB
WSS16S	(～2)	24TB
WS12S / WS12RS	(～64)	4TB
WS12D / WS12RD	(～64)	4TB
WS12F / WS12RF	(～1)	32GB
WS12E / WS12RE	(～2)	64GB
WSS12RS	(～64)	4TB
WS08RS	(～4)	32GB
WS08RE	(～8)	2TB (*2)
WS08RD	(～64)	2TB (*2)
RHEL7(Intel64)	～192	12TB
RHEL6(Intel64)	～192	12TB
SLES 15 (x86_64)	～8192	64TB
SLES 12 (x86_64)	～8192	64TB
SLES 11 (x86_64)	～4096	16TB
vS6.7	768	16TB
vS6.5	576	12TB
vS6.0	480	6TB

(*1) ハイパースレッディング・テクノロジー機能による論理CPU、デュアルコアCPU、クアッドコアCPU、6コア/8コア/10コア/12コア/14コア/16コア/18コア/20コア/22コア/24コア/26コア/28コアCPUのCPUコアをCPUの数としてカウントします。()内は物理CPU数です。

(*2) 物理メモリを1TB以上搭載する場合、Windows Server 2008 R2 SP1を適用してください。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

メモリの動作モードについて

メモリ動作モードには、インディペンデントチャンネルモード、ランクスベアリングモード、パフォーマンスモード、ミラードチャンネルモードの4種類があります。メモリ動作モードの選定でメモリ構成や搭載条件が決められ、性能・動作が変わります。CPU1、CPU2は同じメモリモードで動作します。メモリ構成の詳細はモデルによって異なります。詳細は以下を参照してください。

■RX2520 M4/TX2550 M4の場合

【インディペンデントチャンネルモード】

Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では、SDDC機能は未サポートです。

【DIMMの搭載位置(出荷時)】

・DIMMは容量の大きいものから以下の搭載位置で出荷されます。

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1					
	iMC0			iMC1		
ctrl.	A	B	C	D	E	F
Channel	1A	1B	1C	1D	1E	1F
socket	1A	1B	1C	1D	1E	1F
#DIMMS	○	-	-	-	-	-
2	○	-	-	-	-	-
3	○	○	-	○	-	-
4	○	○	-	○	○	-
5	○	○	○	○	○	-
6	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
	iMC0			iMC1			iMC0			iMC1		
ctrl.	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
Channel	1A	1B	1C	1D	1E	1F	1G	1H	1J	1K	1L	1M
socket	1A	1B	1C	1D	1E	1F	1G	1H	1J	1K	1L	1M
#DIMMS	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
2	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
3	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
4	○	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-
5	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
6	○	○	-	○	-	-	○	○	-	○	-	-
7	○	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-
8	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-
9	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-
10	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置(DIMMが1種類の時)】

・DIMMは容量の大きいものから以下の搭載位置にて搭載することを推奨します。

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1					
	iMC0			iMC1		
ctrl.	A	B	C	D	E	F
Channel	1A	1B	1C	1D	1E	1F
socket	1A	1B	1C	1D	1E	1F
#DIMMS	○	-	-	-	-	-
2	○	-	-	-	-	-
3	○	○	-	-	-	-
4	○	○	○	-	-	-
5	○	○	-	○	-	-
6	○	○	○	○	○	-
7	○	○	-	○	○	-
8	○	○	-	○	○	-
9	○	○	○	○	○	-
10	○	○	○	○	○	-
11	○	○	○	○	○	-
12	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
	iMC0			iMC1			iMC0			iMC1		
ctrl.	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
Channel	1A	1B	1C	1D	1E	1F	1G	1H	1J	1K	1L	1M
socket	1A	1B	1C	1D	1E	1F	1G	1H	1J	1K	1L	1M
#DIMMS	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
2	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
3	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
4	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
5	○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-
6	○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-
7	○	○	-	○	○	-	○	○	-	-	-	-
8	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-
9	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-
10	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	-
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置(DIMMが2種類で偶数枚の時)】

・DIMMが2種類の時、以下の搭載位置にすることを推奨します。

■物理CPU1個構成時

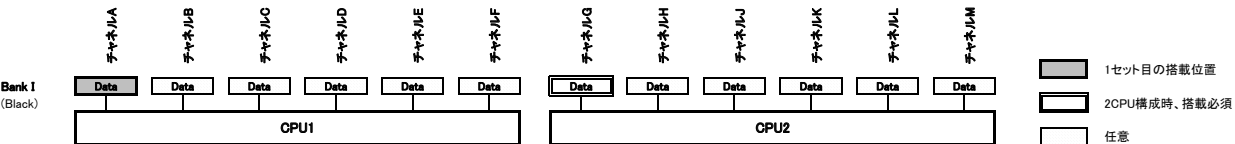
CPU	CPU1					
	iMC0			iMC1		
ctrl.	A	B	C	D	E	F
Channel	1A	1B	1C	1D	1E	1F
socket	1A	1B	1C	1D	1E	1F
#DIMMS	2	-	-	1	-	-
4	2	2	-	1	1	-
6	2	2	2	1	1	1

数字: 搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
	iMC0			iMC1			iMC0			iMC1		
ctrl.	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
Channel	1A	1B	1C	1D	1E	1F	1G	1H	1J	1K	1L	1M
socket	1A	1B	1C	1D	1E	1F	1G	1H	1J	1K	1L	1M
#DIMMS	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
4	2	-	-	1	-	-	1	-	-	2	-	-
6	2	2	-	1	1	-	1	-	-	2	-	-
8	2	2	-	1	1	-	1	1	-	2	2	-
10	2	2	2	1	1	1	1	1	-	2	2	-
12	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2

数字: 搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-: メモリ非搭載



システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
 - (2) 動作速度は搭載枚数により異なりますので、詳細は各機種の「メモリの搭載について」をご参照ください。
 - (3) Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では、SDCC機能は未サポートです。
 - (4) 最低6枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、6枚の同一DIMMを1セットとする必要があります(物理CPU2個構成時は12枚)。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1					
	iMC0			iMC1		
ctrl.	A	B	C	D	E	F
Channel	A	B	C	D	E	F
socket	1A	1B	1C	1D	1E	1F
#DIMMS	6	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)

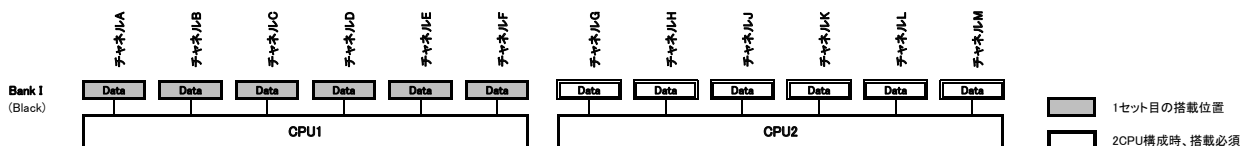
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
	iMC0			iMC1			iMC0			iMC1		
ctrl.	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
Channel	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
socket	1A	1B	1C	1D	1E	1F	1G	1H	1J	1K	1L	1M
#DIMMS	12	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



【ミラードチャンネルモード】

- (1) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (2) Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では使用できません。
- (3) 物理CPU2個構成時はCPU1側とCPU2側で同じ枚数のDIMMを搭載する必要があります。
- (4) 同一型名メモリのみ搭載可能です。

【DIMMの搭載位置】

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1					
	iMC0			iMC1		
ctrl.	A	B	C	D	E	F
Channel	A	B	C	D	E	F
socket	1A	1B	1C	1D	1E	1F
#DIMMS	2	○	○	-	-	-
	3	○	○	-	-	-
	4	○	○	-	○	-
	6	○	○	-	○	○

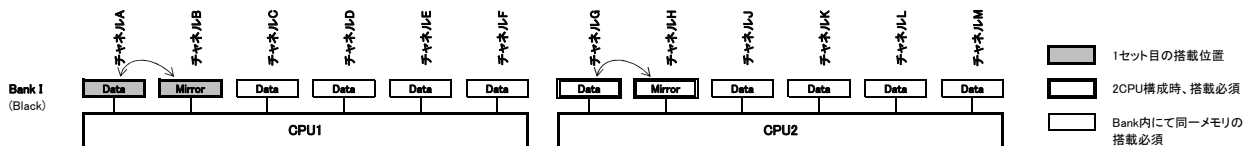
○: 搭載、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

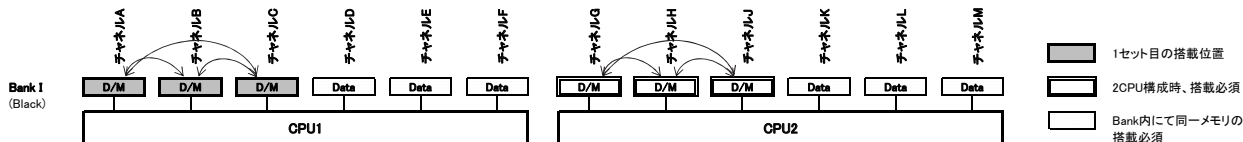
CPU	CPU1						CPU2					
	iMC0			iMC1			iMC0			iMC1		
ctrl.	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
Channel	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
socket	1A	1B	1C	1D	1E	1F	1G	1H	1J	1K	1L	1M
#DIMMS	4	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-
	6	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-
	8	○	○	-	○	○	○	○	-	○	-	-
	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

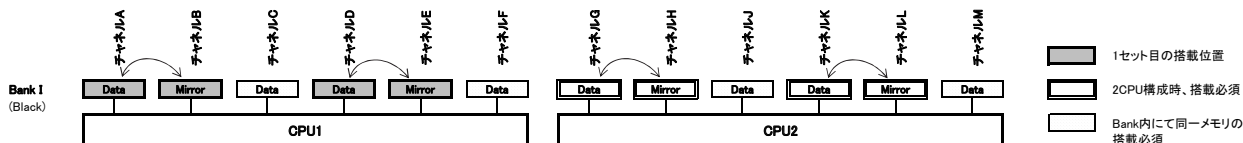
<1CPUあたり2 DIMMsの場合>



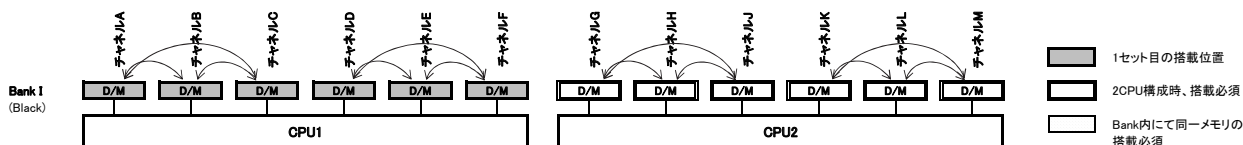
<1CPUあたり3 DIMMsの場合>



<1CPUあたり4 DIMMsの場合>



<1CPUあたり6 DIMMsの場合>



D/M: Data/Mirror

■RX2530 M4/RX2540 M4の場合

【インディペンデントチャネルモード】

Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では、SDDC機能は未サポートです。

【DIMMの搭載位置(出荷時)】

・DIMMは容量の大きいものから以下の搭載位置で出荷されます。

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
	iMC0						iMC1					
	A		B		C		D		E		F	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
socket												
#DIMMS												
1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
3	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-
5	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-
6	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
7	○	○	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
8	○	○	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-
9	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-
10	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1												CPU2											
	iMC0						iMC1						iMC0						iMC1					
	A		B		C		D		E		F		G		H		J		K		L		M	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M
socket																								
#DIMMS																								
2	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
5	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
6	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-
8	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-
9	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-
10	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-
11	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-
12	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
13	○	○	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
14	○	○	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
15	○	○	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
16	○	○	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-
17	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-
18	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	-
19	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	-
20	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-
21	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置(DIMMが1種類の時)】

・DIMMは容量の大きいものから以下の搭載位置にて搭載することを推奨します。

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
	iMC0						iMC1					
	A		B		C		D		E		F	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
socket												
#DIMMS												
1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
4	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-
5	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-
6	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
7	○	○	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
8	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-
9	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-
10	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1												CPU2											
ctrl	iMC0						iMC1						iMC0						iMC1					
Channel	A		B		C		D		E		F		G		H		J		K		L		M	
socket	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M
#DIMMS																								
2	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
7	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
8	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-
9	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
10	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-
11	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-
12	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
13	○	○	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
14	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
15	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-
17	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-
19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	-	-
21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	-
23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【DIMMの搭載位置(DIMMが2種類で偶数枚の時)】

・DIMMが2種類の時、以下の搭載位置にすることを推奨します。

■物理CPU1個構成時

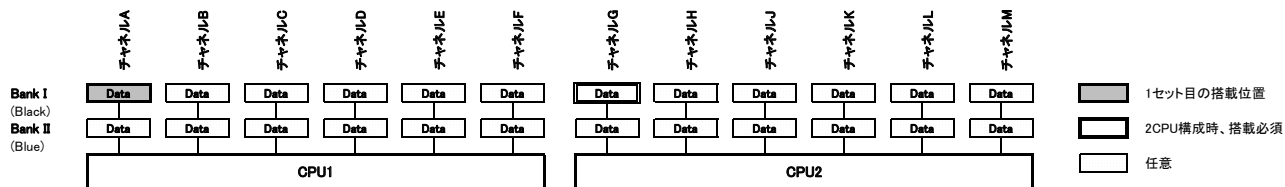
CPU	CPU1											
	iMC0						iMC1					
	A		B		C		D		E		F	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
#DIMMS												
2	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-	1	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	2	2	2	2	-	-	1	1	1	1	-	-
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	2	2	2	2	2	-	1	1	1	1	1	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1

数字: 搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1												CPU2											
ctrl	iMC0						iMC1						iMC0						iMC1					
Channel	A		B		C		D		E		F		G		H		J		K		L		M	
socket #DIMMS	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M
2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-	1	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-	1	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-	1	-
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	2	2	2	2	-	-	1	1	1	1	-	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-	1	-
15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	2	2	2	2	-	-	1	1	1	1	-	-	2	2	2	2	-	-	1	1	1	1	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-	1	-
19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	-	-	1	1	1	1	-	-
21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	-	1	1	1	1	1	-
23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1

数字: 搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-: メモリ非搭載



【ランクスベアリングモード】

- (1) 同一メモリチャネルの中で、1つのランクは他のランクのスペアとして利用できます。
- (2) スペアに設定されたランクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- (3) 同一メモリチャネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- (4) 物理CPU2個構成時はCPU1側とCPU2側で同じ枚数のDIMMを搭載する必要があります。
- (5) ランクスベアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一メモリ型名のみ搭載可能です。
- (6) 最小構成: 1チャネルあたり、Single Rank × 2、Dual Rank × 1、またはQuad Rank × 1
- (7) Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では使用できません。
- (8) 使用可能なメモリ容量は、1チャネルあたり以下になります。

【メモリ使用可能容量】

	RDIMM			LRDIMM		RDIMM 3DS
	16GB	16GB	32GB	64GB	64GB	
	SR	DR	DR	QR	QR	QR
1DPC	-	8GB	16GB	48GB	32GB	64GB
2DPC	16GB	24GB	48GB	112GB	96GB	196GB

※DPC: チャネルあたりのDIMM数

SR: Single Rank
DR: Dual Rank
QR: Quad Rank
OR: Octa Rank

【DIMMの搭載位置】

<Single Rankメモリ(RDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
	iMC0						iMC1					
	A		B		C		D		E		F	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
#DIMMS												
2	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
6	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
8	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1												CPU2											
ctrl.	iMC0						iMC1						iMC0						iMC1					
Channel	A		B		C		D		E		F		G		H		J		K		L		M	
socket	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M
#DIMMS																								
4	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
8	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
10	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:搭載、-:メモリ非搭載

<Dual Rankメモリ / Quad Rankメモリ / (Octa Rankメモリ)の場合>

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
ctrl.	iMC0						iMC1					
Channel	A		B		C		D		E		F	
socket	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
#DIMMS												
1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
4	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
5	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

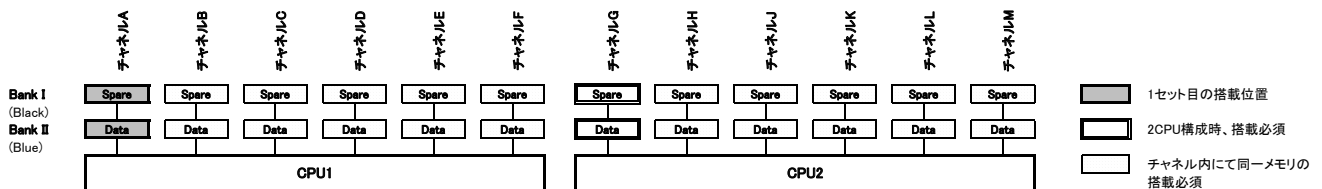
○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

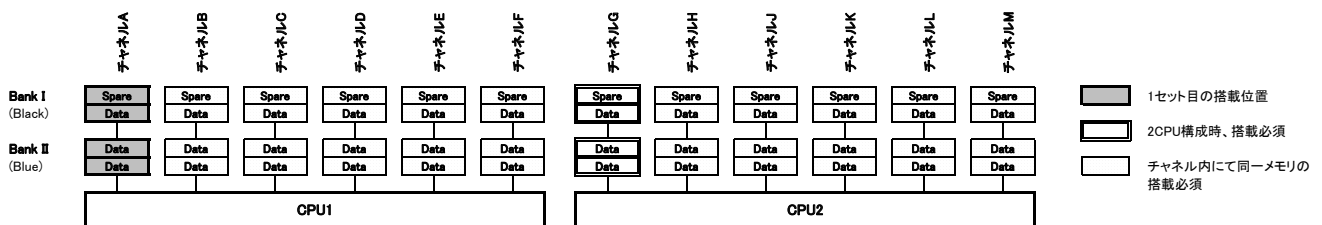
CPU	CPU1												CPU2											
ctrl.	iMC0						iMC1						iMC0						iMC1					
Channel	A		B		C		D		E		F		G		H		J		K		L		M	
socket	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M
#DIMMS																								
2	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
8	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
10	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:搭載、-:メモリ非搭載

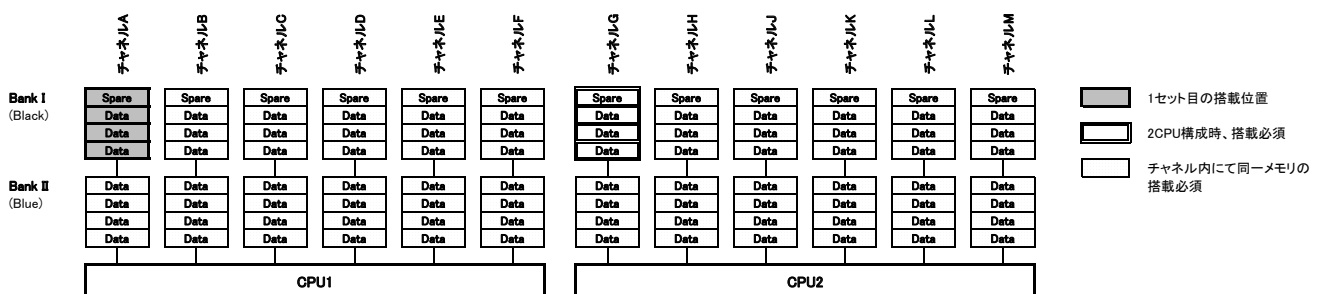
<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>、<Quad Rank/Octa Rank(RDIMM 3DS)の場合>



<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
- (2) 動作速度は搭載枚数により異なりますので、詳細は各種種の「メモリの搭載について」をご参照ください。
- (3) Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では、SDDC機能は未サポートです。
- (4) 最低6枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
- (5) パフォーマンスモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1											
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
1セット	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-
2セット	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②

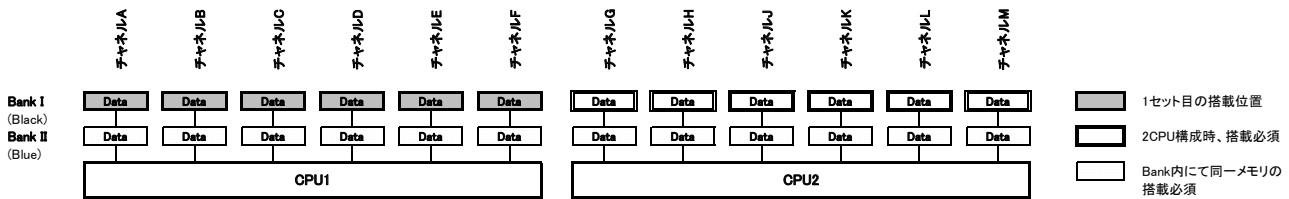
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M
2セット	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-
4セット	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



【ミラーチャンネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
- (2) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (3) Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では使用できません。
- (4) ミラーチャンネルモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。

【DIMMの搭載位置】

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
	iMC0						iMC1					
	A		B		C		D		E		F	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
2	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
4	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-
6	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-
8	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-
9	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

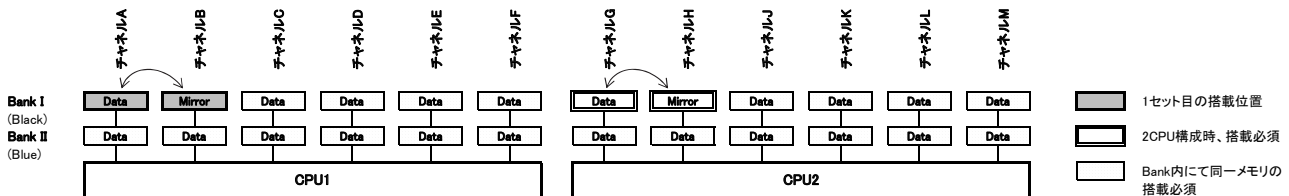
○: 搭載、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時(すべてのモジュールが同じ容量の場合)

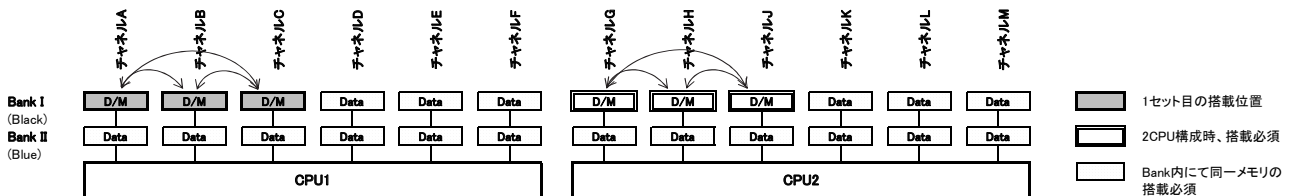
CPU	CPU1												CPU2											
	iMC0						iMC1						iMC0						iMC1					
	A		B		C		D		E		F		G		H		J		K		L		M	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M
4	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
8	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-
10	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-
12	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-
14	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	○	-
16	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	○	-
18	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	○	-
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

<1CPUあたり2 DIMMsの場合>

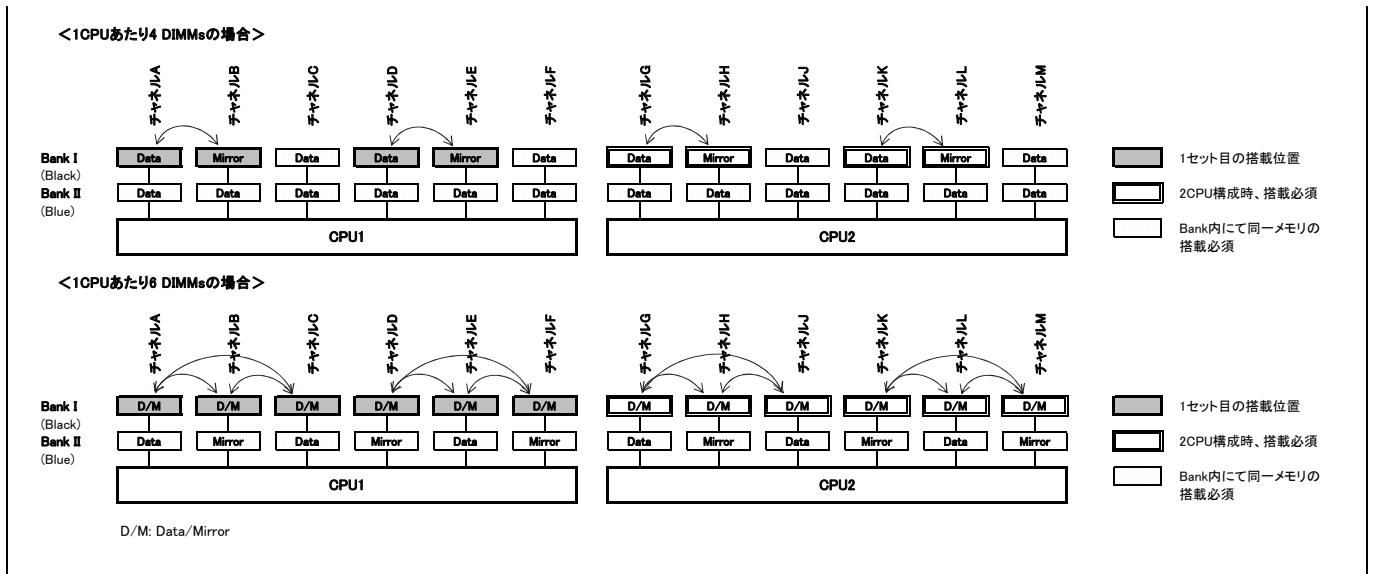


<1CPUあたり3 DIMMsの場合>



システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。



システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■RX2530 M5/RX2540 M5の場合

【インディペンデントチャネルモード】

Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では、SDDC機能は未サポートです。

【DIMMの搭載位置(DIMMが1種類の時)】(工場出荷時)

・工場出荷時はDIMM2種類以上の時は搭載できません。

・DIMMは容量の大きいものから以下の搭載位置にて搭載することを推奨します。

■物理CPU1個構成時

CPU		CPU1											
ctrl.		iMC1						iMC0					
Channel		F		E		D		A		B		C	
socket		1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C
#DIMMS		1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C
1		-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
2		-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
3		-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
4		-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-
5*		-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○
6		○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○
7*		○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○
8		-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
9*		○	-	○	-	○	-	-	○	○	○	○	○
10*		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11*		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU		CPU1												CPU2											
ctrl.		iMC1						iMC0						iMC1						iMC0					
Channel		F		E		D		A		B		C		M(F)		L(E)		K(D)		G(A)		H(B)		J(C)	
socket		1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G	2H	1H	2J	1J
#DIMMS		1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G	2H	1H	2J	1J
2(1/1)		-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
3(2/1)		-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
4(2/2)		-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
5(3/2)		-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
6(3/3)		-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
7(4/3)		-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
8(4/4)		-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-
9(6/3)		○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
10(6/4)		○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-
11(8/3)		-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
12(6/6)		○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○
13(7/6)		○	-	○	-	○	-	-	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○
14(8/6)		-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○
15(9/6)		○	-	○	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○
16(12/4)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○
17(9/8)		○	-	○	-	○	-	-	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
18(12/6)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○
19(12/7)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○
20(12/8)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-
21(12/8)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○
22(12/10)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
23(12/11)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
24(12/12)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○

○:搭載、-:メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置(DIMMが2種類で偶数枚の時)】(増設時)

・DIMMが2種類の時、以下の搭載位置にすることを推奨します。

・DIMM3種類は搭載不可です。

■物理CPU1個構成時

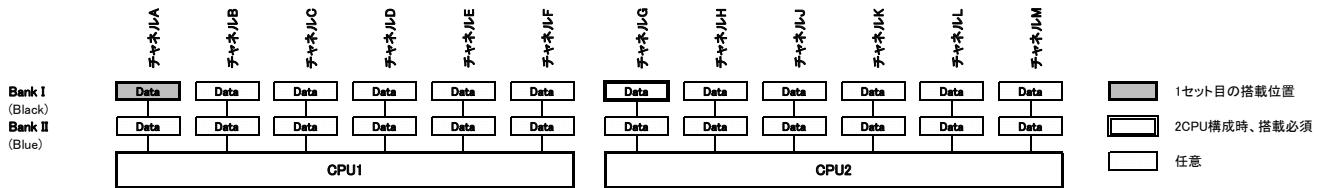
CPU		CPU1											
ctrl.		iMC1						iMC0					
Channel		F		E		D		A		B		C	
socket		1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C
#DIMMS		1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C
2		-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-
3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4		-	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	-
5		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6		2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	1
7		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8		-	-	2	2	2	1	1	1	1	-	-	-
9		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10*		2	-	2	2	2	1	1	1	1	-	1	-
11		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12		2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1

数字:搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU		CPU1												CPU2											
ctrl.		iMC1						iMC0						iMC1						iMC0					
Channel		F		E		D		A		B		C		M(F)		L(E)		K(D)		G(A)		H(B)		J(C)	
socket		1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G	2H	1H	2J	1J
#DIMMS																									
2(1/1)		-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4(2/2)		-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-
5		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6(3/3)		-	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-
7		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8(4/4)		-	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	-
9		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10(6/4)		2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	-
11		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12(6/6)		2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	1	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	1
13		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14(8/6)		-	-	2	2	2	2	1	1	1	1	-	-	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	1
15		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16(12/4)		-	-	2	2	2	2	1	1	1	1	-	-	-	-	2	2	2	2	1	1	1	1	-	-
17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18(12/6)		2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	1
19		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20(12/8)		2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	-	-	2	2	2	2	1	1	1	1	-	-
21		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22(12/10)		2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-	2	2	2	2	1	1	1	1	-	1
23		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24(12/12)		2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。



【ランクスベアリングモード】

- (1) 同一メモリチャネルの中で、1つのランクは他のランクのスペアとして利用できます。
- (2) スペアに設定されたランクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- (3) 同一メモリチャネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- (4) 物理CPU2個構成時はCPU1側とCPU2側で同じ枚数のDIMMを搭載する必要があります。
- (5) ランクスベアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一メモリ型名のみ搭載可能です。
- (6) 最小構成: 1チャネルあたり、Single Rank × 2、Dual Rank × 1、またはQuad Rank × 1
- (7) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(16GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では使用できません。
- (8) 使用可能なメモリ容量は、1チャネルあたり以下となります。

【メモリ使用可能容量】

	RDIMM						LRDIMM	
	8GB	16GB	16GB	32GB	64GB	64GB	64GB	128GB
	SR	SR	DR	DR	DR	DR	QR	QR
1DPC	-	-	8GB	16GB	32GB	48GB	96GB	
2DPC	8GB	16GB	24GB	48GB	96GB	112GB	224GB	

※DPC:チャネルあたりのDIMM数

SR: Single Rank

DR: Dual Rank

QR: Quad Rank

【DIMMの搭載位置】

<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1									
	iMC1					iMC0				
ctrl.										
Channel	F	E	D	A	B	C				
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B
#DIMMS	1C	2C	1C	2C	1C	2C	1C	2C	1C	2C
2	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○
4	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○
6	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○
8	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
10	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1										CPU2									
	iMC1					iMC0					iMC1					iMC0				
ctrl.																				
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)								
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G
#DIMMS	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G
4(2/2)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
6(4/2)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
8(4/4)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
10(6/4)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
12(6/6)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
14(8/6)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
16(8/8)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
18(10/8)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
20(10/10)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
22(12/10)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
24(12/12)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

<Dual Rankメモリ / Quad Rankメモリの場合>

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1									
	iMC1					iMC0				
ctrl.										
Channel	F	E	D	A	B	C				
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B
#DIMMS	1C	2C	1C	2C	1C	2C	1C	2C	1C	2C
1	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
2	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
3	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
4	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
5	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
6	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
7	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
8	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-
9	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-
10	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-
11	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
12	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-

○: 搭載、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

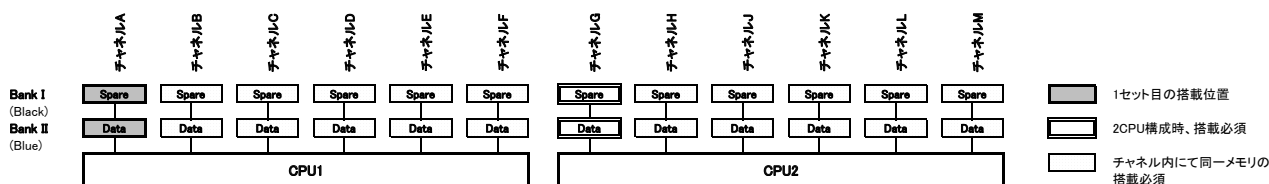
CPU	CPU1										CPU2									
	iMC1					iMC0					iMC1					iMC0				
ctrl.																				
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)								
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G
#DIMMS	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G
2(1/1)	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
4(2/2)	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
6(4/2)	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
8(4/4)	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
10(6/4)	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
12(6/6)	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
14(8/6)	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
16(8/8)	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
18(10/8)	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
20(10/10)	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
22(12/10)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
24(12/12)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

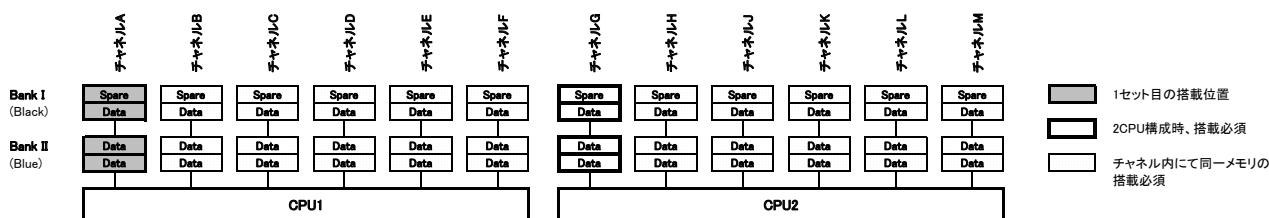
システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

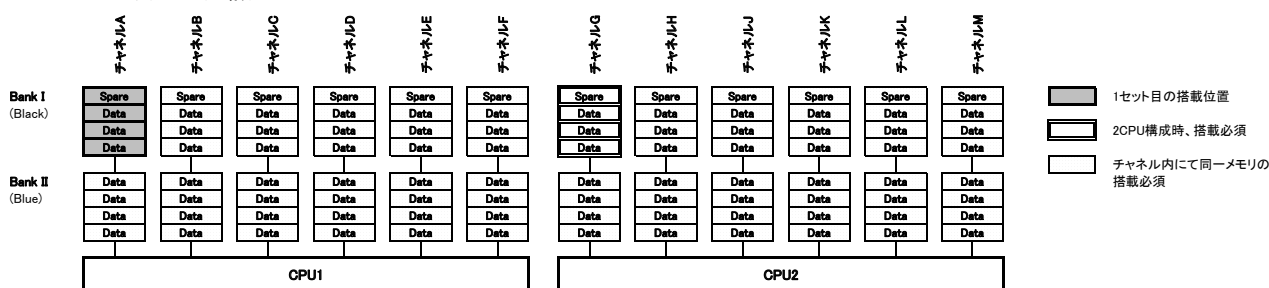
<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



【ミラーチャンネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
- (2) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (3) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では使用できません。
- (4) 2CPU構成時、CPU1側とCPU2側で同じ枚数のDIMMを搭載する必要があります。
- (5) ミラーチャンネルモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。

【DIMMの搭載位置】

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
	iMC1						iMC0					
	F		E		D		A		B		C	
	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C
2	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
4	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-
6	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○
8	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-
9	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○
12	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○

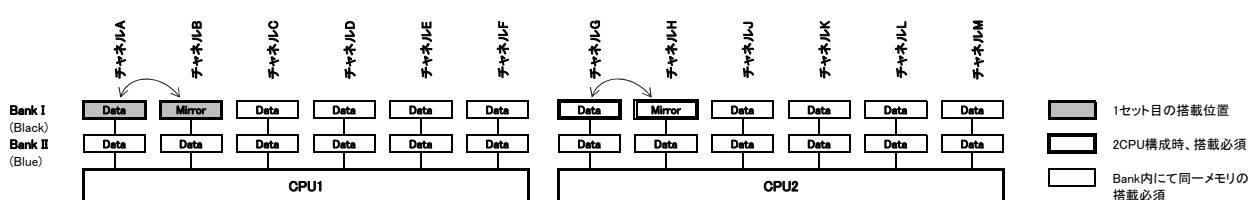
○: 搭載、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時(すべてのモジュールが同じ容量の場合)

CPU	CPU1												CPU2											
	iMC1						iMC0						iMC1						iMC0					
	F		E		D		A		B		C		M(F)		L(E)		K(D)		G(A)		H(B)		J(C)	
	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G	2H	1H	2J	1J
4(2/2)	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
5(3/2)	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
6(3/3)	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
7(4/3)	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
8(4/4)	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
9(6/3)	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
10(6/4)	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
11(8/3)	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
12(6/6)	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
14(8/6)	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
15(9/6)	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
16(8/8)	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
17(9/8)	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
18(9/9)	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
20(12/8)	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
21(12/9)	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
24(12/12)	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-

○: 搭載、-: メモリ非搭載

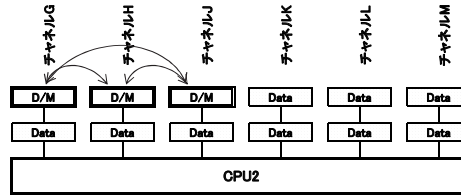
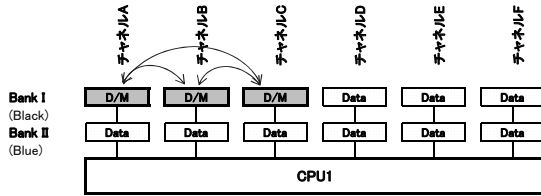
<1CPUあたり2 DIMMsの場合>



システム構成図留意事項

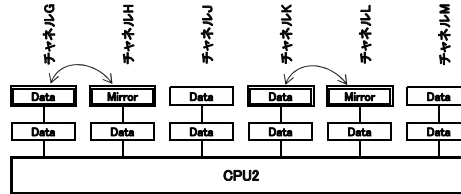
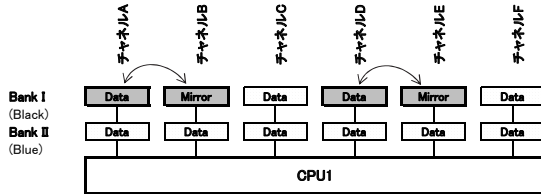
※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

<1CPUあたり3 DIMMsの場合>



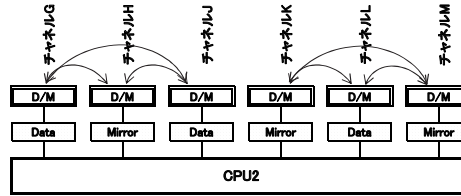
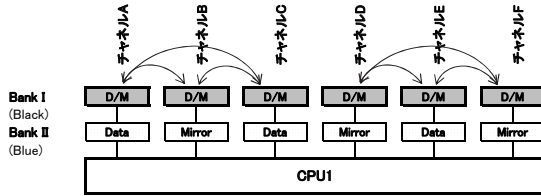
- 1セット目の搭載位置
- 2CPU構成時、搭載必須
- Bank内にて同一メモリの搭載必須

<1CPUあたり4 DIMMsの場合>



- 1セット目の搭載位置
- 2CPU構成時、搭載必須
- Bank内にて同一メモリの搭載必須

<1CPUあたり6 DIMMsの場合>



- 1セット目の搭載位置
- 2CPU構成時、搭載必須
- Bank内にて同一メモリの搭載必須

D/M: Data/Mirror

留意事項

■物理CPU2個構成時

○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

○・搭載 -・×干リ非搭載

■物理CPU2個構成時

○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

数字:搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-:メモリ非搭載

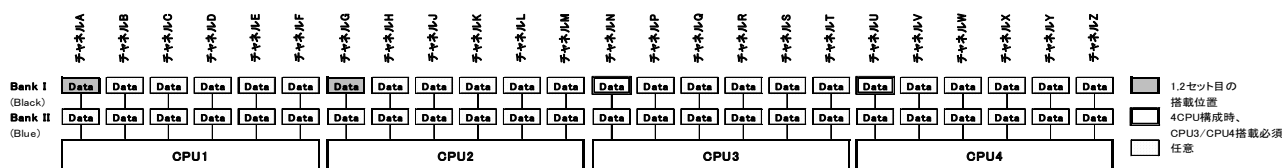
システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■物理CPU4個構成時

CPU	CPU1												CPU2												CPU3												CPU4												
ctrl.	iMC0						iMC1						iMC0						iMC1						iMC0						iMC1																		
Channel	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	Channel	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
#DIMMS	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M	1N	2N	1P	2P	1Q	2Q	1R	2R	1S	2S	1T	2T	1U	2U	1V	2V	1W	2W	1X	2X	1Y	2Y	1Z	2Z	
4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
8	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
10	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
12	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
14	1	-	1	-	-	-	2	-	2	-	-	2	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
16	1	-	1	-	-	-	2	-	2	-	-	2	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-		
18	1	-	1	-	1	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
20	1	-	1	-	1	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-		
22	1	-	1	-	1	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-		
24	1	-	1	-	1	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	-		
26	1	-	1	1	-	-	2	2	2	-	-	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-		
28	1	-	1	1	-	-	2	2	2	-	-	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-		
30	1	-	1	1	-	-	2	2	2	-	-	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-		
32	1	-	1	1	-	-	2	2	2	-	-	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-		
34	1	-	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-		
36	1	-	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-		
38	1	-	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-		
40	1	-	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-		
42	1	-	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-		
44	1	-	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-		
46	1	-	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-		
48	1	-	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-		

数字: 搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-: メモリ非搭載



【ランクスベアリングモード】

- 同一メモリチャネルの中で、1つのバンクは他のバンクのスベアとして利用できます。
- スベアに設定されたバンクはスベア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- 同一メモリチャネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- 物理CPU2個構成時はCPU1側とCPU2側で同じ枚数のDIMMを搭載する必要があります。物理CPU4個構成時はCPU1/CPU2/CPU3/CPU4で同じ枚数のDIMMを搭載する必要があります。
- ランクスベアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一メモリ型名のみ搭載可能です。
- 最小構成: 1チャネルあたり、Single Rank × 2、Dual Rank × 1、またはQuad Rank × 1
- Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では使用できません。
- 物理CPU4個構成時、12枚セットのメモリ × 1、× 3(12、36枚構成)は搭載不可です。
- 使用可能なメモリ容量は、1チャネルあたり以下になります。

【メモリ使用可能容量】

	RDIMM			LRDIMM		RDIMM 3DS	
	16GB	16GB	32GB	64GB	64GB	128GB	
	SR	DR	DR	QR	QR	QR	
1DPC	-	8GB	16GB	48GB	32GB	64GB	
2DPC	16GB	24GB	48GB	112GB	96GB	196GB	

※DPC: チャネルあたりのDIMM数

SR: Single Rank
DR: Dual Rank
QR: Quad Rank
OR: Octa Rank

【DIMMの搭載位置】

<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>

■物理CPU2個構成時

GPU		CPU1												CPU2											
ctrl.		iMC0						iMC1						iMC0						iMC1					
Channel		A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M												
socket		1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M
#DIMMS																									
4		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
8		○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
12		○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-
16		○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-
20		○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
24		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

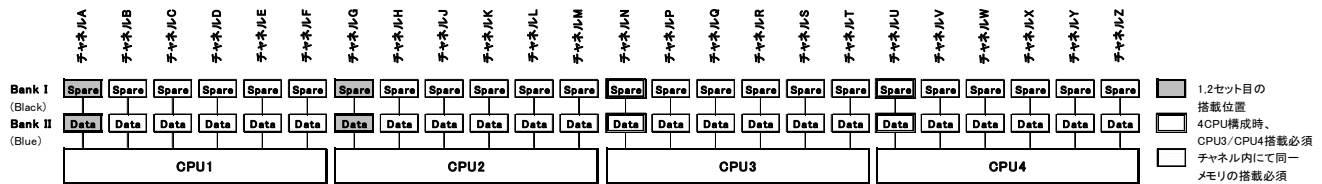
○

■物理CPU4個構成時

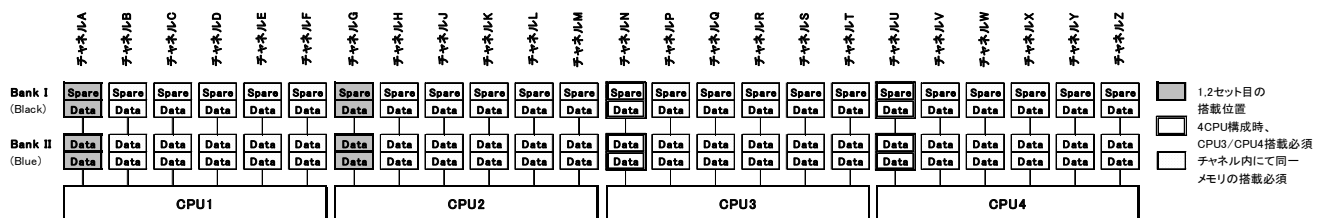
CPU	CPU1												CPU2												CPU3												CPU4																
ctrl.	iMC0						iMC1						iMC0						iMC1						iMC0						iMC1						iMC0						iMC1										
Channel	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
socket	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M	1N	2N	1P	2P	1Q	2Q	1R	2R	1S	2S	1T	2T	1U	2U	1V	2V	1W	2W	1X	2X	1Y	2Y	1Z	2Z					
#DIMMS																																																					
4	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
8	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
12	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
16	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
20	○	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
24	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
28	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
32	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
36	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
44	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○: 搭載、-: メモリ非搭載

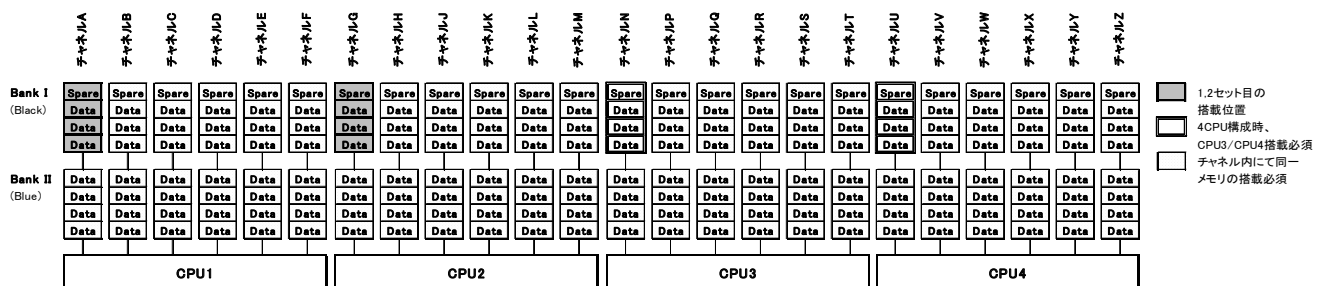
<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>、<Quad Rank/Octa Rank(RDIMM 3DS)の場合>



<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



【パフォーマンスモード】

- メモリの最大性能にて動作します。
- 動作速度は搭載枚数により異なりますので、詳細は各機種種の「メモリの搭載について」をご参照ください。
- Dual Rank × 8 (メモリ-16GB (16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB (16GB 2666 RDIMM × 12)) では、SDD機能は未サポートです。
- 最低6枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
- パフォーマンスモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。
- 物理CPU4個構成時、12枚セットのメモリ × 1、× 3 (12、36枚構成) は搭載不可です。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
2セット	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
4セット	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔

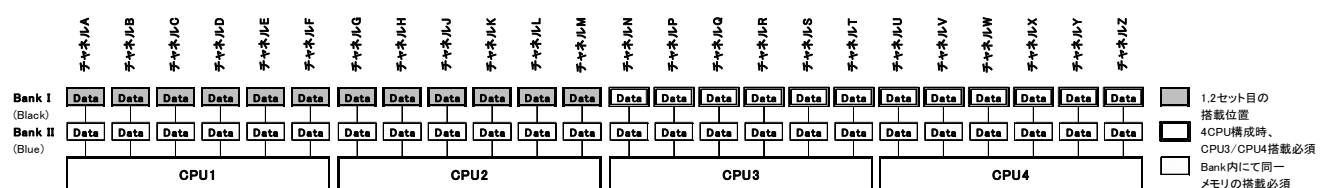
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

セット数	CPU1												CPU2												CPU3												CPU4											
4セット	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
8セット	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



【ミラードチャネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
- (2) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (3) Dual Rank x 8 (メモリ16GB (16GB 2666 RDIMM x 1)、メモリ192GB (16GB 2666 RDIMM x 12))では使用できません。
- (4) ミラーチャネルモードを設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。
- (5) 物理CPU4個構成時、12枚セットのメモリ x 1、x 3 (12、36枚構成)は搭載不可です。

【DIMMの搭載位置】

■物理CPU2個構成時

[illegible]

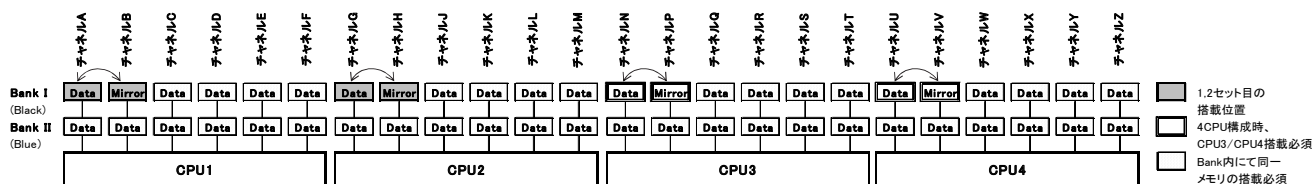
○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

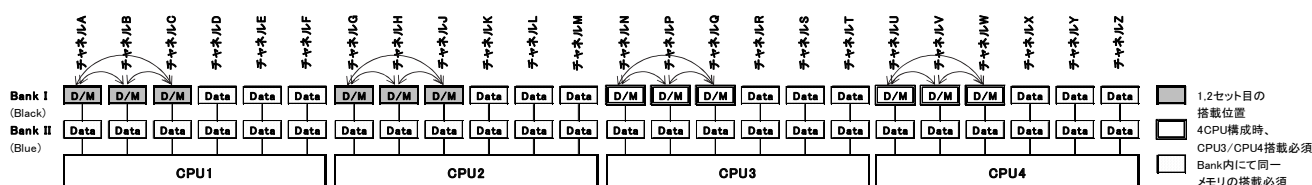
[illegible]

○:搭載、-:メモリ非搭載

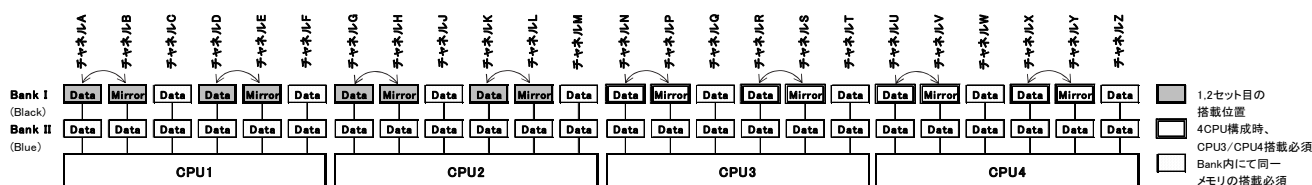
<1CPUあたり2 DIMMsの場合>



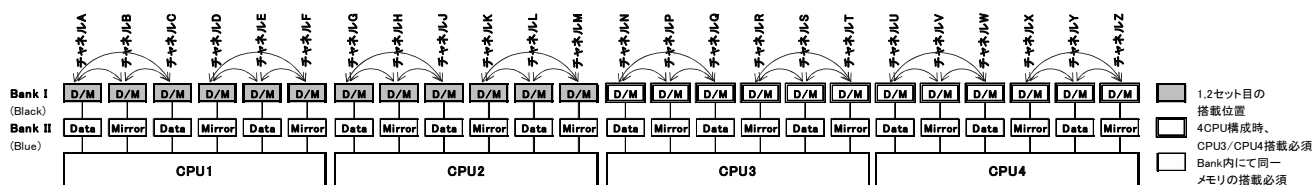
<1CPUあたり3 DIMMsの場合>



<1CPUあたり4 DIMMsの場合>



<1CPUあたり6 DIMMsの場合>



D/M: Data/Mirror

○:搭載、-:メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置(DIMMが2種類で偶数枚の時)】(増設時)

- ### ■物理CPU2個構成時

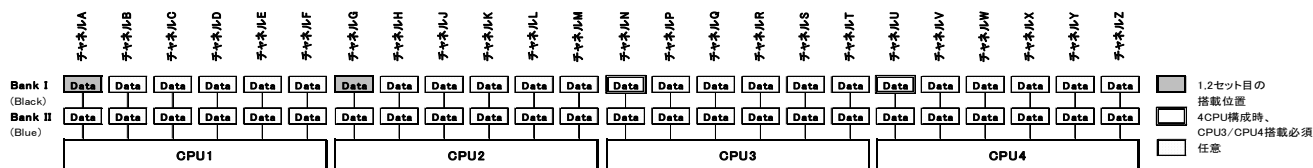
CPU	GPU1										GPU2												
ctrl.	iMC1					iMC0					iMC1						iMC0						
Channel	F	E	D			A	B	C			M(F)	L(E)	K(D)			G(A)	H(B)	J(C)					
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G	2H	1H	2J	1J
#DIMMS	1F	2F	1E	2E	1D	2D	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G	2H	1H	2J	1J
2(1/1)	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4(2/2)	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6(3/3)	-	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8(4/4)	-	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10(6/4)	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	1	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12(6/6)	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	1	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14(8/6)	-	-	2	2	2	2	1	1	1	1	-	-	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-
15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16(12/4)	-	-	2	2	2	2	1	1	1	1	-	-	-	2	2	2	2	1	1	1	1	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18(12/6)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-
19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20(12/8)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	-	-	2	2	2	2	1	1	1	1	-	-
21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22(12/10)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	-	2	2	2	2	1	1	1	1	-	1
23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24(12/12)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1

数字:搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-:メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

[illegible]

数字: 搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-: メモリ非搭載



【ランクスペアリングモード】

- (1) 同一メモリーチャネルの中で、1つのバンクは他のバンクのスペアとして利用できます。
- (2) スペアに設定されたバンクはスベア用として予約されている為、システムメモリーとして利用できません。
- (3) 同一メモリーチャネル内では、同一メモリーのみ搭載できます。
- (4) 物理CPU2個構成時はCPU1側とCPU2側で同じ枚数のDIMMを搭載する必要があります。物理CPU4個構成時はCPU1/CPU2/CPU3/CPU4で同じ枚数のDIMMを搭載する必要があります。
- (5) バンクスベアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリーを搭載する場合、同一メモリー型名のみ搭載可能です。
- (6) 最小構成: 1チャネルあたり、Single Rank×2、Dual Rank×1、またはQuad Rank×1
- (7) Single Rank×8(メモリー-8GB(8GB 2933 RDIMM×1)、メモリー-96GB(8GB 2933 RDIMM×12))、Dual Rank×8(メモリー-16GB(16GB 2933 RDIMM×1)、メモリー-192GB(16GB 2933 RDIMM×12))では使用できません。
- (8) 物理CPU4個構成時、12枚セットのメモリー×1、×3(12、36枚構成)は搭載不可です。
- (9) 使用可能なメモリー容量は、1チャネルあたり以下になります。

【メモリ使用可能容量】

	RDIMM					LRDIMM	
	8GB	16GB	16GB	32GB	64GB	64GB	128GB
	SR	SR	DR	DR	DR	QR	QR
1DPC	-	-	8GB	16GB	32GB	128GB	96GB
2DPC	8GB	16GB	24GB	48GB	96GB	48GB	224GB

※DPC:チャネルあたりのDIMM数

SR: Single Rank
DR: Dual Rank
QR: Quad Rank

【DIMMの搭載位置】

＜Single Rankメモリ (RDIMM)の場合＞

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1												CPU2												
	ctrl.	iMC1				iMC0				iMC1				iMC0											
		F		E		D		A		B		C		M(F)		L(E)		K(D)		G(A)		H(B)		J(C)	
		socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G	2H	1H	2J
#DIMMS																									
4	-	-	-	-	-	-	-	O	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	O	O	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-	O	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	O	O	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-	O	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	O	O	-	-	-	-
16	-	-	-	O	O	-	-	O	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	O	O	-	-	-	-
20	-	-	-	O	O	-	-	O	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	O	O	-	-	-	-
24	O	O	O	O	O	-	-	O	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	O	O	-	-	-	-

○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

[illegible]

○:搭載、-:メモリ非搭載

＜Dual Rankメモリ / Quad Rankメモリの場合＞

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1												CPU2																							
ctrl.	iMC1						iMC0						iMC1						iMC0																	
Channel	F			E			D			A			B			C			M(F)			L(E)			K(D)			G(A)			H(B)			J(C)		
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G	2H	1H	2J	1J	2C	1C	2H	1H	2J	1J	2C	1C				
#DIMMS																																				
2	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
4	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
6	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
8	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
10	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
12	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
14	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
16	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
18	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
20	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
22	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
24	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○				

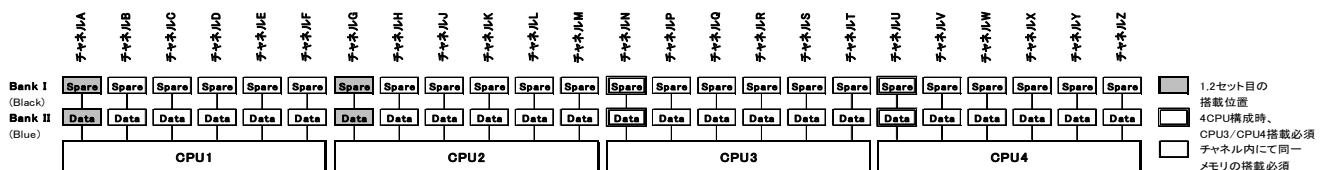
○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

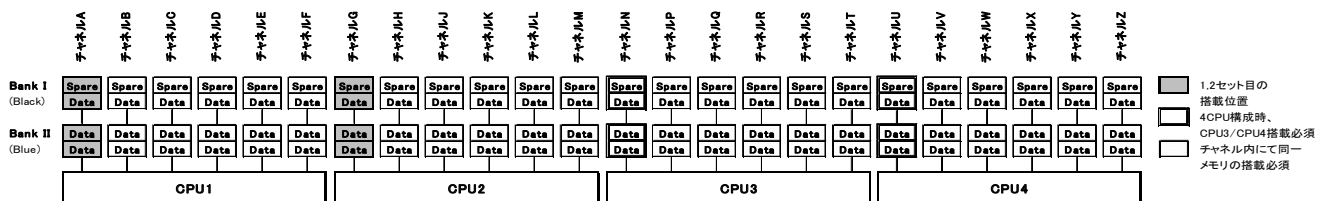
[illegible]

○:搭載、-:メモリ非搭載

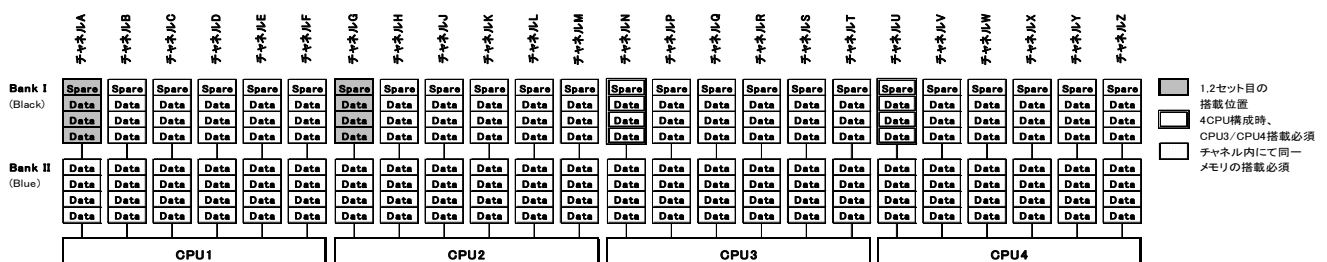
＜Single Rankメモリ (RDIMM)の場合＞



＜Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合＞



＜Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合＞



システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【ミラードチャネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
- (2) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (3) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では使用できません。
- (4) ミラーチャネルモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。
- (5) 物理CPU4個構成時、12枚セットのメモリ × 1、× 3(12、36枚構成)は搭載不可です。

【DIMMの搭載位置】

■物理CPU2個構成時

CPU0	CPU1												CPU2												
	iMC1						iMC0						iMC1						iMC0						
	Channel		F	E	D		A	B	C		M(F)	L(E)	K(D)		G(A)	H(B)	J(C)								
	socket		1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	1G	2H	1H	2J	1J
	#DIMMS																								
4		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

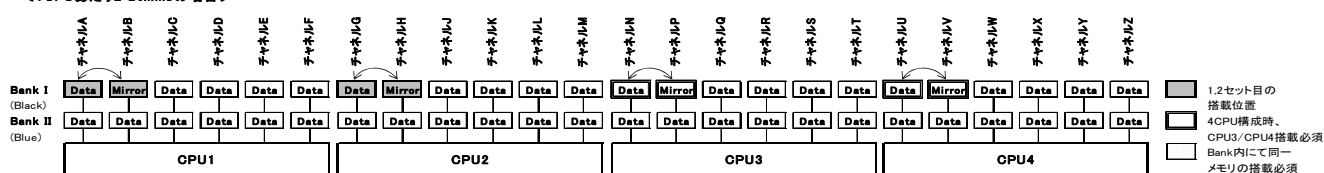
○: 搭載、-: メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

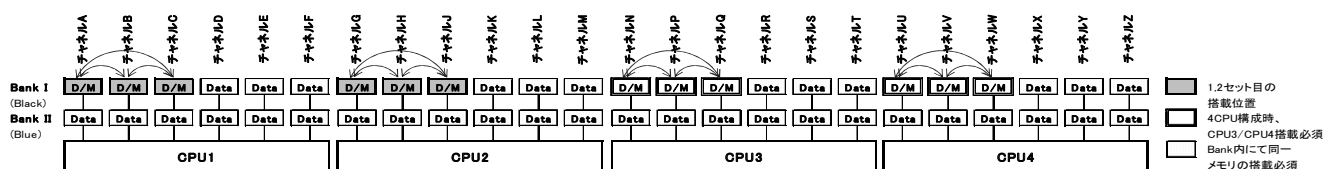
CPU	CPU1												CPU2												CPU3												CPU4															
	iMC1						iMC0						iMC1						iMC0						iMC1						iMC0																					
	Channel		F	E	D		A	B	C		M(F)	L(E)	K(D)		G(A)	H(B)	J(C)		T	S	R		N	P	Q		Z	Y	X		U	V	W																			
	socket		1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1I	2I	1T	2T	1S	2S	1R	2R	1N	2N	1P	2P	1Q	2Q	1Z	2Z	1Y	2Y	1X	2X	1U	2U	1V	2V	1W	2W
	#DIMMS																																																			
8		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
12		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
20		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
24		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
28		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
32		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
36		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
40		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
48		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

○: 搭載、-: メモリ非搭載

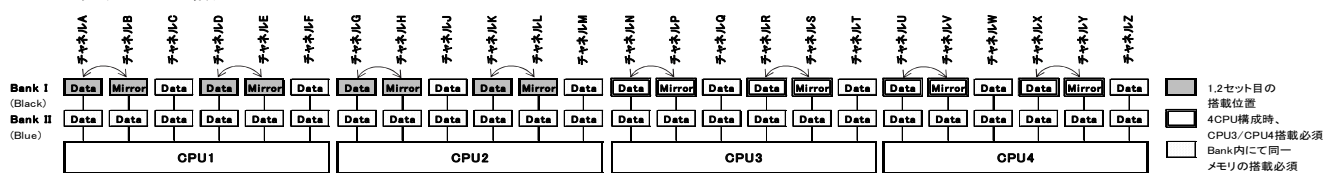
<1CPUあたり2 DIMMsの場合>



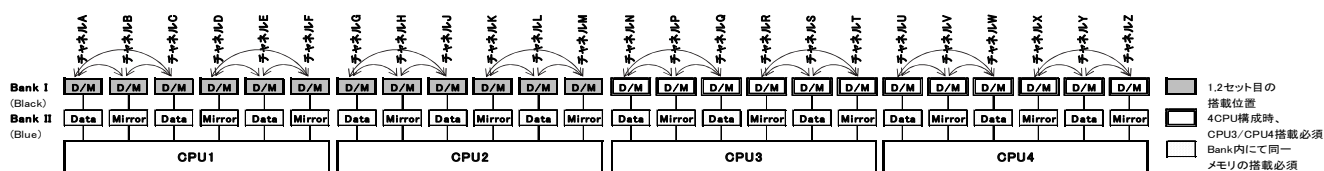
<1CPUあたり3 DIMMsの場合>



<1CPUあたり4 DIMMsの場合>



<1CPUあたり6 DIMMsの場合>



D/M: Data/Mirror

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■CX2560 M4/CX2550 M4/CX2570 M4の場合

【インディペンデントチャネルモード】

Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では、SDDC機能は未サポートです。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
チャネル												
スロット	A	B	C	D	E	F						
DIMMs	1A	2A	1B	-	1C	1D	2D	1E	-	1F	-	-
1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-
3	①	-	③	-	-	②	-	-	-	-	-	-
4	①	-	③	-	-	②	-	④	-	-	-	-
5	①	-	③	-	⑤	②	-	④	-	-	-	-
6	①	-	③	-	⑤	②	-	④	-	⑥	-	-
7	①	⑦	③	-	⑤	②	-	④	-	⑥	-	-
8	①	⑦	③	-	⑤	②	⑧	④	-	⑥	-	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1												CPU2											
チャネル																								
スロット	A	B	C	D	E	F							G	H	I	J	K	L	M					
DIMMs	1A	2A	1B	-	1C	1D	2D	1E	-	1F	-	-	1G	2G	1H	-	1J	-	1K	2K	1L	-	1M	-
2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	①	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	①	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	④	-	-	-	-	-
5	①	-	⑤	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	④	-	-	-	-	-
6	①	-	⑤	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	-	④	-	-	-	-	-
7	①	-	⑤	-	-	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	-	④	-	-	-	-	-
8	①	-	⑤	-	-	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	-	④	-	⑧	-	-	-
9	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	-	④	-	⑧	-	-	-
10	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	-	-
11	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	⑪	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	-	-
12	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	⑪	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	⑫	-
13	①	⑬	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	⑪	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	⑫	-
14	①	⑬	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	⑪	-	-	②	⑭	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	⑫	-
15	①	⑬	⑤	-	⑨	③	⑮	⑦	-	⑪	-	-	②	⑭	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	⑫	-
16	①	⑬	⑤	-	⑨	③	⑮	⑦	-	⑪	-	-	②	⑭	⑥	-	⑩	-	④	⑮	⑧	-	⑫	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【ランクスペアリングモード】

- 同一メモリチャネルの中で、1つのランクは他のランクのスペアとして利用できます。
- スペアに設定されたランクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- 1DPC構成のみサポートします(DPC: チャネルあたりのDIMM数)。
- Single Rankメモリは使用できません。
- ランクスペアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一メモリ型名のみ搭載可能です。
- 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では使用できません。
- 使用可能なメモリ容量は、1チャネルあたり以下になります。

【メモリ使用可能容量】

	RDIMM			3DS RDIMM		LRDIMM
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB	64GB
	SR	SR	DR	QR	OR	QR
1DPC	-	-	16GB	48GB	112GB	48GB
2DPC	-	-	-	-	-	-

※DPC: チャネルあたりのDIMM数

SR: Single Rank
DR: Dual Rank
QR: Quad Rank
OR: Octa Rank

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
チャネル												
スロット	A	B	C	D	E	F						
DIMMs	1A	2A	1B	-	1C	1D	2D	1E	-	1F	-	-
1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-
3	①	-	③	-	-	②	-	-	-	-	-	-
4	①	-	③	-	-	②	-	④	-	-	-	-
5	①	-	③	-	⑤	②	-	④	-	-	-	-
6	①	-	③	-	⑤	②	-	④	-	⑥	-	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

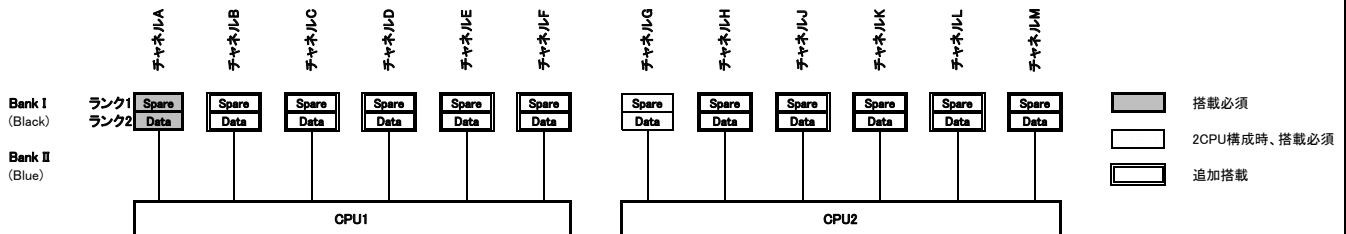
■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1												CPU2											
チャネル																								
スロット	A	B	C	D	E	F							G	H	I	J	K	L	M					
DIMMs	1A	2A	1B	-	1C	1D	2D	1E	-	1F	-	-	1G	2G	1H	-	1J	-	1K	2K	1L	-	1M	-
2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	①	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	①	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	④	-	-	-	-	-
5	①	-	⑤	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	④	-	-	-	-	-
6	①	-	⑤	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	-	④	-	-	-	-	-
7	①	-	⑤	-	-	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	-	④	-	-	-	-	-
8	①	-	⑤	-	-	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	-	④	-	⑧	-	-	-
9	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	-	④	-	⑧	-	-	-
10	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	-	-
11	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	⑪	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	-	-
12	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	⑪	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	⑫	-

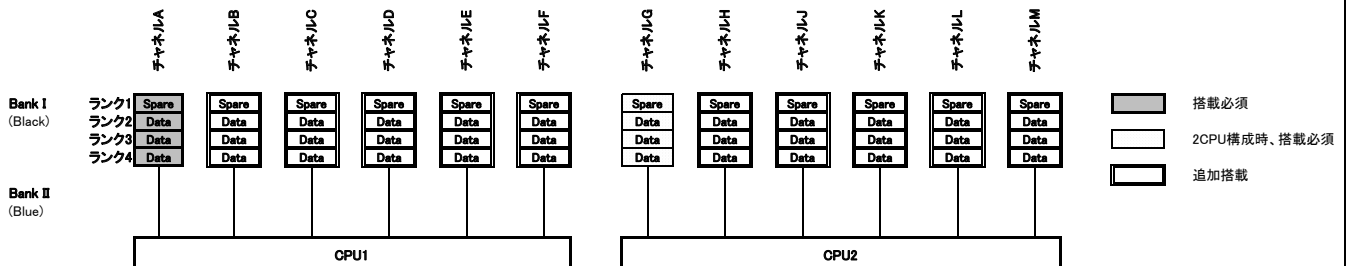
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】

<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>



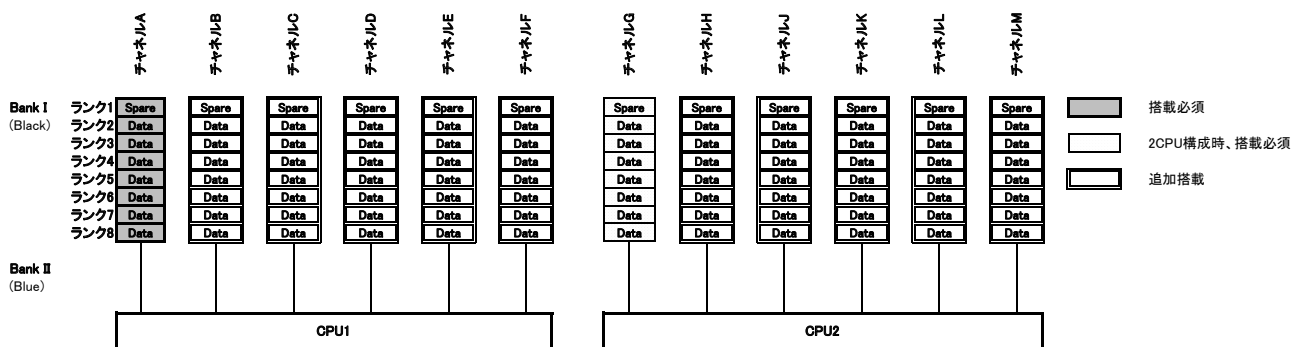
<Quad Rankメモリ (RDIMM)の場合>



システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

<Octa Rankメモリ (RDIMM)の場合>



【パフォーマンスモード】

- メモリの最大性能にて動作します。
- 1DPC構成のみサポートします(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
- 各CPUには、6枚の同一DIMMを搭載する必要があります。
 - 1CPU構成は、同一DIMM 6枚単位
 - 2CPU構成は、同一DIMM 12枚単位
- 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では、SDDC機能は未サポートです。

【DIMMの搭載順】

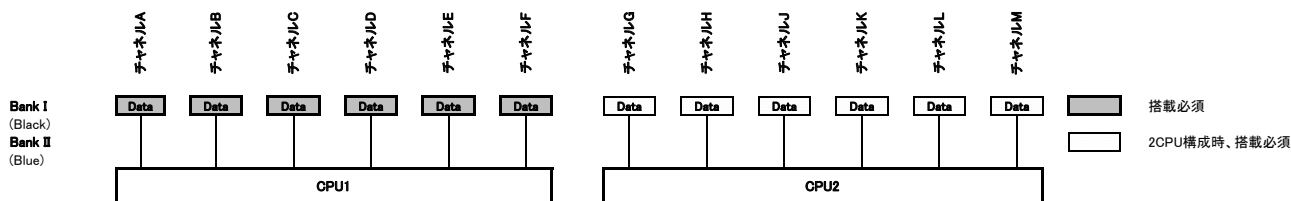
■ 物理CPU1個構成時

CPU	CPU1					
チャンネル	A	B	C	D	E	F
スロット	1A	2A	1B	1C	1D	2D
DIMMs	1	2	3	4	5	6

■ 物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
チャンネル	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
スロット	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	1G	2G	1H	1J
DIMMs	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

【DIMMの搭載位置】



【ミラードチャンネルモード】

- 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- 1DPC構成のみサポートします(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
- 各CPUには最低2枚の同一DIMMを搭載する必要があります。
- ミラーチャンネルモード設定サービスを選択し、カスタマイズにてメモリを搭載する場合、同一型メモリのみ搭載可能です。
- 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では使用できません。

【DIMMの搭載順】

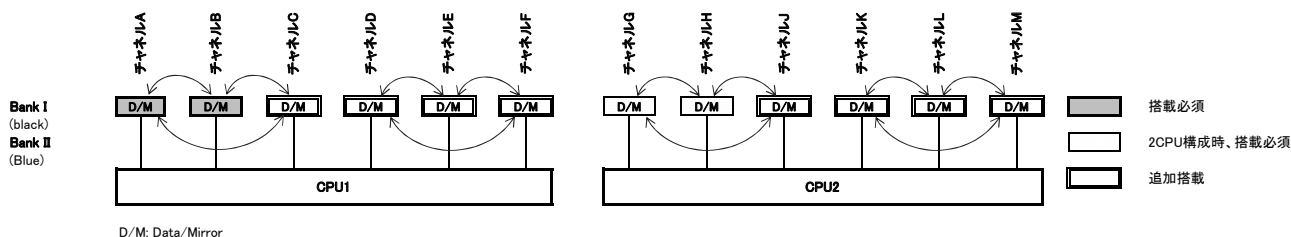
■ 物理CPU1個構成時

CPU	CPU1					
チャンネル	A	B	C	D	E	F
スロット	1A	2A	1B	1C	1D	2D
DIMMs	1	2	3	4	5	6

■ 物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
チャンネル	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
スロット	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	1G	2G	1H	1J
DIMMs	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

【DIMMの搭載位置】



※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■CX2560 M5/CX2550 M5の場合

【インディペンデントチャンネルモード】

Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1))では、SDCC機能は未サポートです。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
チャンネル	A	B	C	D	E	F						
スロット	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	1F	1F	1F	1F
DIMMs	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	1F	1F	1F	1F
1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-
3	①	-	③	-	-	②	-	-	-	-	-	-
4	①	-	③	-	-	②	-	④	-	-	-	-
5	①	-	③	-	⑤	②	-	④	-	-	-	-
6	①	-	③	-	⑤	②	-	④	-	⑥	-	-
7	①	⑦	③	-	⑤	②	-	④	-	⑥	-	-
8	①	⑦	③	-	⑤	②	⑧	④	-	⑥	-	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1												CPU2											
チャンネル	A	B	C	D	E	F							G	H	J	K	L	M						
スロット	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	1F	1F	1F	1F	1G	2G	1H	1J	1K	2K	1L	1M	1M	1M	1M	1M
DIMMs	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	1F	1F	1F	1F	1G	2G	1H	1J	1K	2K	1L	1M	1M	1M	1M	1M
2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	①	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	①	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	④	-	-	-	-	-	-
5	①	-	⑤	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	④	-	-	-	-	-	-
6	①	-	⑤	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	④	-	-	-	-	-	-
7	①	-	⑤	-	-	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	④	-	-	-	-	-	-
8	①	-	⑤	-	-	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	④	-	⑧	-	-	-	-
9	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	④	-	⑧	-	-	-	-
10	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	-	-
11	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	⑪	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	-	-
12	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	⑪	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	⑫	-
13	①	⑬	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	⑪	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	⑫	-
14	①	⑬	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	⑪	-	-	②	⑭	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	⑫	-
15	①	⑬	⑤	-	⑨	-	③	⑮	⑦	-	⑪	-	②	⑭	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	⑫	-
16	①	⑬	⑤	-	⑨	-	③	⑮	⑦	-	⑪	-	②	⑭	⑥	-	⑩	-	④	⑮	⑧	-	⑫	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【ランクスペアリングモード】※CX2560 M5のみ

- 同一メモリチャンネルの中で、1つのランクは他のランクのスペアとして利用できます。
- スペアに設定されたランクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- 1DPC構成のみサポートします(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
- Single Rankメモリは使用できません。
- ランクスペアリング設定サービスを選択し、カスタマイズにてメモリを搭載する場合、同一メモリ型名のみ搭載可能です。
- 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1))では使用できません。
- 使用可能なメモリ容量は、1チャンネルあたり以下になります。

【メモリ使用可能容量】

	RDIMM				LRDIMM	
	8GB	16GB	16GB	32GB	64GB	128GB
	SR	SR	DR	DR	QR	QR
1DPC	-	-	8GB	16GB	48GB	96GB

※DPC: チャンネルあたりのDIMM数

SR: Single Rank

DR: Dual Rank

QR: Quad Rank

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
チャンネル	A	B	C	D	E	F						
スロット	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	1F	1F	1F	1F
DIMMs	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	1F	1F	1F	1F
1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-
3	①	-	③	-	-	②	-	-	-	-	-	-
4	①	-	③	-	-	②	-	④	-	-	-	-
5	①	-	③	-	⑤	②	-	④	-	-	-	-
6	①	-	③	-	⑤	②	-	④	-	⑥	-	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

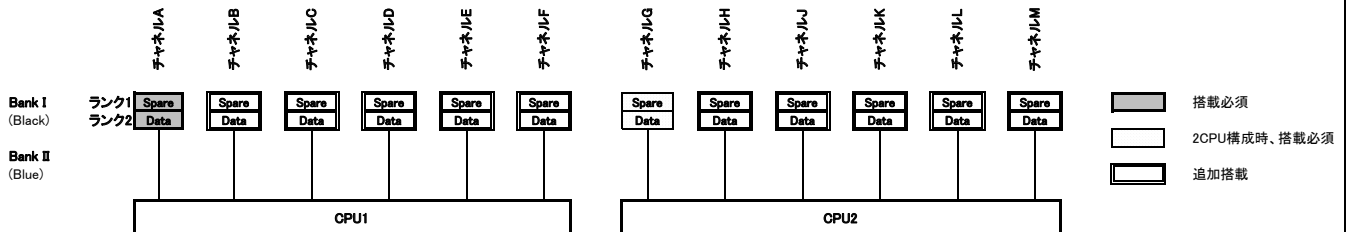
■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1												CPU2											
チャンネル	A	B	C	D	E	F							G	H	J	K	L	M						
スロット	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	1F	1F	1F	1F	1G	2G	1H	1J	1K	2K	1L	1M	1M	1M	1M	1M
DIMMs	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	1F	1F	1F	1F	1G	2G	1H	1J	1K	2K	1L	1M	1M	1M	1M	1M
2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	①	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	①	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	④	-	-	-	-	-	-
5	①	-	⑤	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	④	-	-	-	-	-	-
6	①	-	⑤	-	-	③	-	-	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	④	-	-	-	-	-	-
7	①	-	⑤	-	-	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	④	-	-	-	-	-	-
8	①	-	⑤	-	-	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	④	-	⑧	-	-	-	-
9	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	-	④	-	⑧	-	-	-	-
10	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	-	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	-	-
11	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	⑪	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	-	-
12	①	-	⑤	-	⑨	③	-	⑦	-	⑪	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	-	⑫	-

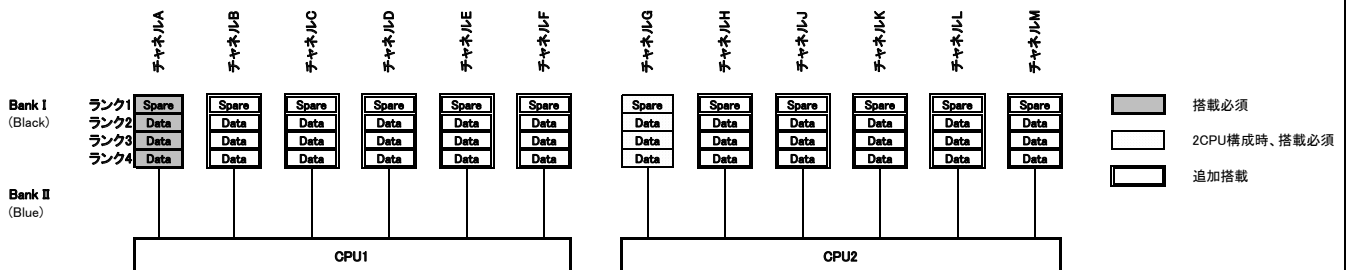
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】

<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
- (2) 1DPC構成のみサポートします(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
- (3) 各CPUには、6枚の同一DIMMを搭載する必要があります。
 - ① 1CPU構成は、同一DIMM 6枚単位
 - ② 2CPU構成は、同一DIMM 12枚単位
- (4) 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- (5) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1))では、SDDC機能は未サポートです。

【DIMMの搭載順】

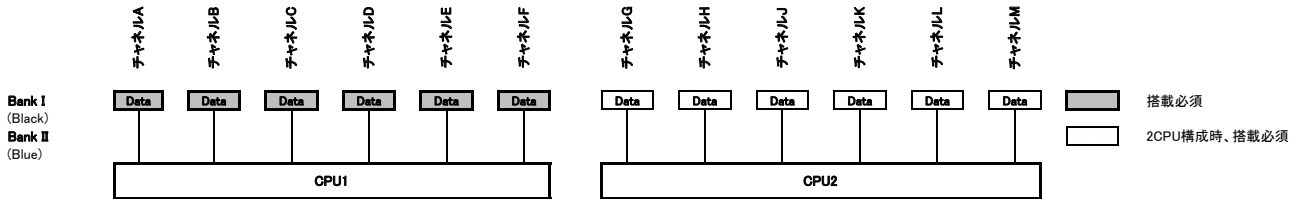
■ 物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
チャンネル	A		B		C		D		E		F	
スロット	1A	2A	1B	-	1C	-	1D	2D	1E	-	1F	-
DIMMs												
6	①	-	③	-	⑤	-	②	-	④	-	⑥	

■ 物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2																
チャンネル	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M											
スロット	1A	2A	1B	-	1C	1D	2D	1E	-	1F	-	1G	2G	1H	-	1J	-	1K	2K	1L	-	1M	-
DIMMs																							
12	①	-	③	-	⑤	-	②	-	④	-	⑥	-	⑦	-	⑨	-	⑪	-	⑧	-	⑩	-	⑫

【DIMMの搭載位置】



【ミラーチャンネルモード】※CX2560 M5のみ

- (1) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (2) 1DPC構成のみサポートします(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
- (3) 各CPUには最低2枚の同一DIMMを搭載する必要があります。
- (4) ミラーチャンネルモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。
- (5) 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- (6) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1))では使用できません。

【DIMMの搭載順】

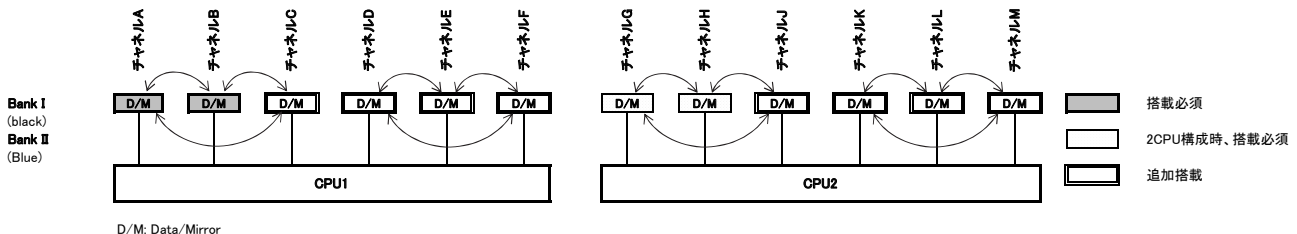
■ 物理CPU1個構成時

物理CPUの配置構成												
CPU			CPU1									
チャネル	A		B		C		D		E		F	
スロット	1A	2A	1B	-	1C	-	1D	2D	1E	-	1F	-
DIMMs												
2	①	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	①	-	②	-	③	-	-	-	-	-	-	-
4	①	-	②	-	-	-	③	-	④	-	-	-
6	①	-	②	-	③	-	-	-	④	-	⑤	-

■ 物理CPU2個構成時

CPU	CPU1								CPU2														
チャンネル	A	B	C	D	E	F		G	H	I	J	K	L	M									
スロット	1A	2A	1B	-	1C	2D	1E	-	1F	-	1G	2G	1H	-	1J	-	1K	2K	1L	-	1M	-	
DIMMs																							
4	①	-	②	-	-	-	-	-	-	-	③	-	④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	①	-	②	-	③	-	-	-	-	-	④	-	⑤	-	⑥	-	-	-	-	-	-	-	
8	①	-	②	-	-	③	-	④	-	-	⑤	-	⑥	-	-	-	⑦	-	⑧	-	-	-	
12	①	-	②	-	③	-	④	-	⑤	-	⑥	-	⑦	-	⑧	-	⑨	-	⑩	-	⑪	-	⑫

【DIMMの搭載位置】



※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

DCPMM関連

・ご使用の際は、以下の何れかのメモリ構成を必ず満たす必要があります。
また、DCPMM以外のメモリとDCPMMの容量比率(Ratio)が1:4～1:16以外の場合は、ADモード(*)のみ使用可能です。
(*) MM(メモリ)モード:通常のメモリと同様に、揮発性のメモリとして使用するモード。
AD(App Direct)モード:不揮発性のメモリとして使用するモード。

■RX2530 M5/RX2540 M5/RX4770 M5の場合

【1CPUの場合】

メモリ Slot番号	CPU1												使用可 能な モード	Ratio (DCPMM以 外:DCPMM)
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F		
構成1	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	MM, AD	1 : 8.0
構成2	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	MM, AD	1 : 4.0
構成3	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	MM, AD	1 : 8.0
構成4	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	MM, AD	1 : 4.0
構成5	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	MM, AD	1 : 8.0
構成6	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	MM, AD	1 : 4.0
構成7	32	128	32	128	32	0	32	128	32	128	32	0	ADのみ	1 : 2.7
構成8	64	128	64	128	64	0	64	128	64	128	64	0	ADのみ	1 : 1.3
構成9	32	256	32	256	32	0	32	256	32	256	32	0	MM, AD	1 : 5.3
構成10	64	256	64	256	64	0	64	256	64	256	64	0	ADのみ	1 : 2.7
構成11	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	ADのみ	1 : 1.3
構成12	64	128	64	0	64	0	64	128	64	0	64	0	ADのみ	1 : 0.7
構成13	32	256	32	0	32	0	32	256	32	0	32	0	ADのみ	1 : 2.7
構成14	64	256	64	0	64	0	64	256	64	0	64	0	ADのみ	1 : 1.3
構成15	32	0	32	0	128	0	32	0	32	0	128	0	ADのみ	1 : 2.0
構成16	64	0	64	0	128	0	64	0	64	0	128	0	ADのみ	1 : 1.0
構成17	32	0	32	0	256	0	32	0	32	0	256	0	MM, AD	1 : 4.0
構成18	64	0	64	0	256	0	64	0	64	0	256	0	ADのみ	1 : 2.0

□ : DCPMM

【2CPUの場合】

メモリ Slot番号	CPU1												CPU2												使用可 能な モード	Ratio (DCPMM以外:DCPMM)		
	A		B		C		D		E		F		G		H		J		K		L		M					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M				
構成1	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	MM, AD	1 : 8.0
構成2	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	MM, AD	1 : 4.0
構成3	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	MM, AD	1 : 8.0
構成4	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	MM, AD	1 : 4.0
構成5	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	MM, AD	1 : 8.0
構成6	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	MM, AD	1 : 4.0
構成7	32	128	32	128	32	0	32	128	32	128	32	0	32	128	32	128	32	0	32	128	32	128	32	0	32	128	ADのみ	1 : 2.7
構成8	64	128	64	128	64	0	64	128	64	128	64	0	64	128	64	128	64	0	64	128	64	128	64	0	64	128	ADのみ	1 : 1.3
構成9	32	256	32	256	32	0	32	256	32	256	32	0	32	256	32	256	32	0	32	256	32	256	32	0	32	256	MM, AD	1 : 5.3
構成10	64	256	64	256	64	0	64	256	64	256	64	0	64	256	64	256	64	0	64	256	64	256	64	0	64	256	ADのみ	1 : 2.7
構成11	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	ADのみ	1 : 1.3
構成12	64	128	64	0	64	0	64	128	64	0	64	0	64	128	64	0	64	0	64	128	64	0	64	0	64	128	ADのみ	1 : 0.7
構成13	32	256	32	0	32	0	32	256	32	0	32	0	32	256	32	0	32	0	32	256	32	0	32	0	32	256	ADのみ	1 : 2.7
構成14	64	256	64	0	64	0	64	256	64	0	64	0	64	256	64	0	64	0	64	256	64	0	64	0	64	256	ADのみ	1 : 1.3
構成15	32	0	32	0	128	0	32	0	32	0	128	0	32	0	32	0	128	0	32	0	32	0	128	0	32	0	ADのみ	1 : 2.0
構成16	64	0	64	0	128	0	64	0	64	0	128	0	64	0	64	0	128	0	64	0	64	0	128	0	64	0	ADのみ	1 : 1.0
構成17	32	0	32	0	256	0	32	0	32	0	256	0	32	0	32	0	256	0	32	0	32	0	256	0	32	0	MM, AD	1 : 4.0
構成18	64	0	64	0	256	0	64	0	64	0	256	0	64	0	64	0	256	0	64	0	64	0	256	0	64	0	ADのみ	1 : 2.0

□ : DCPMM

【4CPUの場合】

メモリ Slot番号	CPU1												CPU2												CPU3												CPU4												使用可能な モード	Ratio (DCPMM以外:DCPMM)				
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U	V	W	X			Y	Z		
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M	1N	2N	1P	2P	1Q	2Q	1R	2R	1S	2S	1T	2T	1U	2U	1V	2V	1W	2W	1X	2X	1Y	2Y	1Z	2Z						
構成1	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	MM, AD	1 : 8.0				
構成2	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	MM, AD	1 : 4.0				
構成3	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	MM, AD	1 : 8.0				
構成4	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	MM, AD	1 : 4.0				
構成5	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	MM, AD	1 : 8.0				
構成6	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	MM, AD	1 : 4.0		
構成7	32	128	32	128	32	0	32	128	32	128	32	0	32	128	32	128	32	0	32	128	32	128	32	0	32	128	32	128	32	0	32	128	32	128	32	0	32	128	32	128	32	0	32	128	32	128	32	0	ADのみ	1 : 2.7				
構成8	64	128	64	128	64	0	64	128	64	128	64	0	64	128	64	128	64	0	64	128	64	128	64	0	64	128	64	128	64	0	64	128	64	128	64	0	64	128	64	128	64	0	64	128	64	128	64	0	ADのみ	1 : 1.3				
構成9	32	256	32	256	32	0	32	256	32	256	32	0	32	256	32	256	32	0	32	256	32	256	32	0	32	256	32	256	32	0	32	256	32	256	32	0	32	256	32	256	32	0	32	256	32	256	32	0	MM, AD	1 : 5.3				
構成10	64	256	64	256	64	0	64	256	64	256	64	0	64	256	64	256	64	0	64	256	64	256	64	0	64	256	64	256	64	0	64	256	64	256	64	0	64	256	64	256	64	0	64	256	64	256	64	0	ADのみ	1 : 2.7				
構成11	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	ADのみ	1 : 1.3
構成12	64	128	64	0	64	0	64	128	64	0	64	0	64	128	64	0	64	0	64	128	64	0	64	0	64	128	64	0	64	0	64	128	64	0	64	0	64	128	64	0	64	0	64	128	64	0	64	0	64	128	64	0	ADのみ	1 : 1.3
構成13	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	ADのみ	1 : 2.7
構成14	64	256	64	0	64	0	64	256	64	0	64	0	64	256	64	0	64	0	64	256	64	0	64	0	64	256	64	0	64	0	64	256	64	0	64	0	64	256	64	0	64	0	64	256	64	0	64	0	64	256	64	0	ADのみ	1 : 1.3
構成15	32	0	32	128	32	0	32	0	128	32	0	32	0	128	32	0	32	0	128	32	0	32	0	128	32	0	32	0	128	32	0	32	0	128	32	0	32	0	128	32	0	32	0	128	32	0	32	0	128	32	0	ADのみ	1 : 2.0	
構成16	64	0	64	128	64	0	64	0	128	64	0	64	0	128	64	0	64	0	128	64	0	64	0	128	64	0	64	0	128	64	0	64	0	128	64	0	64	0	128	64	0	64	0	128	64	0	64	0	128	64	0	ADのみ	1 : 1.0	
構成17	32	0	32	0	256	32	0	32	0	256	32	0	32	0	256	32	0	32	0	256	32	0	32	0	256	32	0	32	0	256	32	0	32	0	256	32	0	32	0	256	32	0	32	0	256	32	0	32	0	256	32	0	MM, AD	1 : 4.0
構成18	64	0	64	0	256	64	0	64	0	256	64	0	64	0	256	64	0	64	0	256	64	0	64	0	256	64	0	64	0	256	64	0	64	0	256	64	0	64	0	256	64	0	64	0	256	64	0	64	0	256	64	0	ADのみ	1 : 2.0

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【2CPUの場合】

メモリ Slot番号	CPU1												CPU2												使用可能な モード	Ratio (DCPMM以外: DCPMM)
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X		
構成1	16	128	16	16	16	128	16	16	16	128	16	16	16	128	16	16	16	128	16	16	16	16	16	16	ADのみ	1 : 2.7
構成2	32	128	32	32	32	128	32	32	32	128	32	32	32	128	32	32	32	128	32	32	32	32	32	32	ADのみ	1 : 1.3
構成3	64	128	64	64	64	128	64	64	64	128	64	64	64	128	64	64	64	128	64	64	64	64	64	64	ADのみ	1 : 0.7
構成4	16	256	16	16	16	256	16	16	16	256	16	16	16	256	16	16	16	256	16	16	16	16	16	16	MM, AD, AD/MM混在	1 : 5.3
構成5	32	256	32	32	32	256	32	32	32	256	32	32	32	256	32	32	32	256	32	32	32	32	32	32	ADのみ	1 : 2.7
構成6	64	256	64	64	64	256	64	64	64	256	64	64	64	256	64	64	64	256	64	64	64	64	64	64	ADのみ	1 : 1.3
構成7	16	512	16	16	16	512	16	16	16	512	16	16	16	512	16	16	16	512	16	16	16	16	16	16	MM, AD, AD/MM混在	1 : 10.7
構成8	32	512	32	32	32	512	32	32	32	512	32	32	32	512	32	32	32	512	32	32	32	32	32	32	MM, AD, AD/MM混在	1 : 5.3
構成9	64	512	64	64	64	512	64	64	64	512	64	64	64	512	64	64	64	512	64	64	64	64	64	64	ADのみ	1 : 2.7
構成10	128	512	128	128	128	512	128	128	128	512	128	128	128	512	128	128	128	512	128	128	128	128	128	128	ADのみ	1 : 1.3
構成11	16	16	16	128	16	16	128	16	16	128	16	16	16	128	16	16	16	128	16	16	16	16	16	16	MM, AD	1 : 4.0
構成12	32	32	32	128	32	32	128	32	32	128	32	32	32	128	32	32	32	128	32	32	32	32	32	32	ADのみ	1 : 2.0
構成13	64	64	64	128	64	64	128	64	64	128	64	64	64	128	64	64	64	128	64	64	64	64	64	64	ADのみ	1 : 1.0
構成14	16	16	16	256	16	16	256	16	16	256	16	16	16	256	16	16	16	256	16	16	16	16	16	16	MM, AD, AD/MM混在	1 : 8.0
構成15	32	32	32	256	32	32	256	32	32	256	32	32	32	256	32	32	32	256	32	32	32	32	32	32	MM, AD	1 : 4.0
構成16	64	64	64	256	64	64	256	64	64	256	64	64	64	256	64	64	64	256	64	64	64	64	64	64	ADのみ	1 : 2.0
構成17	16	16	16	512	16	16	512	16	16	512	16	16	16	512	16	16	16	512	16	16	16	16	16	16	MM, AD, AD/MM混在	1 : 16.0
構成18	32	32	32	512	32	32	512	32	32	512	32	32	32	512	32	32	32	512	32	32	32	32	32	32	MM, AD, AD/MM混在	1 : 8.0
構成19	64	64	64	512	64	64	512	64	64	512	64	64	64	512	64	64	64	512	64	64	64	64	64	64	MM, AD	1 : 4.0
構成20	16	128	16	16	16	16	16	16	16	128	16	16	16	16	16	16	16	128	16	16	16	16	16	16	ADのみ	1 : 2.7
構成21	32	128	32	32	32	32	32	32	32	128	32	32	32	32	32	32	32	128	32	32	32	32	32	32	ADのみ	1 : 1.3
構成22	64	128	64	64	64	64	64	64	64	128	64	64	64	64	64	64	64	128	64	64	64	64	64	64	ADのみ	1 : 0.7
構成23	16	256	16	16	16	16	16	16	16	256	16	16	16	16	16	16	16	256	16	16	16	16	16	16	ADのみ	1 : 5.3
構成24	32	256	32	32	32	32	32	32	32	256	32	32	32	32	32	32	32	256	32	32	32	32	32	32	ADのみ	1 : 2.7
構成25	64	256	64	64	64	64	64	64	64	256	64	64	64	64	64	64	64	256	64	64	64	64	64	64	ADのみ	1 : 1.3
構成26	64	512	64	64	64	64	64	64	64	512	64	64	64	64	64	64	64	512	64	64	64	64	64	64	ADのみ	1 : 2.7

□:DCPMM

・DCPMMを使用する場合は、以下のCPUを選択する必要があります。(CXを除く)

使用するDCPMMの 容量	CPUモデル名
128GB	Xeon Platinum 82xx/82xxM/82xxL/82xxY Xeon Gold 62xx/62xxY Xeon Gold 52xx/52xxM
256GB	Xeon Platinum 82xxM Xeon Gold 52xxM
512GB	Xeon Platinum 82xxL

・対象のOSと、使用できるDCPMMのモードは以下の通りです。

OS	DCPMMのメモリモード		
	MMモード100%	MM/ADモード混在	ADモード100%
Windows2019	○	×	×
SLES12 SP4	×	×	○

○:使用可能、×:使用不可

- ・DCPMMの工場出荷時設定は、MMモードです。ADモードを使用する場合は、使用前にBIOSメニューでADモードへの設定変更を行う必要があります。
- ・ADモードを設定後に、更にDCPMMを増設する場合は、ADモードの再設定が必要となり、DCPMMに保存されたユーザーデータは消去されます。必要に応じて、データのバックアップを実施してください。
- ・DCPMMを使用する場合は、本体のメモリモードを“インデペンデントモード”(デフォルト)に設定してご使用ください。
- ・UEFIモードのみサポートしています。
- ・OSブート領域として、使用はできません。
- ・本製品は有寿命部品のため、寿命時には製品の再購入が必要です。詳細は、「有寿命部品関連」を参照してください。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

バックアップ装置関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

■ OS標準バックアップユーティリティ対応表

バックアップ装置 装置型名 規格			適用OS	Windows系												Linux系					
				WS08S /E-32 WS08S /E-D-64	WS08W	WS08RS /E/D	WS08RF	WS08RW	WS08RH	SBS11E	WS12S /D	WS12F	WS12RS /D/F/E WSS12RS	WS16S /D/E WSS16S	RHEL5(x86) RHEL5(ite64)	RHEL6(x86) RHEL6(ite64)	RHEL7(ite64)	SLES 11 (x86_64)	SLES 12 (x86_64)	SLES 15 (x86_64)	
				WindowsServer Backup												Linux Command (*1)					
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲	▲	▲	▲	△	○	○	○	○	○	
	PY-RD112 PYBRD112		▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲	▲	▲	▲	△	○	○	○	○	○	○	
LTO 装置	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
	PY-LT711 PYBLT711	LTO Ultrium7	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	

- : 対応
×: 未対応
●: 対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)
△: サーバのオンボードUSB2.0ポートとの組み合わせはサポート。ただし、増設用USB3.0ポートとの組み合わせは未サポート
▲: 内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)の設定が、「Fixed Disk」モードの場合のみサポート
ー: OS組合せなし

(*1) 最新対応状況につきましては、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)をご参照ください。
(*2) 増設用USB3.0ポートを使用した接続の場合、Windows Server Backup の「ベア メタル回復」機能は未サポート。

留意事項

- ・内蔵バックアップ装置(RDX装置を除く)をWindows OSでご使用になる場合は、別途バックアップソフトウェアが必要です。
- ・内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)を Windows Server Backup でご使用になる場合は、「RDX Utility for Windows」のインストールが必要です。「RDX Utility for Windows」は、当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>)から入手可能です。
- ・内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)をWindows Server Backupでご使用になる場合、本装置の設定は必ず「Fixed Disk」モードでご使用ください。「Fixed Disk」モードは、内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)をWindows Server Backupで使用可能にするための専用モードです。
- ・内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)をバックアップソフトウェアでご使用になる場合は、「RDX Utility for Windows」をインストールしないでください。
- ・Linuxコマンドをご使用になる場合は、tar、cpio、ddをご使用ください。
- ・OS標準のバックアップユーティリティを使用した場合、バックアップ装置の性能を十分に引き出せないことがあります。

■ Arcserve対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とArcserveの対応について記します。
なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とArcserveの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。
当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/software/arcserve/>)

バックアップ装置 装置型名 規格			適用OS	WS08S/E-32 WS08S/E-D-64		WS08RS/E/D		WS08RF		WS08RW		WS12S/D/F		WS12RS/D/F/E WSS12RS		WS16S/D/E WSS16S	
			Arcserve 版数	Arcserve Backup r17 / Arcserve UDP v6		Arcserve Backup r17 / Arcserve UDP v6.5		Arcserve Backup r17 / Arcserve UDP v6.5		Arcserve Backup r17.5 / Arcserve UDP v6.5		Arcserve Backup r17 / Arcserve UDP v6		Arcserve Backup r17.5 / Arcserve UDP v6.5		Arcserve Backup r17 / Arcserve UDP v6	
			規格	Arcserve Backup r17 / Arcserve UDP v6		Arcserve Backup r17.5 / Arcserve UDP v6.5		Arcserve Backup r17 / Arcserve UDP v6		Arcserve Backup r17.5 / Arcserve UDP v6.5		Arcserve Backup r17 / Arcserve UDP v6		Arcserve Backup r17.5 / Arcserve UDP v6.5		Arcserve Backup r17 / Arcserve UDP v6	
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	PY-RD112 PYBRD112			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
LTO 装置	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6		○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○
	PY-LT711 PYBLT711	LTO Ultrium7		×	×	×	×	×	×	×	×	○ (*1)	○	○ (*1)	○	×	○

- : 対応
×: 未対応
●: 対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)
ー: OS組合せなし
- (*1) Arcserve社提供のモジュール(P00000379 および P00000619)の適用が必須。
(Arcserve社のサイト: <https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/209716333>)

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの対応について記します。
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。
 当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/netvault/>)

適用OS バックアップ装置 装置型名 規格			WS08S/E-32			WS08S/E/D-64			WS08RS/E/D			WS08RF			WS12S/D/F			WS12RS/D/F/E WSS12RS			WS16S/D		
			NetVault Backup 版数	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-RD112 PYBRD112			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
LTO 装置	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-LT711 PYBLT711			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

○：対応
 ×：未対応
 —：OS組合せなし

(※1) NetVault Backup 11のパッチモジュール NetVault Backup 11.4の適用が必要です。

■ Backup Exec対応表

PRIMERGYシリーズに接続されているバックアップ装置とBackup Execの対応について記します。
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とBackup Execの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。
 当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/veritas/products/bews/technical/>)

適用OS Backup Exec 版数 規格 装置型名			WS08S/E-32		WS08S/E/D-64				WS08RS/E/D				WS08RF				WS12S/D/F/E				WS12RS/D/F/E WSS12RS				WS16S/D WSS16S		
			Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 15	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 15	Backup Exec 16	Backup Exec 20	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 15	Backup Exec 16	Backup Exec 20	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 15	Backup Exec 16	Backup Exec 20	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 15	Backup Exec 16	Backup Exec 20	Backup Exec 16	Backup Exec 20
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0 (※1)	◎ (※2) (※3)	◎ (※2)	×	◎ (※2) (※3)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	×	×	×	×	×	×	◎ (※2) (※4) (※5)	◎ (※2)	◎	◎	◎	◎	
	PY-RD112 PYBRD112		◎ (※2) (※3)	◎ (※2)	×	◎ (※2) (※3)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	◎ (※2) (※4)	×	×	×	×	×	◎ (※2) (※4) (※5)	◎ (※2)	◎	◎	◎	◎	
LTO 装置	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	×	○ (※3)	○ (※4)	○ (※4)	○ (※4)	○ (※3)	○ (※4)	○ (※4)	○ (※4)	○ (※4)	×	×	×	×	×	×	○ (※4) (※5)	○ (※6)	○ (※6)	○ (※6)	○ (※6)	○ (※6)	○ (※6)
	PY-LT711 PYBLT711	LTO Ultrium7	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (※6) (※7)	○ (※6) (※7)	○ (※6)	○ (※6)	○ (※6)	○ (※6)	○ (※6)

○：対応
 ×：未対応
 ◎：対応(ただし、当社提供のUSBドライバの適用必須)
 —：OS組合せなし

(※1) 媒体(Data Cartridge RDX)をまたがるシステムバックアップは未サポート。
 (※2) SDRIによるリストアは未サポート。
 (※3) Backup Exec 2012 SP2以降でサポート。
 (※4) Datacenter は未サポート。
 (※5) Backup Exec 2014 SP1以降でサポート。
 (※6) Datacenter の場合、SDRIによるリストアは未サポート。
 (※7) Feature Pack 1以降の適用必須。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Linux対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの対応について記します。
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。
 当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/netvault/>)

バックアップ装置 適用OS NetVault Backup 版数 装置型名 規格			RHEL5 (x86)/(Intel64)					RHEL6 (x86)/(Intel64)					RHEL7(Intel64)					SLES 11 (x86_64)					SLES 12 (x86_64)					SLES 15 (x86_64)				
			NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0
			NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (*1)	×	×	×	×	×
	PY-RD112 PYBRD112		△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (*1)	×	×	×	×	×
LTO 装置	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (*1)	×	×	×	×	×
	PY-LT711 PYBLT711	LTO Ultrium7	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (*1)	×	×	×	×	×

○：対応

×

△：サーバのオンボードUSB2.0ポートとの組み合わせはサポート。ただし、増設用USB3.0ポートとの組み合わせは未サポート

ー：OS組合せなし

(*1) SLES 12 SP2、SP3でサポート。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

iRMC(リモートマネジメントコントローラ)関連

- 標準搭載のiRMC(リモートマネジメントコントローラ)やオプションのSASコントローラカード/SASアレイコントローラカードを搭載することにより、使用OSに依存せず、「Agentレス」「管理LAN(業務LAN非使用)」にて、ストレージ/RAIDの状態監視が可能です。専用のソフトウェア(ServerView Agents等)を導入する必要が無いため、CPUやメモリリソースを消費せず、業務アプリケーションへのリソース配置の最適化が可能となります。
- 本機能を使用可能な機種/オプション構成は下表の通りです。
機種により選択可能なストレージコントローラ型名は異なりますので、システム構成図等でご確認ください。

機種	搭載するストレージコントローラ			JX40 S2/JX60 S2接続
	オンボード	SASコントローラカード	SASアレイコントローラカード	SASアレイコントローラカード
	・SATAコントローラ	・PY-SC3FA/PYBSC3FA/ PYBSC3FAM (*1) ・PY-SC3FAV/PYBSC3FAV ・PY-SC3FA3V/PYBSC3FA3V	・PY-SR3FA/PYBSR3FA ・PY-SR3C41H/PYBSR3C41H ・PY-SR3C42H/PYBSR3C42H ・PY-SR3C43H/PYBSR3C43H ・PY-SR3C52/PYBSR3C52/PYBSR3C52L ・PY-SR3C54/PYBSR3C54/PYBSR3C54L ・PY-SR3C55/PYBSR3C55L ・PY-SR3C58/PYBSR3C58/PYBSR3C58L	・PY-SR3PE/PYBSR3PE/PYBSR3PEL ・PY-SR3PE2/PYBSR3PE2/PYBSR3PE2L ・PY-SR3C5E/PYBSR3C5E/PYBSR3C5EL
RX1330 M4	○	○	◎	-
RX2520 M4	○	○	◎	◎
RX2530 M4	○	○	◎	◎
RX2530 M5	○	○	◎	◎
RX2540 M4	○	○	◎	◎
RX2540 M5	3.5インチ	○	◎	◎
	2.5インチ	-	◎	◎
RX4770 M4	-	○	◎	◎
RX4770 M5	-	○	◎	◎
TX1320 M4	○	○	◎	-
TX1330 M4	○	○	◎	-
TX2550 M4	○	○	◎	◎
CX2560 M4	○	○	◎	◎
CX2560 M5	○	○	◎	◎
CX2550 M4	○	○	◎	◎
CX2550 M5	○	○	◎	◎
CX2570 M4	○	○	◎	◎

◎: ストレージ/RAID監視可能、○: ストレージ監視可能、×: 不可、-: 対象構成無し(非サポート構成)

(*1) デュアルM.2 アダプタカード[PY-DMAP01/PYBDMAP01/PYBDMAP01L]を接続した場合は監視不可となります。

- 詳細な監視対象/設定方法等につきましては、下記当社ホームページに掲載の「マニュアル」をご確認ください。

■ 当社ホームページ:

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/> →

「ServerView Suiteのマニュアル」→「MANUALS」→「x86 Servers」→「Software」→「ServerView Suite」→「Out-Of-Band Management」

セキュリティチップ(TPM)およびインテルトラステッド・エグゼキューション・テクノロジー(インテル® TXT)のサポートについて

RX2520 M4/RX2530 M4/RX2530 M5/RX2540 M4/RX2540 M5/RX4770 M4/RX4770 M5/TX1310 M3/TX2550 M4/CX2560 M4/CX2550 M4/CX2570 M4において、以下の通りOS、TPM、BIOSの種類によりTPMおよびインテル® TXTのサポートが異なりますので、ご注意願います。

インテル® TXTはサポートしていません。

OS	インテルTXT: 設定なし TPM 1.2を使用 BIOS: レガシーまたはUEFIモード		インテルTXT: 設定なし TPM 2.0を使用 BIOS: UEFIモードのみ		インテルTXT: 設定あり TPM 1.2を使用 BIOS: レガシーモードのみ		インテルTXT: 設定あり TPM 2.0を使用 BIOS: UEFIモードのみ	
	PY-TPM03 PYBTPM03	PYBTPM10	PY-TPM05 PYBTPM05	PY-TPM09 (*3) PYBTPM09	PY-TPM03 PYBTPM03	PYBTPM10	PY-TPM05 PYBTPM05	PY-TPM09 PYBTPM09
Windows Server 2019	×	×	×	○	×	×	×	×
Windows Server 2016	○	○	○	○	×	×	×	×
Windows Server 2012 R2	○	○	○	○ (*2)	×	×	×	×
Windows Server 2012	○	-	○	-	×	-	×	-
Red Hat Enterprise Linux 7.6	×	×	×	×	×	×	×	×
Red Hat Enterprise Linux 7.5	×	○	×	×	×	×	×	×
Red Hat Enterprise Linux 7.4	×	○	×	×	×	×	×	×
Red Hat Enterprise Linux 7.3	×	○	×	×	×	×	×	×
Red Hat Enterprise Linux 6.10	×	○	×	×	×	×	×	×
Red Hat Enterprise Linux 6.9	×	○	×	×	×	×	×	×
SUSE Linux Enterprise Server 15	×	×	×	×	×	×	×	×
SUSE Linux Enterprise Server 12	○ (*1)	○ (*1)	×	×	×	×	×	×
SUSE Linux Enterprise Server 11	×	×	×	×	×	×	×	×
VMware ESXi 6.7	×	×	×	○	×	×	×	×
VMware ESXi 6.5 以前	×	×	×	×	×	×	×	×

○: サポート ×: 非サポート -: 対象構成無し

(*1) SP2以降でサポート。

(*2) RX4770 M4除く。

(*3) PY-TPM09を手配した場合はTPM2.0で出荷されますので、TPM1.2で使用する場合はダウンロードサイトより対応ファームウェアを入手して適用してください。

故障などにより交換された場合においても同様にお客様にて対応ファームウェアを適用してください。

Windows Serverでは、TPM2.0でご使用ください。

※ BIOSファームウェアをアップデートする際は、BIOS設定画面にてインテル® TXTの設定を無効にする必要があります。

※ 制限留意事項については当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/>)のサーバ本体の個別マニュアル「ご使用上の留意・注意事項」も併せてご確認ください。

※ セキュリティチップ(TPM)の証明書が必要な場合は、TPMの提供元(Infinion社)より入手していただく必要があります。

詳細については、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/pg-option/>)をご参照ください。

Windows関連事項

Windows Server OSの使用権について

- Windows Server OSについては、ダウングレード/ダウンエディション権があります。
Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 における適用可能な組合せの考え方は下表の通りです。
ダウングレード例: Windows Server® 2019 > Windows Server® 2016 > Windows Server® 2012 R2 > Windows Server® 2012 > Windows Server® 2008 R2
> Windows Server® 2008
ダウンエディション例: Datacenter > Enterprise > Standard > Essentials > Foundation

		ダウングレード/ダウンエディション可能な組合せ																		
		WS19S	WS19D	WS19E	WS16S	WS16D	WS16E	WS12RS	WS12RD	WS12RF	WS12RE	WS12S	WS12D	WS12E	WS08RS	WS08RE	WS08RD	WS08S -32/64	WS08E -32/64	WS08D -64
保有 ライ セン ス	WS19S	-	x	○	○	x	○	○	x	○(*1)	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x
	WS19D	○	-	○	○	○	○	○	○	○(*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS19E	x	x	-	x	x	○	x	x	○(*1)	○	x	x	○	x	x	x	x	x	x
	WS16S	x	x	x	-	x	○	○	x	○(*1)	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x
	WS16D	x	x	x	○	-	○	○	○	○(*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS16E	x	x	x	x	x	-	x	x	○(*1)	○	x	x	○	x	x	x	x	x	x
	WS12RS	x	x	x	x	x	x	-	x	x	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x
	WS12RD	x	x	x	x	x	x	○	-	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS12S	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	-	x	○	○	○	x	○	○	x
	WS12D	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	-	○	○	○	○	○	○	○
	WS08RS	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	-	x	x	○	x	x
	WS08RE	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	-	x	○	○	x
	WS08RD	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	-	○	○	○
	WS08S-32/64	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	-	x	x
	WS08E-32/64	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	-	x
	WS08D-64	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	-

○: 可能、x: 不可、-: 対象外

(*1) OEMの場合のみ、Foundationの利用が可能

- ダウングレード/ダウンエディション権を行使する場合、お客様がダウングレードして使用するバージョンのメディアとプロダクトキーを所有している必要があります。

OSをサーバ本体と同時契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプションの提供方法について

- 選択するOSオプション型名に応じて、インストール/バンドル(OS媒体添付)を選択可能です。
- Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 は、64bit版のみの提供となります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Windows Server® 2016へのダウングレードサービスについて

- ・本サービスは、Windows Server® 2019に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2016をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、富士通が代行するサービスです。
- ・Windows Server® 2016へのダウングレードサービス付き製品の提供形態は下記の通りです。
 - (1)本製品には、Windows Server® 2019のOS媒体に加え、Windows Server® 2016のOS媒体も同梱されます。さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2016のインストール作業を代行します。
 - (2)製品貼り付けのCOAシール(プロダクトキーが記載されているシール)は、Windows Server® 2019用となります。Windows Server® 2016ではご使用できません。CAL(クライアントアクセスライセンス)は製品に添付されていませんので、使用する環境に応じて、Device CAL/User CALを別途手配する必要があります。
 - (3)本製品にはWindows Server® 2019のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2016から切り替えての使用が可能です。ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2019の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

Windows Server® 2012 R2へのダウングレードサービスについて

- ・本サービスは、Windows Server® 2019または2016(以下、2019 / 2016)に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2012 R2をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、富士通が代行するサービスです。
- ・Windows Server® 2012 R2へのダウングレードサービス付き製品の提供形態は下記の通りです。
 - (1)本製品には、Windows Server® 2019 / 2016のOS媒体に加え、Windows Server® 2012 R2のOS媒体も同梱されます。さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2012 R2のインストール作業を代行します。
 - (2)製品貼り付けのCOAシール(プロダクトキーが記載されているシール)は、Windows Server® 2019 / 2016用となります。Windows Server® 2012 R2ではご使用できません。CAL(クライアントアクセスライセンス)は製品に添付されていませんので、使用する環境に応じて、Device CAL/User CALを別途手配する必要があります。
 - (3)本製品にはWindows Server® 2019 / 2016のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2012 R2から切り替えての使用が可能です。ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2019 / 2016の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

Windows Server® 2012へのダウングレードサービスについて

- ・本サービスは、Windows Server® 2016に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2012をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、富士通が代行するサービスです。
- ・Windows Server® 2012へのダウングレードサービス付き製品の提供形態は下記の通りです。
 - (1)本製品には、Windows Server® 2016のOS媒体に加え、Windows Server® 2012のOS媒体も同梱されます。さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2012のインストール作業を代行します。
 - (2)製品貼り付けのCOAシール(プロダクトキーが記載されているシール)は、Windows Server® 2016用となります。Windows Server® 2012ではご使用できません。CAL(クライアントアクセスライセンス)は製品に添付されていませんので、使用する環境に応じて、Device CAL/User CALを別途手配する必要があります。
 - (3)本製品にはWindows Server® 2016のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2012から切り替えての使用が可能です。ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2016の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

Windows Server® 2008 R2へのダウングレードサービスについて

- ・本サービスは、Windows Server® 2012 R2に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2008 R2をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、富士通が代行するサービスです。
- ・Windows Server® 2008 R2へのダウングレードサービス付き製品の提供形態は下記の通りです。
 - (1)本製品には、Windows Server® 2012 R2のOS媒体に加え、Windows Server® 2008 R2のOS媒体も同梱されます。さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2008 R2のインストール作業を代行します。
 - (2)製品貼り付けのCOAシール(プロダクトキーが記載されているシール)は、Windows Server® 2012 R2用となります。Windows Server® 2008 R2ではご使用できません。CAL(クライアントアクセスライセンス)は製品に添付されていませんので、使用する環境に応じて、Device CAL/User CALを別途手配する必要があります。
 - (3)本製品にはWindows Server® 2012 R2のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2008 R2から切り替えての使用が可能です。ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2012 R2の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Windows Server OSメディアキットについて

- Windows Server OSメディアキットは、Windows OSをダウングレード/ダウンエディションして使用する場合に必要となる「インストールメディア/プロダクトキー」です。「メディアキット」にはライセンスは含まれておりませんので、Windows Server OS ライセンスが含まれているWindows Server OS インストール/バンドルオプションと同時にご購入/されるお客様へのみ提供可能となります。「メディアキット」のみでの手配はできません。
手配上の、組み合わせ詳細については、「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて」をご参照ください。

Windows OSサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したWindowsサポートサービス「SupportDesk」です。専門技術者によるWindows OSサポート(電話によるQ&A対応/問題解決支援など)、Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)を行います。提供ラインナップ詳細は下表の通りです。

	SupportDesk Standard (Windows Server Standard)	SupportDesk Standard (Windows Server Standard 仮想化対応)	SupportDesk Standard (Windows Server Datacenter 仮想化対応)
サービス期間	3年/4年/5年	3年/4年/5年	3年/4年/5年
サービス時間帯	平日/24時間365日	平日/24時間365日	平日/24時間365日
サポート対象範囲	ホストOS	ホストOS/ゲストOS	ホストOS/ゲストOS
ホスト対象OS(*1)	・Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard ・Windows® Storage Server 2016 / 2012 R2 Standard ・Windows Server® 2012 R2 / 2012 Foundation ・Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 Essentials ・Windows Server® 2008 R2 / 2008 Enterprise (*3)	・Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard ・Windows® Storage Server 2016 / 2012 R2 Standard ・Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 Essentials ・Windows Server® 2008 R2 / 2008 Enterprise (*3)	・Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard ・Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Datacenter ・Windows Server® 2008 R2 / 2008 Enterprise
ゲスト対象OS	-	※ホストOS/ゲストOSの組み合わせは、富士通でサポート可能な組み合わせに限る。(*2)	※ホストOS/ゲストOSの組み合わせは、富士通でサポート可能な組み合わせに限る。(*2)
サービス内容	・専門技術者によるOSサポート(電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)		

(*1) サポート可能なOSは使用するサーバのサポートOSに準じます。
(*2) 詳細については、「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。
(*3) Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 Standardからのダウングレード利用時のみ対象です。

マイクロソフト社製ソフトウェア製品使用時の留意事項について

- サービスプロバイダ様がマイクロソフト社製ソフトウェア製品を利用したサービス(例: ASP/SaaS、アウトソーシング、ホスティング等)を第三者(エンドユーザー様)に提供する場合、「サービスプロバイダライセンス(SPLA)」というライセンス体系が適用されます。そのため、サーバ本体と同時契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品をご利用になる場合には、上記のサービスを第三者(エンドユーザー様)に提供することはできませんので、ご注意ください。ただし、ハウジングサービス(サービス利用者様がライセンスを資産として所有)において、ご利用になるサーバがサービス利用者様のみの使用である場合に限り、サーバ本体と同時契約し、サーバ本体にインストールまたはバンドルしてお届けするライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品のライセンス体系を適用することが可能です。
- OSインストールには、ODDドライブが必要となります。内蔵ODDを搭載しない場合は、複数台システムに最低1台、スーパーマルチドライブユニットを手配する必要があります。
- Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 をインストールするためには、33GB以上の論理ボリュームが必要となります。
- PRIMERGYでパッケージ製品の「Windows Server® 2012 R2」をお使いになる場合には、KB2883200のHotfixを適用いただく必要があります。Hotfixの適用方法については、以下マイクロソフト社ホームページからご確認ください。
マイクロソフト社 ホームページ(<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/2883200/windows-8-1-and-windows-server-2012-r2-general-availability-update-rol>)
- Windows Server® 2016 / 2012 R2 Standard, Datacenter, Essentials または Windows Server® 2012 Essentialsに含まれるWindows Server Essentials のバックアップ機能を使用する場合は、2台以上の内蔵ストレージ(もしくはロジカルドライブ)が必要となります。
- その他留意事項に関する最新情報は、当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>)をご確認ください。

Windows Serverの最新情報について

- マイクロソフト社はイベントMicrosoft Igniteにおいて、「Microsoft® Windows Server® 2019」を発表しました。富士通における対応状況については当社ホームページ「Microsoft® Windows Server® 2019の動作確認情報」(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/2019/>)をご参照ください。
- マイクロソフト社は、2017年10月より、Windows Serverの新しいリリースモデルとして「半期チャネル」の提供を開始しました。半期チャネルは、ソフトウェア アシュアランスをご利用のお客様を対象に、年2回、コンテナアプリケーションやコンテナホスト向けの最新機能を提供するリリースプログラムです。“Server Core”、“Nano Server”のみでのご利用に限定されます。PRIMERGYにおける半期チャネルの最新の対応状況や留意事項は当社ホームページ「富士通のWindows情報」(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>)をご参照ください。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Linux関連事項

Red Hat Enterprise Linuxのサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したLinuxサポートサービス「SupportDesk」をご提供します。
- Red Hat Enterprise LinuxのSupportDeskは年額払いのOS単体サポート商品としてご提供していますが、一部のラインナップでは一括払いでPRIMERGYと同時手配可能なオプションをご提供します。
- オプション提供品のラインナップ詳細は下表の通りです。

		SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)				SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート)					
		1ゲスト(*3)	4ゲスト(*3)	VDC ゲスト無制限 (ゲスト専用)	2ゲスト (ゲスト専用)	1ゲスト(*3)	4ゲスト(*3)	VDC ゲスト無制限 (ゲスト専用)	2ゲスト (ゲスト専用)		
サービス期間		1/3/4/5年	3/4/5年	3/4/5年	3/4/5年	5年					
サービス時間帯		平日/24時間365日				平日/24時間365日					
サポート 範囲	物理CPU数 (Socket数)	～2	～2	～2	無制限	～2	～2	～2	無制限		
	RHELゲスト OS数	～1	～4	無制限	～2	～1	～4	無制限	～2		
使用可能 ハイパーバイザ		RHEL 仮想マシン機能			Hyper-V VMware		RHEL 仮想マシン機能			Hyper-V VMware	
サポートOS(*1)(*2)		Red Hat Enterprise Linux					Red Hat Enterprise Linux				
サービス内容		・専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/ サービス対応履歴など) ・プロダクトIDの入手手続き代行					・専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/ サービス対応履歴など) ・プロダクトID(EUSサービスを含む)の入手手続き代行				

(*1) 対象版数については、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)をご参照ください。

(*2) 仮想環境におけるサポートOSの組み合わせについては、「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。

(*3) 同時起動仮想マシン数は、RHEL以外の他OSを含めて4以下に制限されます。5ゲスト以上動作させる場合は、年額払いの拡張プラスサポート「RHEL Server [PG 2CPU/ゲスト無制限]」を別途ご契約ください。

・詳細はシステム構成図(サービスイ覧)の「SupportDesk StandardにおけるRed Hat Enterprise Linuxのサポートについて」をご参照ください。

Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションについて

- Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションはインストール媒体のみの提供となります。
- サブスクリプション(利用権)の同時手配が必要となるため、工場出荷時に機器と同時手配するSupportDesk Standard/Standard24(Red Hat Enterprise Linux) [PYBで始まるカスタムメイド型名]との同時手配必須となります(Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションのみでの手配はできません)。
- OSはインストールされません。添付のDVD(Install DVD Kit)とServerView Suiteを用いてインストールしてください。
- Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションを手配しない場合、インストールイメージ(ISOファイル)をRed Hat Networkからダウンロードしてください。Red Hat Networkに、Red Hat Enterprise LinuxのSupportDesk契約者に提供していますプロダクトIDを登録することで、アクセス可能です。

SUSE Linux Enterprise Serverのサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したSUSE Linuxサポートサービス「SupportDesk」をご提供します。
- SUSE Linux Enterprise ServerのSupportDeskは年額払いのOS単体サポート商品としてご提供しています。

Linuxのサポート版数について

PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)をご参照ください。

Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ファイルシステムの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ファイルシステムの使用可能最大サイズが以下になります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ファイルシステムの最大サイズ(*1)		
		ext3/ext4 (*2)	XFS	btrfs
Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)	12TB	8TB / 16TB (*3)	—	—
Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)	12TB	16TB / 50TB	500TB	—
SUSE Linux Enterprise Server 11 for AMD64 & Intel64	16TB	16TB / —	8EB	16EB
SUSE Linux Enterprise Server 12 for AMD64 & Intel64	64TB	— / 1EB	8EB	16EB
SUSE Linux Enterprise Server 15 for AMD64 & Intel64	64TB	— / 1EB	8EB	16EB

(*1) システムボリュームとして使用する場合は、2TB以下でご使用ください。

(*2) ext4は、RHEL6 (for Intel64)/RHEL7 (for Intel64)でご使用ください。

(*3) 8TBを超えて使用する場合は、RHEL6.1 (for Intel64)以降でご使用ください。

Linux仮想環境におけるWindowsゲストインストール時のメディアについて

Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows Server 2008 R2 SP1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016 をインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

SUSE Linux Enterprise Server 15 インストール時のメディアについて

SUSE Linux Enterprise Server 15をインストールする場合、Installer DiskとPackages Diskの2種類のインストールメディアが必要になります。この内、Packages Diskは4.7Gbyteを超えるため、DVD-R/DVD-RW(片面1層)はご利用できません。DVD-R DL(片面2層)、または、USBメモリ(Packages Diskのisoイメージが格納できる容量以上)をご利用ください。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

仮想化機能について

サポート可能な仮想化機能は使用するOS、内蔵ストレージ構成により異なります。

機種名	RHEL6 / RHEL7			SLES 11 / SLES 12 / SLES 15		
	オンボード(SATA) コントローラにて		左記以外の ストレージコントローラ 使用時	オンボード(SATA) コントローラにて		左記以外の ストレージコントローラ 使用時
	アレイ 接続時	非アレイ 接続時		アレイ 接続時	非アレイ 接続時	
RX1330 M4	×	○	○	×	○	○
RX2520 M4	×	-	○	×	-	○
RX2530 M4	×	-	○	×	-	○
RX2530 M5	×	-	○	×	-	○
RX2540 M4	×	-	○	×	-	○
RX2540 M5	×	-	○	×	-	○
RX4770 M4	-	-	○	-	-	○
RX4770 M5	-	-	○	-	-	○
TX1310 M3	×	○	-	×	○	-
TX1320 M4	×	○	○	×	○	○
TX1330 M4	×	○	○	×	○	○
TX2550 M4	×	-	○	×	-	○
CX2560 M4	×	○	○	×	○	○
CX2560 M5	×	○	○	×	○	○
CX2550 M4	×	○	○	×	○	○
CX2550 M5	×	○	○	×	○	○
CX2570 M4	×	○	○	×	○	○

○:可能 ×:不可 -:対象構成無し

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて

OSオプションの略称、同時手配可能数について

・OSオプションの略称および手配可能数は下表の通りです。OSオプションごとの組合せについては、「OSオプションの同時選択可否について」をご参照ください。

■ Windows

略称		品名		型名	手配可能数	
Windows	インストール	WS19S	Windows Server 2019 Standard(16コア) インストール	PYWPS9	1	35
		WS19S(Hyper-V)	Windows Server 2019 Standard(16コア/Hyper-V) インストール	PYWPS9H	1	
		WS16S(2019DG)	Windows Server 2019 Standard(16コア) ダウングレードサービス付き Windows Server 2016 Standard インストール	PYWPPDS6	1	
		WS12RS(2019DG)	Windows Server 2019 Standard(16コア) ダウングレードサービス付き Windows Server 2012 R2 Standard インストール	PYWPPDS32	1	
	バンドル	WS19S	Windows Server 2019 Standard(16コア) バンドル	PYBWBS9	1	34
		WS19S Add(2Core)	Windows Server 2019 Standard Additional License(2コア)	PY-WAS9/PYBWAS9	1	
		WS19S Add(4Core)	Windows Server 2019 Standard Additional License(4コア)	PY-WAS92/PYBWAS92	3	
		WS19S Add(16Core)	Windows Server 2019 Standard Additional License(16コア)	PY-WAS93/PYBWAS93	34	
	バンドル	WS19D	Windows Server 2019 Datacenter(16コア) バンドル	PYBWBD9	1	7
		WS19D Add(2Core)	Windows Server 2019 Datacenter Additional License(2コア)	PYBWAD9	1	
		WS19D Add(4Core)	Windows Server 2019 Datacenter Additional License(4コア)	PYBWAD92	3	
		WS19D Add(16Core)	Windows Server 2019 Datacenter Additional License(16コア)	PYBWAD93	6	
	インストール	WS16S	Windows Server 2016 Standard(16コア) インストール	PYWPS6	1	28
		WS16S(Hyper-V)	Windows Server 2016 Standard(16コア/Hyper-V) インストール	PYWPS6H	1	
		WS12S(2016DG)	Windows Server 2016 Standard(16コア) ダウングレードサービス付き Windows Server 2012 Standard インストール	PYWPPDS2	1	
	バンドル	WS16S	Windows Server 2016 Standard(16コア) バンドル	PYBWBS6	1	27
		WS16S Add(2Core)	Windows Server 2016 Standard Additional License(2コア)	PY-WAS6/PYBWAS6	1	
		WS16S Add(4Core)	Windows Server 2016 Standard Additional License(4コア)	PY-WAS62/PYBWAS62	3	
		WS16S Add(16Core)	Windows Server 2016 Standard Additional License(16コア)	PY-WAS63/PYBWAS63	27	
	バンドル	WS16D	Windows Server 2016 Datacenter(16コア) バンドル	PYBWBD6	1	7
		WS16D Add(2Core)	Windows Server 2016 Datacenter Additional License(2コア)	PYBWAD6	1	
		WS16D Add(4Core)	Windows Server 2016 Datacenter Additional License(4コア)	PYBWAD62	3	
		WS16D Add(16Core)	Windows Server 2016 Datacenter Additional License(16コア)	PYBWAD63	6	
	インストール	WS12RS(2016DG)	Windows Server 2016 Standard(16コア) ダウングレードサービス付き Windows Server 2012 R2 Standard インストール	PYWPPDS3	1	
	インストール	WSS16S	Windows Storage Server 2016 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPW6S	1	
	バンドル	DCAL1	Windows Server 2019 1 Device CAL	PYBWCD01B	4	10
		DCAL5	Windows Server 2019 5 Device CAL	PYBWCD05B	1	
		DCAL10	Windows Server 2019 10 Device CAL	PYBWCD10B	4	
		DCAL50	Windows Server 2019 50 Device CAL	PYBWCD50B	1	
		DCAL100	Windows Server 2019 100 Device CAL	PYBWCD1HB	10	
	バンドル	UCAL1	Windows Server 2019 1 UserCAL	PYBWCU01B	4	10
		UCAL5	Windows Server 2019 5 UserCAL	PYBWCU05B	1	
		UCAL10	Windows Server 2019 10 UserCAL	PYBWCU10B	4	
		UCAL50	Windows Server 2019 50 UserCAL	PYBWCU50B	1	
		UCAL100	Windows Server 2019 100 UserCAL	PYBWCU1HB	10	
	バンドル	RSDSCAL1	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 1 Device CAL	PYBWCD01J	4	10
		RSDSCAL5	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 5 Device CAL	PYBWCD05J	1	
		RSDSCAL10	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 10 Device CAL	PYBWCD10J	4	
		RSDSCAL50	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 50 Device CAL	PYBWCD50J	1	
		RSDSCAL100	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 100 Device CAL	PYBWCD1HJ	10	
	バンドル	RDSUCAL1	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 1 User CAL	PYBWCU01J	4	10
		RDSUCAL5	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 5 User CAL	PYBWCU05J	1	
		RDSUCAL10	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 10 User CAL	PYBWCU10J	4	
		RDSUCAL50	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 50 User CAL	PYBWCU50J	1	
		RDSUCAL100	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 100 User CAL	PYBWCU1HJ	10	

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Windows

略称		品名	型名	手配可能数	
Windows	バンドル	SQL2017(サーバ/CAL)	Microsoft SQL Server 2017 Standard バンドル	PYBWB7	1
		SQL2017(4Core)	Microsoft SQL Server 2017 Standard(4コア) バンドル	PYBWB71	1
		SQL2017 Add(2Core)	Microsoft SQL Server 2017 Standard Additional License(2コア) バンドル	PYBWAL7	10
		SQL 2017 DCAL1	Microsoft SQL Server 2017 1 Device CAL	PYBWCD01K	7
		SQL 2017 DCAL5	Microsoft SQL Server 2017 5 Device CAL	PYBWCD05K	
		SQL 2017 DCAL10	Microsoft SQL Server 2017 10 Device CAL	PYBWCD10K	
		SQL 2017 UCAL1	Microsoft SQL Server 2017 1 User CAL	PYBWCU01K	
		SQL 2017 UCAL5	Microsoft SQL Server 2017 5 User CAL	PYBWCU05K	
		SQL 2017 UCAL10	Microsoft SQL Server 2017 10 User CAL	PYBWCU10K	
	バンドル (メディアオプション)	SQL2016	Microsoft SQL Server 2016 Standard メディアキット	PYBWB62	1
		SQL2014	Microsoft SQL Server 2014 Standard メディアキット	PYBWB43	1
	バンドル (メディアオプション)	WS19S	Windows Server 2019 Standard メディアキット	PYBWBS92	1
		WS16S	Windows Server 2016 Standard メディアキット	PYBWBS62	1
		WS16D	Windows Server 2016 Datacenter メディアキット	PYBWBD62	1
		WS12RS	Windows Server 2012 R2 Standard メディアキット	PYBWBS32	1
		WS12S	Windows Server 2012 Standard メディアキット	PYBWBS22	1
	インストール	WS19E	Windows Server 2019 Essentials インストール	PYBWPB9	1
		WS16E	Windows Server 2016 Essentials インストール	PYBWPB6	1
	バンドル	WS19E	Windows Server 2019 Essentials バンドル	PYBWBB9	1
		WS16E	Windows Server 2016 Essentials バンドル	PYBWBB6	1

■ Linux/VMware

略称			品名	型名	手配可能数		
Linux	バンドル	RHEL7	Red Hat Enterprise Linux 7.6 媒体バンドル	PYBLB76	1	2	3
			Red Hat Enterprise Linux 7.5 媒体バンドル	PYBLB75	1		
			Red Hat Enterprise Linux 7.4 媒体バンドル	PYBLB74	1		
		RHEL6	Red Hat Enterprise Linux 6.10 媒体バンドル	PYBLB6A	1		
	サポート	RHEL 基本 2CPU/1ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト	PYBSPR**02	(※1)	1	1
		RHEL 基本 2CPU/4ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト	PYBSPK**02	(※1)	1	
		RHEL VDC 基本	Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限(ゲスト専用)	PYBSPD**03	(※1)	1	
		RHEL 基本 2ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)	PYBSPN**02	(※1)	1	
		RHEL 拡張 2CPU/1ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト	PYBSPR5*E2	(※1)	1	
		RHEL 拡張 2CPU/4ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト	PYBSPK5*E2	(※1)	1	
		RHEL VDC 拡張	Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限(ゲスト専用)	PYBSPD5*E3	(※1)	1	
		RHEL 拡張 2ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)	PYBSPN5*E2	(※1)	1	
	VMware	バンドル	vS6S 1年平日	VMware vSphere 6 Standard, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL6SD2	4	4 (※2)
			vS6S 1年24時間	VMware vSphere 6 Standard, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL6SA2	4	
vS6EP 1年平日			VMware vSphere 6 Enterprise Plus, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL6PD2	4		
vS6EP 1年24時間			VMware vSphere 6 Enterprise Plus, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL6PA2	4		
OS管理ソフト等		vCen6 1年平日	VMware vCenter Server 6 Standard, 1年間平日サポートバンドル	PYBVL6SD2	1	1	
		vCen6 1年24時間	VMware vCenter Server 6 Standard, 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL6SA2	1		
		vS6 M.2 6.7	VMware vSphere Hypervisor 6.7用 M.2 Flash モジュール(32GB)	PYBMF03NV3	1	1	
			VMware vSphere Hypervisor 6.7用 M.2 Flash モジュール(240GB)	PYBMF24NV	1		
		vS6 DSD 6.7	VMware vSphere Hypervisor 6.7用 デュアルマイクロSD Flash モジュール(64GB×2、RAID1付)	PYBMD6402	1		
		M.2	VMware vSphere Hypervisor用 M.2 Flash モジュール(32GB)	PY-MF03NV2	1		
			VMware vSphere Hypervisor用 M.2 Flash モジュール(240GB)	PY-MF24NV/PYBMF24NVE	1 (※3)		
		DSD	デュアルマイクロSD Flash モジュール(64GB×2、RAID1付)	PY-MD6401/PYBMD6401	1		

(*) 型名に使用されているアスタリスク(*)は、基本/拡張サポート(Standard/Standard24)が全て対象であることを示しています。

(*)2 搭載する機器の物理CPU数までの手配となります。

(*)3 デュアルM.2 アダプタカード[PY-DMAP01/PYBDMAP01/PYBDMAP01L]手配時は2となります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプションの同時選択可否について

・OSオプションを同時選択する際、組み合わせの可否は、以下のようになります
 (機種により選択可能なOSオプションは異なりますので、樹系図表紙の「サポートOS」、および樹系図内の「OSオプション」をご確認の上、手配ください)。

■ Windows

OSオプション		Windows																			
		インストール										バンドル									
		WS19S	WS19S(Hyper-V)	WS19E	WS16S	WS16S(Hyper-V)	WS16S(2019DG)	WS16E	WS16S	WS12RS(2019DG)	WS12RS(2016DG)	WS19S	WS19D	WS19E	WS19S Add(2.4/16Core)	WS19D Add(2.4/16Core)	WS16S	WS16D	WS16E	WS16S Add(2.4/16Core)	WS16D Add(2.4/16Core)
OSオプション	インストール	WS19S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
		WS19S(Hyper-V)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
		WS19E	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS16S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
		WS16S(Hyper-V)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
		WS16S(2019DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
		WS16E	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS16S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS12RS(2019DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
		WS12RS(2016DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
		WS12S(2016DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
	バンドル	WS19S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
		WS19D	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
		WS19E	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS19S Add(2.4/16Core)	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
		WS19D Add(2.4/16Core)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
		WS16S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
		WS16D	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
		WS16E	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS16S Add(2.4/16Core)	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×
		WS16D Add(2.4/16Core)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
	メディア キット	WS19S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
		WS16S	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○
		WS16D	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
		WS12RS	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○
		WS12S	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○
	OS管理 ソフト等	DCAL1/5/10/50/100	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○
		UCAL1/5/10/50/100	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○
		RDSDCAL1/5/10/50/100	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○
		RDSUCAL1/5/10/50/100	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○
		SQL2017(サーバ/CAL)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2017(4Core)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2017 Add(2Core)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2016	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2014	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL 2017 DCAL1/5/10	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL 2017 UCAL1/5/10	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Linux	バンドル	RHEL7.6 (*1)	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○(*2)	○(*2)	×	○
		RHEL7.5 (*1)	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○(*2)	○(*2)	×	○
		RHEL7.4 (*1)	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○(*2)	○(*2)	×	○
		RHEL6.10 (*1)	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○(*2)	○(*2)	×	○
	バンドル	vS6S 1年平日	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		vS6S 1年24時間	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		vS6EP 1年平日	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		vS6EP 1年24時間	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		vCen6 1年平日	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
	OS管理 ソフト等	vCen6 1年24時間	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
		vS6 M.2 6.7	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		vS6 DSD 6.7	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		M.2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		DSD	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 同時手配可、×: 同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(*2) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows Server 2008 R2 SP1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016 をインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。
 別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Windows

OSオプション		Windows															
		メディアキット					OS管理ソフト等										
		WS19S	WS16S	WS16D	WS12RS	WS12S	DCAL1/5/10/50/100	UCAL1/5/10/50/100	RDSDCAL1/5/10/50/100	RDSUCAL1/5/10/50/100	SQL2017(サーバー)/CAL	SQL2017(4Core)	SQL2017 Add(2Core)	SQL2016	SQL2014	SQL 2017 DCAL1/5/10	SQL 2017 UCAL1/5/10
OSオプション	Windows インストール	WS19S	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS19S(Hyper-V)	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS19E	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
		WS16S	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS16S(Hyper-V)	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS16S(2019DG)	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS16E	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
		WS16S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS12RS(2019DG)	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12RS(2016DG)	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12S(2016DG)	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	バンドル	WS19S	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS19D	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS19E	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
		WS19S Add(2/4/16Core)	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS19D Add(2/4/16Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS16S	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS16D	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS16E	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
		WS16S Add(2/4/16Core)	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS16D Add(2/4/16Core)	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	メディアキット	WS19S	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS16S	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS16D	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12RS	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12S	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	OS管理ソフト等	DCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×
		UCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○
		RDSDCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×
		RDSUCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○
		SQL2017(サーバー)/CAL	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
		SQL2017(4Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×
		SQL2017 Add(2Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×
		SQL2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
		SQL 2017 DCAL1/5/10	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	○	×
		SQL 2017 UCAL1/5/10	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	○
Linux	バンドル	RHEL 7.6 (*1)	×	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
		RHEL 7.5 (*1)	×	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
		RHEL 7.4 (*1)	×	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
		RHEL 6.10 (*1)	×	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
VMware	バンドル	vS6S 1年平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		vS6S 1年24時間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		vS6EP 1年平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		vS6EP 1年24時間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	OS管理ソフト等	vCen6 1年平日	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		vCen6 1年24時間	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		vS6 M.2 6.7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		vS6 DSD 6.7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		M.2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		DSD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:同時手配可、×:同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(*2) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows Server 2008 R2 SP1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016 をインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Linux/VMware

OSオプション		Linux				VMware							
		バンドル				バンドル				OS管理ソフト等			
		RHEL7.6 (*1)	RHEL7.5 (*1)	RHEL7.4 (*1)	RHEL6.10 (*1)	vS6S 1年平日	vS6S 1年24時間	vS6EP 1年平日	vS6EP 1年24時間	vCen6 1年平日	vCen6 1年24時間	vS6 M.2 6.7	vS6 DSD 6.7
OSオプション												M.2	DSD
Windows	インストール	WS19S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS19S(Hyper-V)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS19E	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS16S	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×
		WS16S(Hyper-V)	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×
		WS16S(2019DG)	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×
		WS16E	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
		WS16S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS12RS(2019DG)	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
		WS12RS(2016DG)	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
		WS12S(2016DG)	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
	バンドル	WS19S	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○
		WS19D	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○
		WS19E	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○
		WS19S Add(2/4/16Core)	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○
		WS19D Add(2/4/16Core)	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○
		WS16S	○(*2)	○(*2)	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	○	○
		WS16D	○(*2)	○(*2)	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	○	○
		WS16E	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
		WS16S Add(2/4/16Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS16D Add(2/4/16Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	メディア キット	WS19S	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○
		WS16S	○(*2)	○(*2)	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	○	○
		WS16D	○(*2)	○(*2)	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	○	○
		WS12RS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	OS管理 ソフト等	DCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		UCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RDSDCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RDSUCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2017(サーバル/CAL)	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2017(4Core)	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2017 Add(2Core)	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2016	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2014	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
		SQL 2017 DCAL1/5/10	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
		SQL 2017 UCAL1/5/10	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
		SQL 2017 RDSUCAL1/5/10	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
Linux	バンドル	RHEL7.6 (*1)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RHEL7.5 (*1)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RHEL7.4 (*1)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
		RHEL6.10 (*1)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	VMware バンドル	vS6S 1年平日	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○
		vS6S 1年24時間	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○
		vS6EP 1年平日	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○
		vS6EP 1年24時間	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
		vCen6 1年平日	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○
		vCen6 1年24時間	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○
		vS6 M.2 6.7	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
		vS6 DSD 6.7	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
		M.2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
		DSD	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
VMware	OS管理 ソフト等	vS6S 1年平日	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○
		vS6S 1年24時間	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○
		vS6EP 1年平日	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○
		vS6EP 1年24時間	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
	VMware バンドル	vCen6 1年平日	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○
		vCen6 1年24時間	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○
		vS6 M.2 6.7	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
		vS6 DSD 6.7	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
		M.2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
		DSD	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
		vS6S 1年平日	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○
		vS6S 1年24時間	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○
		vS6EP 1年平日	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○
		vS6EP 1年24時間	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
		vCen6 1年平日	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○
		vCen6 1年24時間	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○

○:同時手配可、×:同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須。また、同一版数のバンドル媒体を複数手配することはできません。

(*2) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows Server 2008 R2 SP1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016 をインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

OSオプションとSupportDeskの同時選択可否について

- ・OSオプションとハードウェア用SupportDesk、OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は、以下のようになります
(機種により選択可能なOSオプション、SupportDeskは異なります)。

■ ハードウェア用SupportDesk

OSオプション			ハードウェア用SupportDesk														
			保証延長パック 翌営業日以降訪問修理			SupportDeskパック Standard/Standard24 (OSサポートなし)			SupportDeskパック 保守交換ディスク引渡プラス/ 保守交換ディスク引渡プラス24 (OSサポートなし)			SupportDeskパック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス/ BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス24 (OSサポートなし)			SupportDeskパック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス/ BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス 24 (OSサポートなし)		
			3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
Windows	インストール	WS19S		○			○			○			○			○	
		WS19S(Hyper-V)		○			○			○			○			○	
		WS19E		○			○			○			○			○	
		WS16S		○			○			○			○			○	
		WS16S(Hyper-V)		○			○			○			○			○	
		WS16S(2019DG)		○			○			○			○			○	
		WS16E		○			○			○			○			○	
		WSS16S		○			○			○			○			○	
		WS12RS(2019DG)		○			○			○			○			○	
		WS12RS(2016DG)		○			○			○			○			○	
		WS12S(2016DG)		○			○			○			○			○	
	バンドル	WS19S		○			○			○			○			○	
		WS19D		○			○			○			○			○	
		WS19E		○			○			○			○			○	
		WS19S Add(2/4/16Core)		○			○			○			○			○	
		WS19D Add(2/4/16Core)		○			○			○			○			○	
		WS16S		○			○			○			○			○	
		WS16D		○			○			○			○			○	
		WS16E		○			○			○			○			○	
		WS16S Add(2/4/16Core)		○			○			○			○			○	
		WS16D Add(2/4/16Core)		○			○			○			○			○	
	メディア キット	WS19S		○			○			○			○			○	
		WS16S		○			○			○			○			○	
		WS16D		○			○			○			○			○	
		WS12RS		○			○			○			○			○	
		WS12S		○			○			○			○			○	
	OS管理 ソフト等	DCAL1/5/10/50/100		○			○			○			○			○	
		UCAL1/5/10/50/100		○			○			○			○			○	
		RDSDCAL1/5/10/50/100		○			○			○			○			○	
		RDSUCAL1/5/10/50/100		○			○			○			○			○	
		SQL2017(サーバ/CAL)		○			○			○			○			○	
		SQL2017(4Core)		○			○			○			○			○	
		SQL2017 Add(2Core)		○			○			○			○			○	
		SQL2016		○			○			○			○			○	
		SQL2014		○			○			○			○			○	
		SQL 2017 DCAL1/5/10		○			○			○			○			○	
		SQL 2017 UCAL1/5/10		○			○			○			○			○	
Linux	バンドル	RHEL7.6 (*1)		×			○			○			○			○	
		RHEL7.5 (*1)		×			○			○			○			○	
		RHEL7.4 (*1)		×			○			○			○			○	
		RHEL6.10 (*1)		×			○			○			○			○	
VMware	バンドル	vS6S 1年平日		×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)	
		vS6S 1年24時間		×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)	
		vS6EP 1年平日		×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)	
		vS6EP 1年24時間		×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)	
	OS管理 ソフト等	vCen6 1年平日		×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)	
		vCen6 1年24時間		×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)	
		vS6 M.2 6.7		○			○			○			○			○	
		vS6 DSD 6.7		○			○			○			○			○	
		M.2		○			○			○			○			○	
		DSD		○			○			○			○			○	

○: 同時手配可 ×: 同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(*2) VMwareのOSオプションに付帯するサポート時間帯と、同一サポート時間帯のSupportDeskを選択した場合のみ同時手配可能

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ OS用SupportDesk

OSオプション			OS用SupportDesk																					
			SupportDesk Standard/Standard24 (Windows Server)			SupportDesk Standard/Standard24 (Windows Server Standard 仮想化対応)			SupportDesk Standard/Standard24 (Windows Server Datacenter 仮想化対応)			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート/ 拡張サポート(*3) 2CPU/1ゲスト]				SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート/ 拡張サポート(*3) 2CPU/4ゲスト]			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート/ 拡張サポート(*3) 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート/ 拡張サポート(*3) 2ゲスト(ゲスト専用)]		
Windows	インストール		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	1年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
	インストール	WS19S		○			○			×			×			×			○			○		
		WS19S(Hyper-V)		○			○			×			×			×			○			○		
		WS19E		○			○			×			×			×			×			×		
		WS16S		○			○			×			×			×			○			○		
		WS16S(Hyper-V)		○			○			×			×			×			○			○		
		WS16S(2019DG)		○			○			×			×			×			○			○		
		WS16E		○			○			×			×			×			×			×		
		WSS16S		○			○			×			×			×			×			×		
		WS12RS(2019DG)		○			○			×			×			×			○			○		
		WS12RS(2016DG)		○			○			×			×			×			○			○		
	WS12S(2016DG)		○			○			×			×			×			○			○			
	バンドル	WS19S		○			○			×			○			○			○			○		
		WS19D		×			×			○			○			○			○			○		
		WS19E		○			○			×			×			×			×			×		
		WS19S Add(2/4/16Core)		○			○			×			○			○			○			○		
		WS19D Add(2/4/16Core)		×			×			○			○			○			○			○		
		WS16S		○			○			×			○			○			○			○		
		WS16D		×			×			○			○			○			○			○		
		WS16E		○			○			×			×			×			×			×		
		WS16S Add(2/4/16Core)		○			○			×			○			○			○			○		
		WS16D Add(2/4/16Core)		×			×			○			○			○			○			○		
	メディア キット	WS19S		○			○			○			○			○			○			○		
		WS16S		○			○			○			○			○			○			○		
		WS16D		○			○			○			○			○			○			○		
		WS12RS		○			○			○			○			○			○			○		
		WS12S		○			○			○			○			○			○			○		
	OS管理 ソフト等	DCAL1/5/10/50/100		○			○			○			○			○			○			○		
		UCAL1/5/10/50/100		○			○			○			○			○			○			○		
		RSDSCAL1/5/10/50/100		○			○			○			○			○			○			○		
		RDSUCAL1/5/10/50/100		○			○			○			○			○			○			○		
		SQL2017(サーバ/CAL)		○			○			○			×			×			×			×		
		SQL2017(4Core)		○			○			○			×			×			×			×		
		SQL2017 Add(2Core)		○			○			○			×			×			×			×		
		SQL2016		○			○			○			×			×			×			×		
		SQL2014		○			○			○			×			×			×			×		
		SQL 2017 DCAL1/5/10		○			○			○			×			×			×			×		
		SQL 2017 UCAL1/5/10		○			○			○			×			×			×			×		
Linux		バンドル	RHEL7.6 (*1)		×			○			○			○			○			○			○	
	RHEL7.5 (*1)			×			○			○			○			○			○			○		
	RHEL7.4 (*1)			×			○			○			○			○			○			○		
	RHEL6.10 (*1)			×			○			○			○			○			○			○		
VMware	バンドル	vS6S 1年平日		×			○(*2)			○(*2)			×			×			○(*2)			○(*2)		
		vS6S 1年24時間		×			○(*2)			○(*2)			×			×			○(*2)			○(*2)		
		vS6EP 1年平日		×			○(*2)			○(*2)			×			×			○(*2)			○(*2)		
		vS6EP 1年24時間		×			○(*2)			○(*2)			×			×			○(*2)			○(*2)		
	OS管理 ソフト等	vCen6 1年平日		○(*2)			○(*2)			○(*2)			×			×			○(*2)			○(*2)		
		vCen6 1年24時間		○(*2)			○(*2)			○(*2)			×			×			○(*2)			○(*2)		
		vS6 M.2 6.7		×			○			○			×			×			○			○		
		vS6 DSD 6.7		×			○			○			×			×			○			○		
		M.2		×			○			○			×			×			○			○		
		DSD		×			○			○			×			×			○			○		

○: 同時手配可 ×: 同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(*2) VMwareのOSオプションに付帯するサポート時間帯と、同一サポート時間帯のSupportDeskを選択した場合のみ同時手配可能

(*3) 拡張サポートは5年のみ

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

・OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下になります(機種により選択可能なSupportDeskは異なります)。

Windows用SupportDesk		SupportDesk Standard (Windows Server)			SupportDesk Standard24 (Windows Server)			SupportDesk Standard (Windows Server Standard 仮想化対応)			SupportDesk Standard24 (Windows Server Standard 仮想化対応)			SupportDesk Standard (Windows Server Datacenter 仮想化対応)			SupportDesk Standard24 (Windows Server Datacenter 仮想化対応)		
Linux用SupportDesk		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	×			×			○	○	○	×			○	○	○	×		
	3年							○	×	×				○	×	×			
	4年							×	○	×				×	○	×			
	5年							×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	×			×			×			○	○	○	×			○	○	○
	3年										○	×	×				○	×	×
	4年										×	○	×				×	○	×
	5年										×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	×			×			○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年							×	○	×				×	○	×			
	5年							×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	×			×			×			○	×	×	×			○	×	×
	4年										×	○	×				×	○	×
	5年										×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	×			×			○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年							×	○	×				×	○	×			
	5年							×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	×			×			×			○	×	×	×			○	×	×
	4年										×	○	×				×	○	×
	5年										×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	×			×			○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年							×	○	×				×	○	×			
	5年							×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	×			×			×			○	×	×	×			○	×	×
	4年										×	○	×				×	○	×
	5年										×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×			×			×	×	○	×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×			×			×			×	×	○	×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×			×			×	×	○	×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×			×			×			×	×	○	×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×			×			×	×	○	×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×			×			×			×	×	○	×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×			×			×	×	○	×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×			×			×			×	×	○	×			×	×	○

○:同時手配可 ×:同時手配不可

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

・OS用SupportDeskとハードウェア用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下ようになります
(機種により選択可能なSupportDeskは異なります)。

ハードウェア用SupportDesk		保証延長パック 翌営業日以降訪問修理			SupportDesk/パック Standard (OSサポートなし)			SupportDesk/パック Standard24 (OSサポートなし)			SupportDesk/パック 保守交換ディスク 引渡プラス (OSサポートなし)			SupportDesk/パック 保守交換ディスク 引渡プラス24 (OSサポートなし)		
		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
OS用SupportDesk	3年				○	×	×				○	×	×			
	4年	×			×	○	×	×			×	○	×	×		
	5年				×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server)	3年							○	×	×				○	×	×
	4年	×						×	○	×				×	○	×
	5年							×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard (Windows Server Standard 仮想化対応)	3年				○	×	×				○	×	×			
	4年	×			×	○	×	×			×	○	×	×		
	5年				×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server Standard 仮想化対応)	3年							○	×	×				○	×	×
	4年	×						×	○	×				×	○	×
	5年							×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard (Windows Server Datacenter 仮想化対応)	3年				○	×	×				○	×	×			
	4年	×			×	○	×	×			×	○	×	×		
	5年				×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server Datacenter 仮想化対応)	3年							○	×	×				○	×	×
	4年	×						×	○	×				×	○	×
	5年							×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年				○	○	○				○	○	○			
	3年	×			○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年				×	○	×				×	○	×			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年							○	○	○				○	○	○
	3年	×						○	×	×				○	×	×
	4年							×	○	×				×	○	×
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年				○	×	×				○	×	×			
	4年	×			×	○	×	×			×	○	×	×		
	5年				×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年							○	×	×				○	×	×
	4年	×						×	○	×				×	○	×
	5年							×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年				○	×	×				○	×	×			
	4年	×			×	○	×	×			×	○	×	×		
	5年				×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年							○	×	×				○	×	×
	4年	×						×	○	×				×	○	×
	5年							×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年				○	×	×				○	×	×			
	4年	×			×	○	×	×			×	○	×	×		
	5年				×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年							○	×	×				○	×	×
	4年	×						×	○	×				×	○	×
	5年							×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×			×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×				×		×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×			×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×				×		×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×			×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×				×		×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×			×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×				×		×	×	○				×	×	○

○:同時手配可 ×:同時手配不可

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

ハードウェア用SupportDesk		SupportDesk/バック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス/ (OSサポートなし)			SupportDesk/バック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス24 (OSサポートなし)			SupportDesk/バック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス (OSサポートなし)			SupportDesk/バック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス 24 (OSサポートなし)		
OS用SupportDesk		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
SupportDesk Standard (Windows Server)	3年	○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server)	3年	×			○	×	×	×			○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard (Windows Server Standard 仮想化対応)	3年	○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server Standard 仮想化対応)	3年	×			○	×	×	×			○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard (Windows Server Datacenter 仮想化対応)	3年	○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server Datacenter 仮想化対応)	3年	×			○	×	×	×			○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	○	○	○	×			○	○	○	×		
	3年	○	×	×				○	×	×			
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	×			○	○	○	×			○	○	○
	3年				○	×	×				○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	×			○	×	×	×			○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	×			○	×	×	×			○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	×			○	×	×	×			○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×	×	○	×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×			×	×	○	×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×	×	○	×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×			×	×	○	×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×	×	○	×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×			×	×	○	×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×	×	○	×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×			×	×	○	×			×	×	○

○: 同時手配可 ×: 同時手配不可

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

各OSの仮想化機能について

当社サポート可能なゲストOSと各OSの組合せは下表の通りです。
 ※各サーバにて使用可能なホストOSはサーバ本体のサポートOSに準じます。

- ・VMwareでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、以下の「富士通がサポートする、ESX / ESXi 各バージョンのゲストOS」をご確認ください。
 当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/>)をご参照ください。
- ・Hyper-VでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、以下の「当社サポート可能なゲストOS」をご確認ください。
 当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/technical/hv/index.html>)をご参照ください。

ホストOS ゲストOS	WS08R S/E/D	WS12 S/D	WS12R S/D	WS16 S/D	WS19 S/D	RHEL6 (Intel64) (KVM)					RHEL7 (Intel64) (KVM)			SLES 11 (x86_64)		SLES 12 (x86_64)		SLES 15 (x86_64)		VMware
	Hyper-V	Hyper-V	Hyper-V	Hyper-V	Hyper-V	~6.1	6.2/6.3	6.4	6.5~6.8	6.9/6.10	7.0/7.1	7.2	7.3~	KVM/XEN		KVM/XEN		KVM/XEN		
														SP3	SP4	GA	SP1	SP2~	GA	vS6
Windows	WS19S	×	×	×	○	○		×			×			×		×		×		○(*9)
	WS19D	×	×	×	○	○		×			×			×		×		×		○(*9)
	WS19E	×	×	×	○	○		×			×			×		×		×		×
	WS16S	×	×	○	○	○		×			○(*3)(*4)	×	○(*3)(*4)(*5)	×		×	○(*3)(*4)	○(*3)(*4)		○
	WS16D	×	×	○	○	○		×			○(*3)(*4)	×	○(*3)(*4)(*5)	×		×	○(*3)(*4)	○(*3)(*4)		○
	WS16E	×	×	○	○	○		×			○(*3)(*4)	×	○(*3)(*4)(*5)	×		×	○(*3)(*4)	○(*3)(*4)		○
	WS12RS	×	○	○	○	○		×			○(*3)(*4)	×	×	×	○(*3)(*4)	○(*3)(*4)	○(*3)(*4)	○(*3)(*4)		○
	WS12RD	×	○	○	○	○		×			○(*3)(*4)	×	×	×	○(*3)(*4)	○(*3)(*4)	○(*3)(*4)	○(*3)(*4)		○
	WS12RF	×	×	×	×	×		×			×			×	×	○(*3)(*4)	○(*3)(*4)	○(*3)(*4)		×
	WS12RE	×	○	○	○	○		×			○(*3)	×	×	×	○(*3)(*5)	×	○(*3)(*4)	○(*3)(*4)	○(*3)(*4)	×
	WS12S	○(*1)	○	○	○	○		×			○(*3)(*4)	×	×	○(*3)(*4)(*5)	○(*3)(*4)	×	×	×	×	○
	WS12D	○(*2)	○	○	○	○		×			○(*3)(*4)	×	×	○(*3)(*4)(*5)	○(*3)(*4)	×	×	×	×	○
	WS12F	×	×	×	×	×								×	○(*3)(*4)	×	×	×	×	×
	WS12E	○(*1)	○	○	○	○		×			○(*3)	×	×	○(*3)(*5)	○(*3)(*4)	×	×	×	×	×
	WS08RS	SP1(*2)	SP1	SP1	SP1	SP1	×	SP1(*4)			×		SP1(*4)(*5)	○(*3)(*4)	×	×	×	×	×	○
	WS08RE	SP1(*2)	SP1	SP1	SP1	SP1	×	SP1(*3)(*4)			×		SP1(*3)(*4)(*5)	○(*3)(*4)	×	×	×	×	×	○
	WS08RD	SP1(*2)	SP1	SP1	SP1	SP1	×	SP1(*3)(*4)			×		SP1(*3)(*4)(*5)	○(*3)(*4)	×	×	×	×	×	○
	WS08RF	×	×	×	×	×		×			×			○(*3)(*4)	×	×	×	×	×	×
	WS08S-32/64	SP2(*2)	SP2	SP2	SP2	SP2		×			×		SP2(*5)	×		×	×	×	×	○
	WS08E-32/64	SP2(*2)	SP2	SP2	SP2	SP2		×			×		SP2(*3)(*5)	×		×	×	×	×	○
	WS08D-64	SP2(*2)	SP2	SP2	SP2	SP2		×			×		SP2(*3)(*5)	×		×	×	×	×	○
	WS08F-64	×	×	×	×	×		×			×			×		×	×	×	×	×
	WS08RW	SP1(*2)	SP1	SP1	SP1	SP1		×			×		SP1(*5)	×		×	×	×	×	×
	WS08W-32/64	SP2(*2)	SP2	SP2	SP2	SP2		×			×		SP2(*5)	×		×	×	×	×	×
	WS08RH	×	×	×	×	×		×			×		SP1(*5)	×		×	×	×	×	×
	WS08H-32	SP2(*2)	×	×	×	×		×			×		SP2(*5)	×		×	×	×	×	×
	WS03RS/Sx64	×	×	×	×	×		×			×		×	×		×	×	×	×	×
	WS03RE/Ex64	×	×	×	×	×		×			×		×	×		×	×	×	×	×
	WS03RD/Dx64	×	×	×	×	×		×			×		×	×		×	×	×	×	×
	WS03S/Sx64	×	×	×	×	×		×			×		×	×		×	×	×	×	×
	WS03E/Ex64	×	×	×	×	×		×			×		×	×		×	×	×	×	×
	WS03D/Dx64	×	×	×	×	×		×			×		×	×		×	×	×	×	×
	WS03W-32	×	×	×	×	×		×			×		×	×		×	×	×	×	×
	WS00S/AS	×	×	×	×	×		×			×		×	×		×	×	×	×	×
	WSNT4S	×	×	×	×	×		×			×		×	×		×	×	×	×	×
	W10H	×	×	○	○	○		×			×			×		×	×	×	×	○
	W10P	×	×	○	○	○		×			×			×		×	×	×	×	○
	W10EN	×	×	○	○	○		×			×			×		×	×	×	×	○
	W10ED	×	×	○	○	○		×			×			×		×	×	×	×	×
	W8.1	×	○	○	○	○		×			×			×		×	×	×	×	○
	W8.1P	×	○	○	○	○		×			×			×		×	×	×	×	○
	W8.1E	×	○	○	○	○		×			×			×		×	×	×	×	○
	W8	×	×	×	×	×		×			×			×		×	×	×	×	○
	W8P	×	×	×	×	×		×			×			×		×	×	×	×	○
	W8E	×	×	×	×	×		×			×			×		×	×	×	×	○
	W7HP	×	×	×	×	×		×			×			×		×	×	×	×	○
	W7P/E/U	SP1(*2)	SP1	SP1	SP1	SP1		×			×			×		×	×	×	×	○
	WVHB/HP	×	×	×	×	×		×			×			×		×	×	×	×	○
	WVB/E/U	×	×	×	×	×		×			×			×		×	×	×	×	○
	WXPPx64	×	×	×	×	×		×			×			×		×	×	×	×	×
	WXPP	×	×	×	×	×		×			×			×		×	×	×	×	×
Linux	RHEL7(Intel64)	○	○	○(*6)	7.2~	7.6~		○			○			×		×		×		○
	RHEL6(x86_64/Intel64)	6.4~	6.4~	6.4~(*7)	6.7~	×		○			○			×		×		×		○
	RHEL5(x86_64/Intel64)	5.9~	5.9~	5.9~(*7)	×	×		5.3~			5.3~			×		×		×		○
	RHEL ES/AS4(x86_64/EM64T)	×	×	×	×	×		4.8~			4.8~			×		×		×		×
	RHEL ES/AS3(x86)	×	×	×	×	×		3.9~			×			×		×		×		×
	SLES 11 (x86_64)	×	×	SP3, SP4	SP4	×	(*8)	×			×			SP3, SP4		SP3, SP4		SP3, SP4		SP3, SP4
Linux	SLES 12 (x86_64)	×	×	SP1, SP2	SP1, SP2	×	(*8)	×			×			GA		GA, SP1~		GA, SP1~		GA, SP1~
	SLES 15 (x86_64)	×	×	×	(*8)	×	(*8)	×	(*8)		×			×	GA	×	GA		GA	GA

○: サポート対象(記載のSP/版数内でのサポートとなります) ×: サポート対象外を示す。

(*1) ホストOSが Windows Server 2008 R2 の場合は、Hyper-V のゲストOSとして Windows Server 2012 をお使いになるために KB-2744129 を適用いただく必要があります。

詳細はマイクロソフト社の情報をご確認ください。

マイクロソフト社ホームページ(<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/2744129/you-cannot-run-a-windows-8-based-or-windows-server-2012-based-virtual>)

(サポート技術情報 KB2744129 に対する、マイクロソフト社の回答 (2013/12/5) に基づき記載)。

(*2) 1,2,3,4CPUで動作可能となります。

(*3) KVM/XEN上のWindowsゲストでは、MSCS(Microsoft Cluster Server) / MSFC(Microsoft Failover Cluster)を使用したクラスタ構成はサポート対象外となります。

(*4) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows Server 2008 R2 SP1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016 をインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

(*5) 拡張バスサポートを契約している場合に限りです。

(*6) 第2世代仮想マシンを使用する場合、セキュアブート機能を無効にする必要があります。

(*7) 第1世代仮想マシンのみのサポートとなります。第2世代仮想マシンは、ハードウェア認証未取得のためサポートされません。

(*8) Hyper-V上におけるLinuxサポートの最新情報は当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/technical/hv/index.html>)をご確認ください。

(*9) VMware ESXi 6.5 以降でサポートします。

システム構成図で紹介するWeb情報

分類内容	内容/URL
PRIMERGY情報サイト	http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/
PRIMERGYコンフィグ(システム構成ツール)	製品ラインナップからモデルを選択し「構成・価格」ボタンからコンフィグに入り、構成部品を選択するだけで、構成リストと価格がExcel形式で出力できます。 http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/
ServerView Suite ServerView Suite DVD	システムの構築、制御、最適化、保守、連携を行う、サーバ運用管理の総称です。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/ サーバ運用管理はDVDで提供され、新製品のサポートや不具合修正などで定期的に更新されます。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsvsdvd/
オプション選択指針 SATA HDDの選択・使用条件 USBメモリを必要とする作業	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/
OSのサポート情報、動作確認情報 Windows Linux VMware 未サポートOS情報	http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/products/distribution/free-os.html
ダウンロード	最新のソフトウェア/ドライバやBIOS/ファームウェアがダウンロードできます。 http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/
ラック情報	19インチラック関連情報や他社製ラックへの搭載などの情報です。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/
技術情報 性能情報 消費電力計算ツール	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/performance/ http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/technical/calculate/
サポート情報 重要なお知らせ 製品保証ご案内 製品の販売終息と保守終了情報 セキュリティ情報	http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/ http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/note/ http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/repair.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/terminate/ http://www.fmworld.net/biz/security/
サービス情報 運用・保守サポート SupportDesk(PRIMERGY) ハードウェア組み込みサービス インフラ基本導入サービス	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/supportdesk.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/service/hard-builtin/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/service/infra-basic.html
マニュアル	ServerView Suite ServerBooks に主要なマニュアルが格納されています。 また、モデル個別マニュアルやオプションマニュアルなどが別途あります。 http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/
消耗品、データメディアの購入	LTOテープ、データカートリッジ http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/products/supply/media/

システム構成図留意事項

PRIMERGY 留意事項編 更新履歴

版数	日付	更新箇所	更新内容
47版	2019/5/10	メモリの動作モードについて	■RX2530 M5/RX2540 M5の場合、■RX4770 M5の場合 ランクスペアリングモードの【メモリ使用可能容量】を修正 インディペンデントチャネルモード、ランクスペアリングモード、ミラードチャネルモードの説明を修正 ■CX2560 M5/CX2550 M5の場合 ランクスペアリングモードを追加 インディペンデントチャネルモード、パフォーマンスモード、ミラードチャネルモードの説明を修正
46版	2019/4/3		4月エンハンス内容の反映
45版	2019/1/29		1月エンハンス内容の反映
44版	2018/12/18		12月エンハンス内容の反映
43版	2018/11/20		■CX2550 M4/CX2560 M4/CX2570 M4 の場合のインディペンデントチャネルモードの説明を修正
42版	2018/11/6		11月エンハンス内容の反映
41版	2018/7/31		7月エンハンス内容の反映
40版	2018/6/12	メモリの動作モードについて	RX4770 M4 Mirror Mode時DIMM搭載位置の修正
39版	2018/5/24	メモリの動作モードについて	RX2530 M4/RX2540 M4 Mirror Mode時DIMM搭載位置の修正
38版	2018/4/3		4月エンハンス内容の反映
37版	2018/2/14	メモリの動作モードについて	■RX2530 M4/RX2540 M4の場合、■RX4770 M4の場合のランクスペアリングモード 【メモリ使用可能容量】および【DIMMの搭載位置】を修正
36版	2018/1/30		1月エンハンス内容の反映
35版	2017/12/4		Red Hat Enterprise Linux 7.2媒体バンドルを削除(販売終了)
34版	2017/11/2		11月エンハンス内容の反映
33版	2017/8/29		8月エンハンス内容の反映
32版	2017/7/12		7月エンハンス内容の反映
31版	2017/5/30		5月エンハンス内容の反映
30版	2017/4/11		4月エンハンス内容の反映
29版	2017/2/8		2月エンハンス内容の反映
28版	2016/11/28	表「NetVault Backup for Windows対応表」 表「NetVault Backup for Linux対応表」 表「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて」 表「各OSの仮想化機能について」	NetVaultBackup 8.6およびNetVaultBackup 8.6.3を削除 Windows Server 2016 Essentials インストール、Windows Storage Server 2016 Standard(2CPU/2VM) インストール、Windows Server 2016 Standard メディアキットを追加 Windows Server 2016 Standard Additional Licenseの手配可能数を変更 VMwareとMicrosoft SQL Serverを同時手配可能に変更 SupportDesk Standard/Standard24(Windows Server Datacenter 仮想化対応)とメディアキットを同時手配可能に変更 VMwareのゲストOSとして、WS16S/WS16D/WS16Eをサポート
27版	2016/10/17		10月エンハンス内容の反映
26版	2016/8/2		8月エンハンス内容の反映
25版	2016/7/8	セキュリティチップ(TPM)およびインテルトラステッド・エグゼキューション・テクノロジー(インテル® TXT)のサポートについて	セキュリティチップの型名修正
24版	2016/6/7		6月エンハンス内容の反映
23版	2016/4/4		4月エンハンス内容の反映
22版	2015/12/22		12月エンハンス内容の反映
21版	2015/8/28		8月エンハンス内容の反映
20版	2015/7/3	表「サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)について」	サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)についての注記追加
19版	2015/6/12	表「サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)について」 表「バックアップ装置関連事項」 表「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて」 表「各OSの仮想化機能について」	サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)についての内容変更 Netvault Backup 8.5、8.5.2の削除 Backup Exec 15追加 VMware vSphere Hypervisor 6.0用 USB Flash モジュールの型名修正 VMware vS6とRHEL5(x86/Intel64) の組合せを変更
18版	2015/5/7		5月エンハンス内容の反映
17版	2015/4/2		4月エンハンス内容の反映
16版	2015/2/12		2月エンハンス内容の反映
15版	2015/1/16		1月エンハンス内容の反映
14版	2014/12/9	メモリ関連事項	ミラードチャネルモードの対象機種にRX200 S8を追加
13版	2014/11/18		11月エンハンス内容の反映
12版	2014/9/9		9月エンハンス内容の反映
11版	2014/8/21		8月エンハンス内容の反映
10版	2014/7/22	メモリ関連事項	ミラードチャネルモードの対象機種からRX200 S8を削除
9版	2014/5/12		5月エンハンス内容の反映
8版	2014/1/9		1月エンハンス内容の反映
7版	2013/11/5		11月エンハンス内容の反映
6版	2013/9/11		9月エンハンス内容の反映
5版	2013/7/3	Windows関連事項	Windows関連事項の内容見直し
4版	2013/5/8	内蔵ストレージ関連事項	<構成規則について> の(5) の表に、SASアレイコントローラ拡張ボード[PYBSRD081A]を追加、 およびSASアレイコントローラ拡張ボード[PY-SRD08]の記載位置を修正
3版	2013/4/23		4月エンハンス内容の反映
2版	2013/1/22		1月エンハンス内容の反映
初版	2012/10/17		新規作成